

◆ 杉並区 ◆  
中小企業の景況

令和2年度第4四半期  
(令和3年1~3月)



杉並区産業振興センター

目 次

都内中小企業の景況（令和3年1月～3月期） ..... 1

杉並区内中小企業の景況（令和3年1月～3月期） ..... 2

杉並区内各業種別業況の動きと来期の予想 ..... 2

業種別業況の動き（実績）と来期の予想（東京都・杉並区の比較） ..... 4

- ・ 製造業 ..... 6
- ・ 卸売業 ..... 9
- ・ 小売業 ..... 12
- ・ サービス業 ..... 16
- ・ 建設業 ..... 20
- ・ 不動産業 ..... 23

経営者の声 ..... 26

日銀短観 ..... 27

杉並区と東京都全体の企業倒産、休廃業・解散動向 ..... 28

特別調査「新型コロナウイルス感染拡大長期化の影響と新常态への対応について」 ..... 30

中小企業景況調査 比較表 ..... 33

中小企業景況調査 転記表 ..... 37

調査方法・対象と回収状況

- 1 調査機関 一般社団法人東京都信用金庫協会 業務部業務課
- 2 調査方法 信用金庫営業店から企業へ直接面接調査
- 3 調査時期 令和3年1～3月期を対象に令和3年3月上旬に実施
- 4 実施状況 135事業所

※新型コロナウイルス感染拡大にともない、調査にご協力いただけない事業所が多数生じていることから、「調査対象事業所数」及び「未集計事業所数」は把握不能となっております。

[回答事業所数の規模別内訳]

単位：事業所数（％）

	有効回答 事業所数	4人以下	5～9人	10～ 19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50～ 99人	100～ 199人	200～ 300人
製 造 業	11	2	4	3	0	1	0	1	0	0
卸 売 業	14	8	1	2	2	1	0	0	0	0
小 売 業	33	20	11	2	0	0	0	0	0	0
サ ー ビ ス 業	32	17	6	3	0	3	0	2	1	0
建 設 業	27	9	8	4	3	1	2	0	0	0
不 動 産 業	18	10	4	1	1	2	0	0	0	0
業 種 計	135	66 (48.9)	34 (25.2)	15 (11.1)	6 (4.4)	8 (5.9)	2 (1.5)	3 (2.2)	1 (0.7)	0 (0.0)

判断表 業種別定点指標値

	大きく上昇	上 昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下 降	大きく下降
製 造 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
卸 売 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小 売 業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サ ー ビ ス 業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建 設 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
不 動 産 業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下

← 好調 不調 →

# 都内中小企業の景況（令和3年1月～3月期）

## コロナ第3波の影響も業況悪化踏みとどまる

### 都内中小企業の景況・6業種合計（D.I.）



業況判断DI（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は2度目の緊急事態宣言発令による活動自粛要請を受けるも、△44.0（前期は△43.6）と前期に比べ0.4ポイント減少に止まった。前回の緊急事態時（4～6月期）よりも影響範囲は狭く、前期並で踏みとどまったが、依然低迷状態が続いている。業種別では、卸売業で改善が見られたものの、小売業・建設業は再び悪化し、製造業・サービス業・不動産業においては変化なく推移した。

来期は、緊急事態宣言が解除され、感染拡大防止に配慮しつつも、経済活動が進められる期待感から、不動産業を除く全ての業種でゆるやかな改善が見られると予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-49.9	-50.2	-0.3	-42.7	7.5
卸売業	-50.1	-46.9	3.2	-43.3	3.6
小売業	-48.2	-50.2	-2.0	-46.9	3.3
サービス業	-46.4	-45.7	0.7	-40.2	5.5
建設業	-24.9	-27.3	-2.4	-22.8	4.5
不動産業	-24.3	-23.4	0.9	-23.5	-0.1
総合	-43.6	-44.0	-0.4	-39.0	5.0

※前期（令和2年10～12月） 来期（令和3年4～6月）

#### <製造業>

業況は下げ幅は小さくなってきているものの、期待に反し9期連続の悪化となった。売上額・受注残・収益については、悪化度を強めることなく踏みとどまっており、前期並の水準で推移した。価格面では、販売価格の低下・原材料価格の上昇はともに変動なく推移した。資金繰りは前期同様の苦しさで、原材料在庫についても前期並の不足感が続いている。

来期の業況は、経済活動の加速と景気回復への期待感から売上額・受注残・収益についても改善すると見ており、水面下ながら明るさが見えると予想している。価格面では販売価格・原材料価格ともに今期同様の価格水準で推移すると見ている。

#### <卸売業>

業況は売上額がわずかに上向き、収益も持ち直しが見られたことから、若干改善方向に進んだ。価格面では販売価格の低下基調は続き、仕入価格は前期並の低水準で推移した。資金繰りは厳しさが和らいだ。

来期は売上額・収益ともに回復傾向が続くと予想しており、業況も引き続き水面下ながら改善すると見ている。価格面では販売価格・仕入価格ともに今期同様の着着きを見せると予想している。

#### <小売業>

緊急事態宣言の再発令により営業時間短縮要請を受けた飲食店や建築材料、燃料等の落ち込みの影響を受け、業況は再び悪化した。価格面で、販売価格・仕入価格の動きはほぼ横這いで着着きを見せているものの、資金繰りは引き続き厳しい状態が続いている。

来期は売上額・収益ともに宣言解除後は改善が見られると予想しており、業況も緩やかに上向くと予想している。価格面では販売価格・仕入価格ともに変動なく推移すると見ている。

#### <サービス業>

業況は緊急事態宣言にともなう催事（イベント等）の開催制限を受けた娯楽、宿泊・観光、洗濯・理容・美容など厳しい状況が続いているものの、更なる落ち込みはなく前期同様の水準に踏みとどまった。売上額・収益についても変化なく、前期並の低調感で推移した。価格面では料金価格がわずかに上昇し、材料価格は変化なく着着きを見せた。資金繰りの窮屈感は和らいだ。

来期の業況は、段階的緩和措置を受けつつも、景気回復への期待感も含め悪化状態が緩和すると見ている。売上額はわずかに持ち直し、収益では改善が見られると予想している。価格面では料金価格・材料価格ともに変化なく推移すると見ている。

#### <建設業>

業況はゆるやかな改善が続くと予想されていたが今期はわずかに悪化し、改善の動きは足踏み状態となった。売上額・受注残・施工高・収益についても変動なく前期同様の水準で推移した。価格面では請負価格の下降幅は前期並に推移したものの、材料価格は上昇傾向で推移した。

来期は、売上額・受注残・施工高・収益については減少・減益幅が縮小すると見ており、再びゆるやかに改善すると予想している。価格面では請負価格・材料価格ともに今期と同水準で推移すると見ている。

#### <不動産業>

売上額・収益については若干の悪化が見られたものの、業況は前期同様変化なく停滞した。価格面では、仕入価格はわずかに上昇傾向を強め、販売価格は前期並の下降が続いている。資金繰りは前期同様の厳しさが続いた。

来期は、売上額・収益においては改善が期待できると見ているものの、業況は今期並の状態で停滞が続くと予想している。価格面では、販売価格・仕入価格ともに変化なく横這いの状態が続くと予想している。

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

#### [注]

○D. I (Diffusion Indexの略)

D. I (ディーアイ) は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○D. I. (季節調整済)

季節調整済とは、各期ごとに季節的な変動を繰り返すD. I を過去5年間まで遡って季節的な変動を除去して加工したD. I 値です。修正値ともいいます。

○傾向値

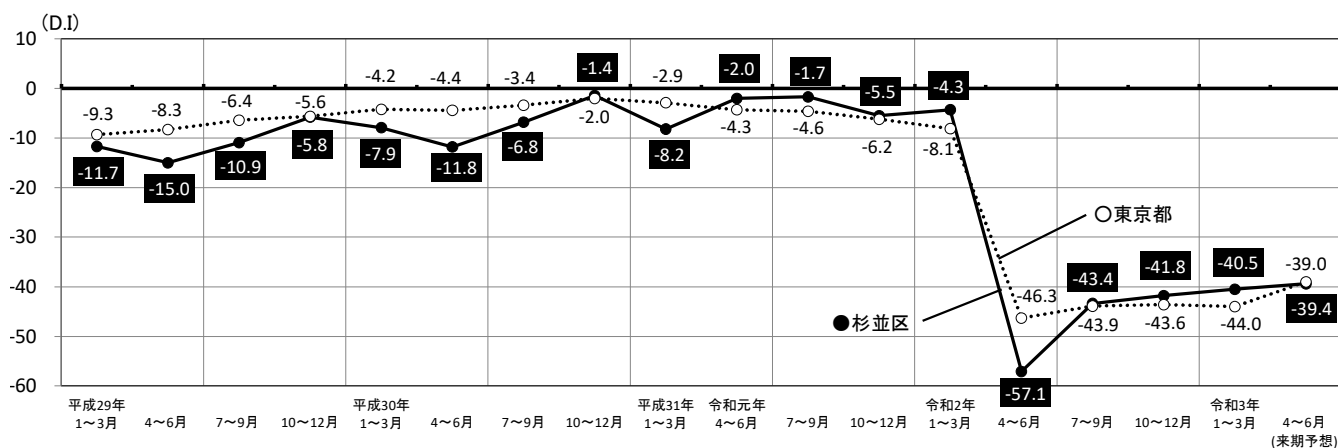
傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

## 杉並区内中小企業の景況（令和3年1月～3月期）

業況判断D.I.（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-40.5と前期（令和2年10月～12月）の-41.8に比べ1.3ポイント上昇したが前期同様の厳しさが続いている。業種別に見ると小売業、サービス業、不動産業の3業種は厳しさが大幅に弱まったが、製造業、卸売業、建設業の3業種は厳しさが大幅に強まった。

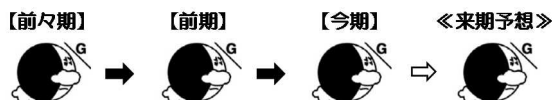
3期前のコロナショックで全業種が大幅に低迷して以降、目立った改善がなかった小売業とサービス業だが、依然として厳しい状況ながら今期は両業種ともに10ポイント以上の改善が見られた。

来期（令和3年4月～6月）は今期並の悪化幅で推移すると予想されている。業種別に見ると、製造業は厳しさが大きく和らぎ、卸売業もかなり持ち直すと予想されており、サービス業も若干改善する見通しである。小売業と不動産業は再び悪化傾向が強まり、建設業もわずかに厳しさが増すと見込まれている。



## 杉並区内各業種別業況の動きと来期の予想

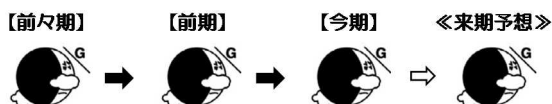
### 製造業



業況は再び厳しさが強まった。売上額は前期並の減少が続いたが、受注残と収益は減少幅が多少拡大した。販売価格は前期同様の減少幅で推移したが、原材料価格はわずかに下降に転じて良好感が出てきた。原材料在庫は品薄から過剰に転じた。

来期の見通しについて、業況は厳しさが大きく和らぐと予想されている。売上額と収益も減少幅が極端に縮小すると見込まれている。

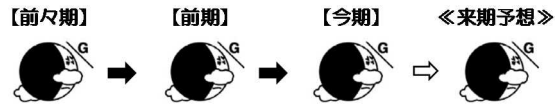
### 卸売業



業況は厳しさが再び大きく強まった。売上額は減少傾向が大きく強まり、収益は減少幅が極端に拡大した。販売価格はほぼ前期並の下降が続き、仕入価格は上昇傾向がかなり強まった。在庫は不足感が改善され適正範囲に近づいた。

来期の見通しについて、業況は厳しい状況は続くもののがかなり持ち直すと見込まれている。売上額と収益はともに減少・減益幅が大幅に改善されると予想されている。

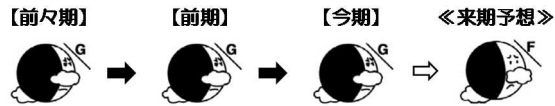
## 小売業



業況は厳しさがかなり和らいだ。売上額と収益はともに減少・減益幅が大幅に縮小した。販売価格は下降傾向が多少弱まり、仕入価格は上昇に転じて厳しい状況となった。在庫は前期並の過剰感で推移した。

来期の見通しについて、業況は再び厳しさが強まると見込まれており、売上額と収益も減少・減益幅がやや拡大すると予想されている。

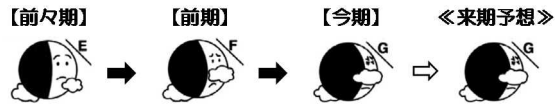
## サービス業



業況は厳しさが大幅に和らいだ。売上額と収益はともに減少・減益幅が大幅に改善された。料金価格と材料価格はともに前期同様の水準で推移した。

来期の見通しについて、業況は厳しさが多少和らぐと見込まれており、売上額と収益はともに大きく改善すると予想されている。

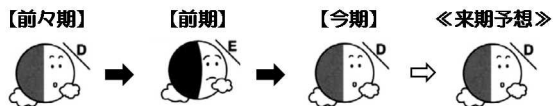
## 建設業



業況は厳しさが更に大きく強まった。売上額、受注残、施工高はともに減少傾向が極端に強まり、収益も減少幅がかなり拡大した。請負価格は再び厳しさを増したが、材料価格は上昇が大幅に弱まり落ち着きを見せた。

来期の見通しについて、業況は厳しさが幾分増すと予想されているが、売上額、受注残、施工高はともに減少幅が極端に縮小し、収益もかなり改善すると見込まれている。

## 不動産業

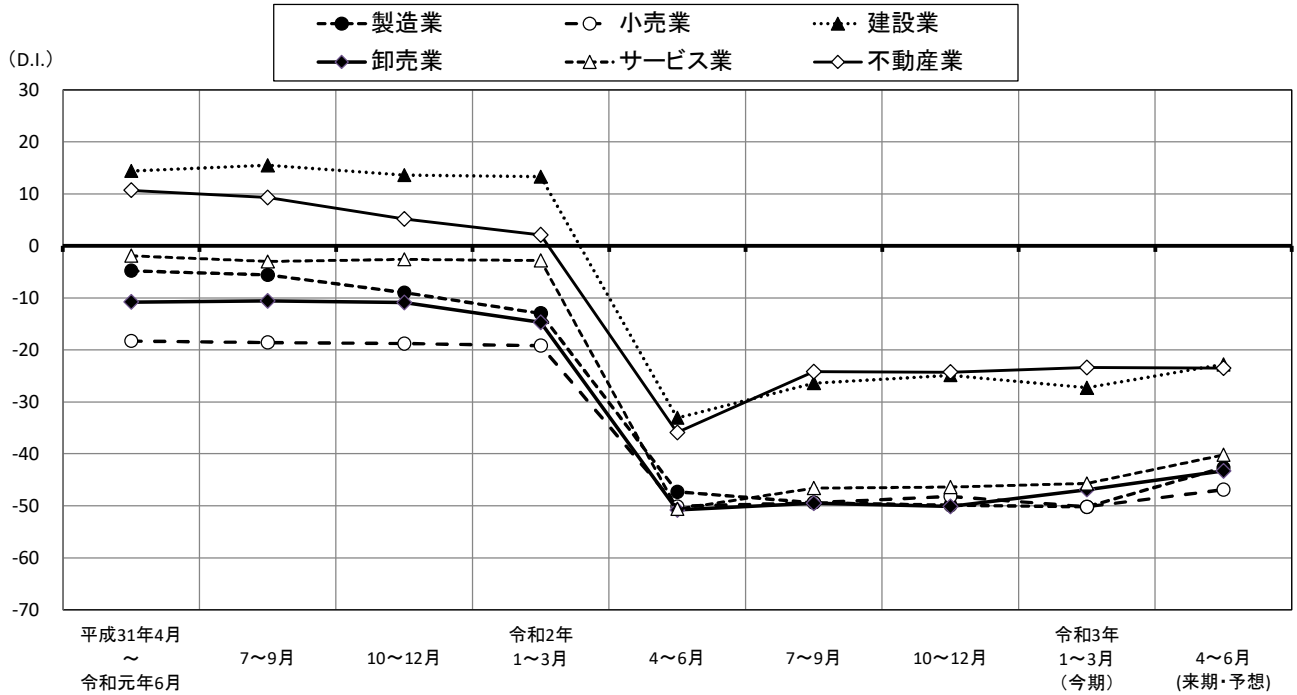


業況は厳しさが大きく和らいだ。売上額は減少幅がかなり縮小したが、収益は減少傾向が若干強まった。販売価格は下降傾向が幾分強まり、仕入価格はわずかに下降に転じ良好感が現れた。在庫は不足感がかなり改善された。

来期の見通しについて、業況は再び厳しさが増すと予想されている。売上額は減少がかなり強まり、収益は今期並の減少幅で推移すると見込まれている。

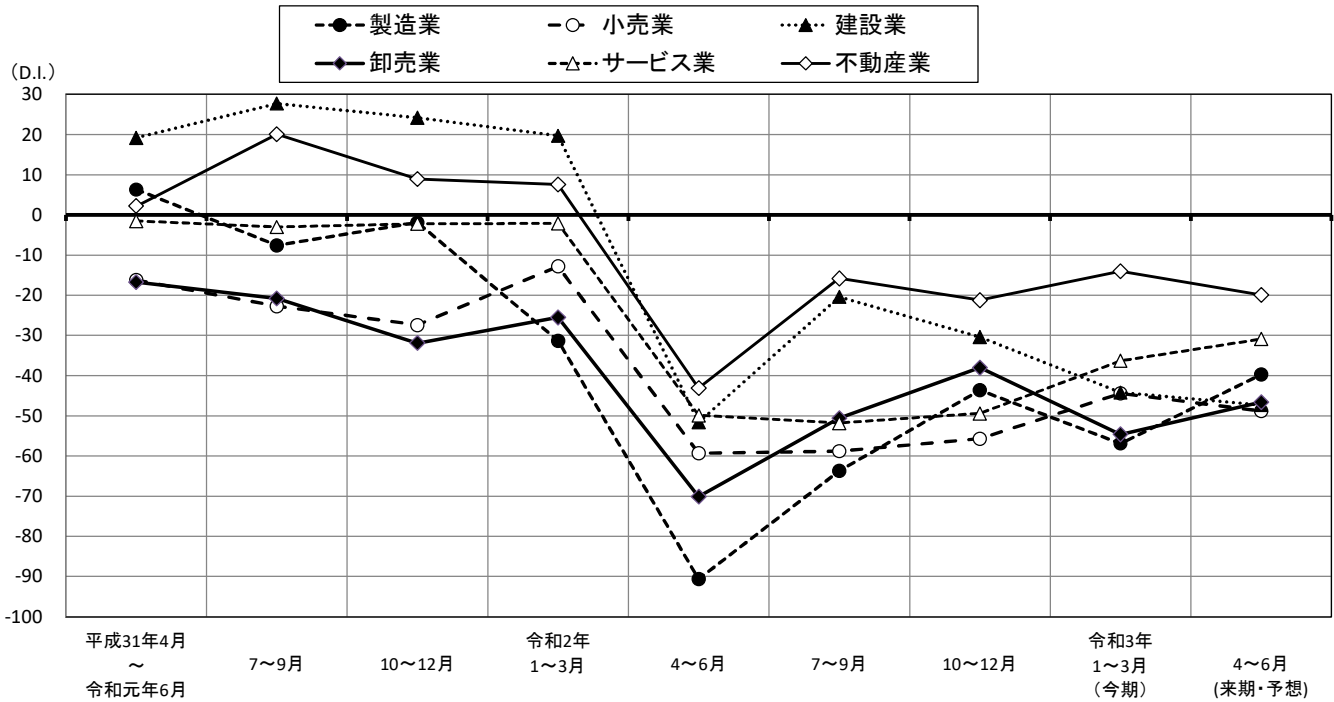
業種別業況の動き(実績)と来期の予想(東京都・杉並区の比較)

東京都



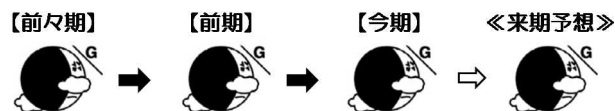
	平成31年4月 ~ 令和元年6月	7~9月	10~12月	令和2年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	令和3年 1~3月 (今期)	前期から の増減	4~6月 (来期・予想)	今期から の増減
製 造 業	-4.8	-5.6	-9.0	-13.0	-47.3	-49.4	-49.9	-50.2	-0.3	-42.7	7.5
卸 売 業	-10.8	-10.6	-10.9	-14.7	-50.8	-49.5	-50.1	-46.9	3.2	-43.3	3.6
小 売 業	-18.3	-18.6	-18.8	-19.2	-50.1	-49.4	-48.2	-50.2	-2.0	-46.9	3.3
サ ー ビ ス 業	-1.9	-3.0	-2.6	-2.8	-50.6	-46.6	-46.4	-45.7	0.7	-40.2	5.5
建 設 業	14.4	15.5	13.6	13.3	-33.1	-26.4	-24.9	-27.3	-2.4	-22.8	4.5
不 動 産 業	10.7	9.3	5.2	2.1	-35.9	-24.2	-24.3	-23.4	0.9	-23.5	-0.1
総 合	-4.3	-4.6	-6.2	-8.1	-46.3	-43.9	-43.6	-44.0	-0.4	-39.0	5.0

# 杉並区



	平成31年4月 ~ 令和元年6月	7~9月	10~12月	令和2年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	令和3年 1~3月 (今期)	前期から の増減	4~6月 (来期・予想)	今期から の増減
製 造 業	6.3	-7.6	-1.9	-31.3	-90.6	-63.7	-43.6	-56.9	-13.3	-39.7	17.2
卸 売 業	-16.7	-20.8	-31.9	-25.5	-70.1	-50.6	-38.0	-54.6	-16.6	-46.6	8.0
小 売 業	-16.2	-22.7	-27.4	-12.8	-59.3	-58.8	-55.7	-44.4	11.3	-48.8	-4.4
サ ー ビ ス 業	-1.5	-3.0	-2.2	-2.1	-49.9	-51.8	-49.4	-36.3	13.1	-30.9	5.4
建 設 業	19.2	27.7	24.2	19.7	-51.6	-20.4	-30.4	-44.2	-13.8	-47.3	-3.1
不 動 産 業	2.2	20.1	8.9	7.6	-43.1	-15.8	-21.2	-14.0	7.2	-19.9	-5.9
総 合	-2.0	-1.7	-5.5	-4.3	-57.1	-43.4	-41.8	-40.5	1.3	-39.4	1.1

# 製 造 業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業 況

業況 ( $\Delta 63.7 \rightarrow \Delta 43.6 \rightarrow \Delta 56.9$ ) は再び厳しさが強まった。

## 売上額・収益・受注残

売上額 ( $\Delta 54.0 \rightarrow \Delta 53.7 \rightarrow \Delta 55.5$ ) は前期並の減少が続いたが、受注残 ( $\Delta 48.6 \rightarrow \Delta 60.8 \rightarrow \Delta 65.1$ ) と収益 ( $\Delta 61.4 \rightarrow \Delta 52.1 \rightarrow \Delta 57.5$ ) は減少幅が多少拡大した。

## 価格・在庫動向

販売価格 ( $\Delta 9.5 \rightarrow \Delta 7.8 \rightarrow \Delta 7.9$ ) は前期同様の減少幅で推移したが、原材料価格 (3.4→1.1→ $\Delta 1.8$ ) はわずかに下降に転じて良好感が出てきた。

原材料在庫 (6.0→ $\Delta 9.0 \rightarrow 7.6$ ) は品薄から過剰に転じた。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 44.2 \rightarrow \Delta 13.7 \rightarrow \Delta 8.8$ ) は厳しさがさらに和らぎ、借入難易度 (20.0→11.1→20.0) は容易さが再び増した。

設備投資を「実施した」企業 (27.3%→18.2%→9.1%) は前期から9.1ポイント減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(63.6%) が今期も最多となり、以下「利幅の縮小」(36.4%)、「大手企業との競争の激化」(27.3%)、「同業者間の競争の激化」(18.2%)、「原材料高」、「工場・機械の狭小・老朽化」、「販売納入先からの値下げ要請」(各9.1%) の順であった。

重点経営施策では、「販路を広げる」(90.9%) が今期も最多となり、以下「経費を節減する」(63.6%)、「提携先を見つける」(27.3%)、「人材を確保する」、「工場・機械を増設・移転する」、「新製品・技術を開発する」、「情報力を強化する」(各9.1%) の順であった。

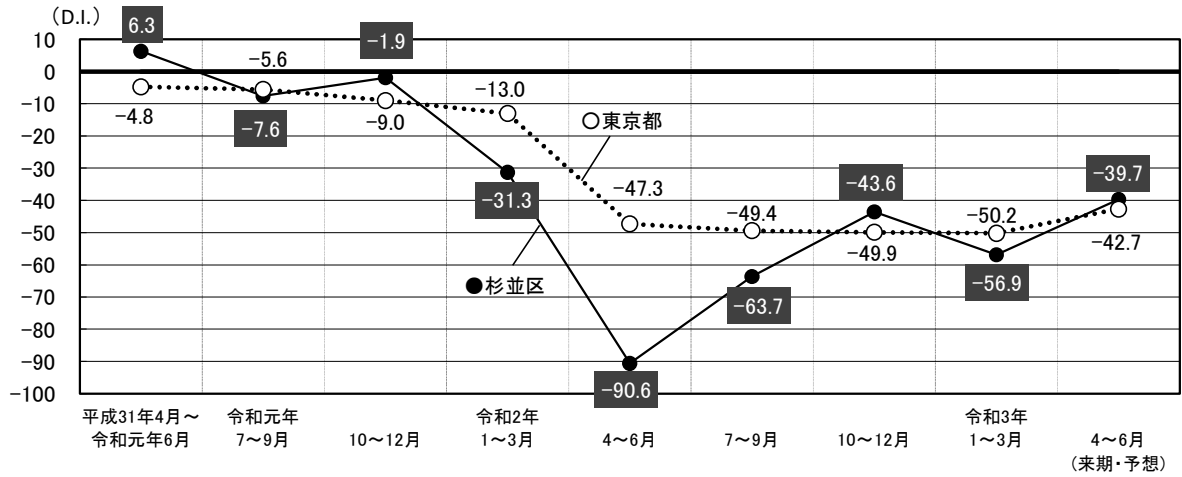
## 来 期 の 見 通 し

来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 39.7$  予想) は厳しさが大きく和らぐと予想されている。売上額 ( $\Delta 29.1$  予想) と収益 ( $\Delta 32.9$  予想) も減少幅が極端に縮小すると見込まれている。

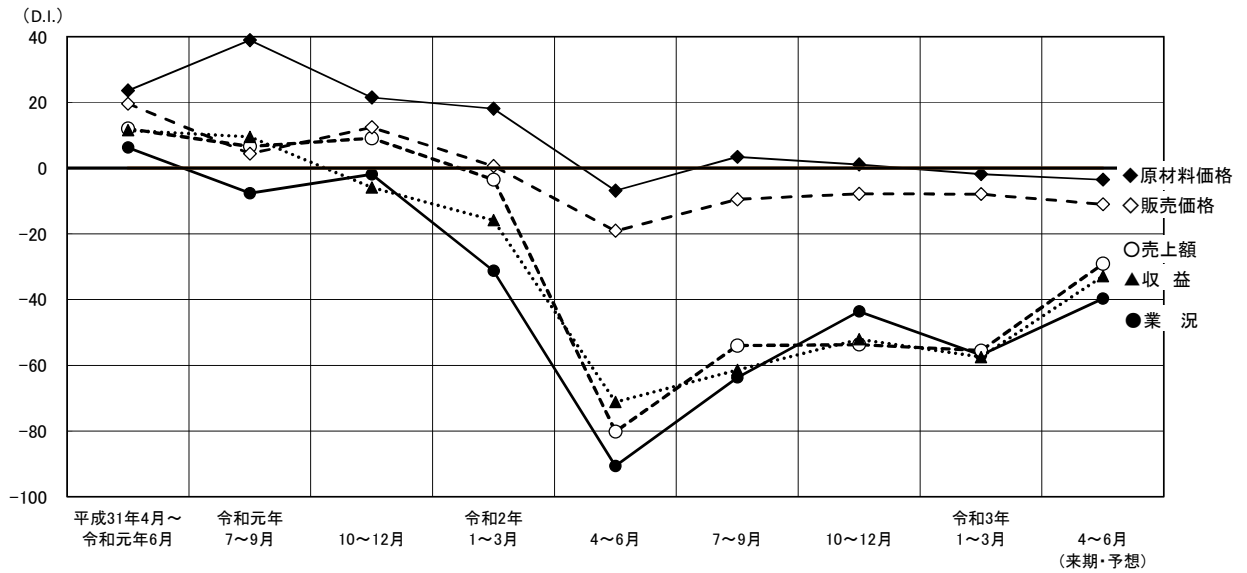
価格面では、販売価格 ( $\Delta 11.0$  予想) は下降が若干強まるが、原材料価格 ( $\Delta 3.5$  予想) は今期並の下降水準で推移すると見込まれている。



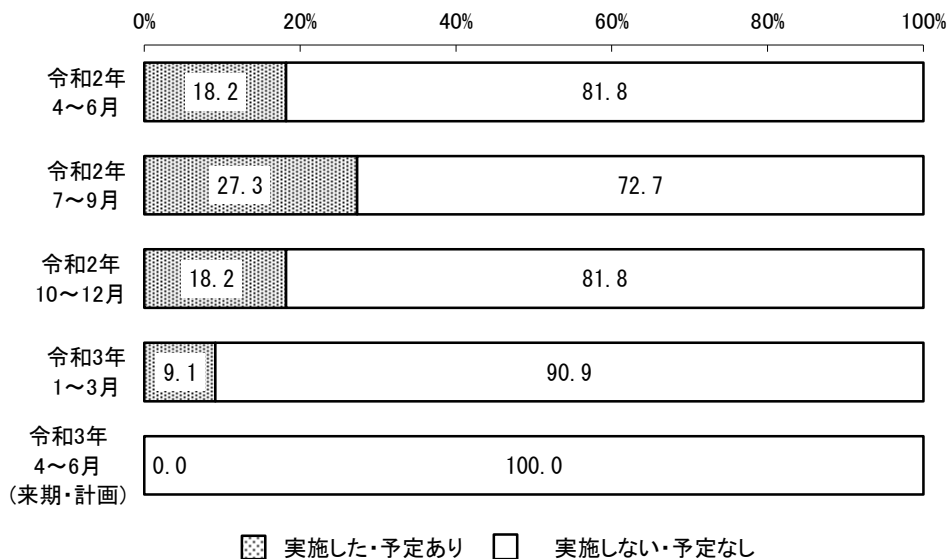
## 【製造業】杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



## 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予想

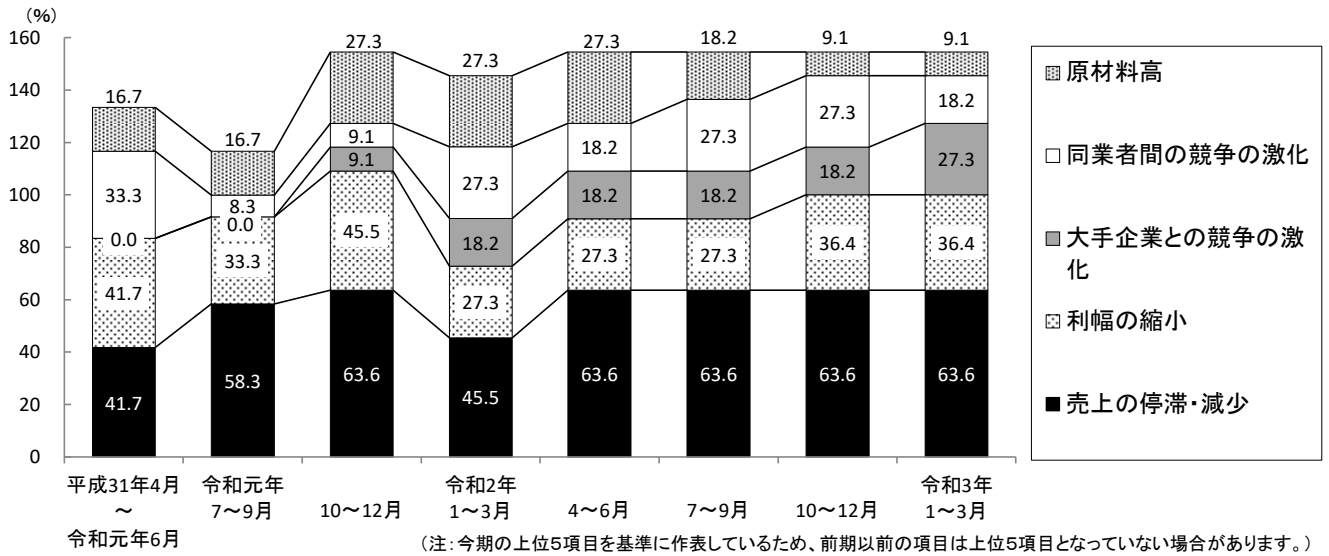


## 設備投資動向



## 経営上の問題点

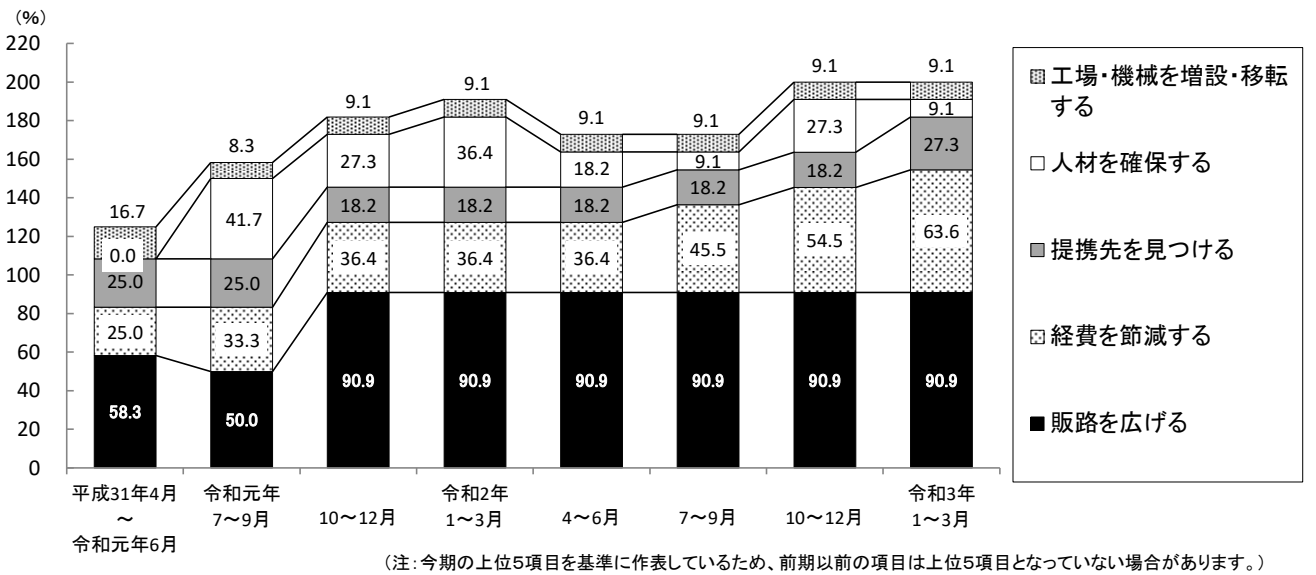
(複数回答)



令和2年4～6月期		令和2年7～9月期		令和2年10～12月期		令和3年1～3月期	
売上の停滞・減少	63.6%	売上の停滞・減少	63.6%	売上の停滞・減少	63.6%	売上の停滞・減少	63.6%
利幅の縮小 原材料高	27.3%	同業者間の競争の激化 利幅の縮小	27.3%	利幅の縮小 同業者間の競争の激化	36.4% 27.3%	利幅の縮小 大手企業との競争の激化	36.4% 27.3%
大手企業との競争の激化 同業者間の競争の激化	18.2%	大手企業との競争の激化 原材料高	18.2%	人手不足 大手企業との競争の激化	18.2%	同業者間の競争の激化 原材料高 工場・機械の狭小・老朽化 販売納入先からの値下げ要請	18.2% 9.1%

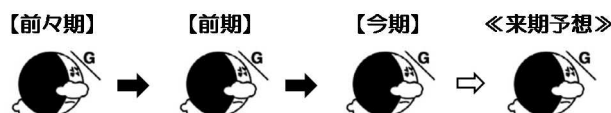
## 重点経営施策

(複数回答)



令和2年4～6月期		令和2年7～9月期		令和2年10～12月期		令和3年1～3月期	
販路を広げる	90.9%	販路を広げる	90.9%	販路を広げる	90.9%	販路を広げる	90.9%
経費を節減する	36.4%	経費を節減する	45.5%	経費を節減する	54.5%	経費を節減する	63.6%
人材を確保する 提携先を見つける	18.2%	提携先を見つける 新製品・技術を開発する	18.2%	人材を確保する	27.3%	提携先を見つける	27.3%
新製品・技術を開発する 工場・機械を増設・移転する	9.1%	人材を確保する 工場・機械を増設・移転する 情報力を強化する	9.1%	提携先を見つける 工場・機械を増設・移転する 機械化を推進する	18.2% 9.1%	人材を確保する 工場・機械を増設・移転する 新製品・技術を開発する 情報力を強化する	9.1%

# 卸 売 業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業 況

業況 ( $\Delta 50.6 \rightarrow \Delta 38.0 \rightarrow \Delta 54.6$ ) は厳しさが再び大きく強まった。

## 売上額 ・ 収益

売上額 ( $\Delta 65.6 \rightarrow \Delta 40.3 \rightarrow \Delta 54.9$ ) は減少傾向が大きく強まり、収益 ( $\Delta 57.9 \rightarrow \Delta 28.9 \rightarrow \Delta 53.5$ ) は減少幅が極端に拡大した。

## 価格 ・ 在庫動向

販売価格 ( $\Delta 11.4 \rightarrow \Delta 11.4 \rightarrow \Delta 13.3$ ) はほぼ前期並の下降が続き、仕入価格 ( $13.8 \rightarrow 12.9 \rightarrow 19.1$ ) は上昇傾向がかなり強まった。

在庫 ( $\Delta 12.2 \rightarrow \Delta 7.4 \rightarrow \Delta 2.9$ ) は不足感が改善され適正範囲に近づいた。

## 資金繰り ・ 借入難易度 ・ 設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 40.7 \rightarrow \Delta 28.2 \rightarrow \Delta 19.1$ ) は窮屈感が大きく緩和されたが、借入難易度 ( $\Delta 21.5 \rightarrow \Delta 21.5 \rightarrow \Delta 23.1$ ) は前期並の厳しさが続いた。

設備投資を「実施した」企業 ( $13.3\% \rightarrow 13.3\% \rightarrow 7.1\%$ ) は前期から6.2ポイントの減少であった。

## 経営上の問題点 ・ 重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(64.3%) が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」(35.7%)、「取引先の減少」(21.4%)、「人手不足」、「為替レートの変動」、「仕入先からの値上げ要請」(各14.3%) の順であった。

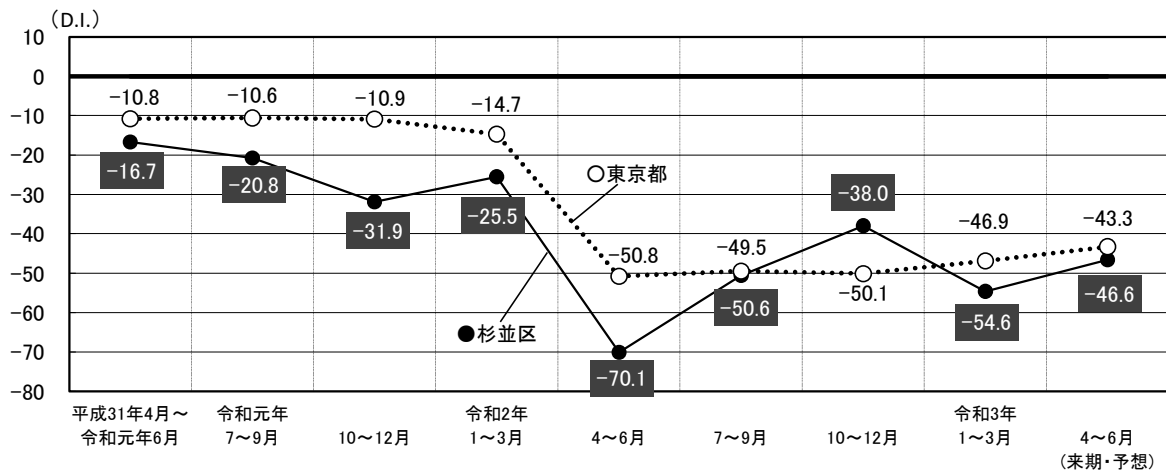
重点経営施策では、「販路を広げる」(78.6%) が今期も最多となった。以下、「経費を節減する」(57.1%)、「情報力を強化する」(35.7%)、「人材を確保する」、「流通経路の見直しをする」、「機械化を推進する」(各14.3%) の順であった。

## 来 期 の 見 通 し

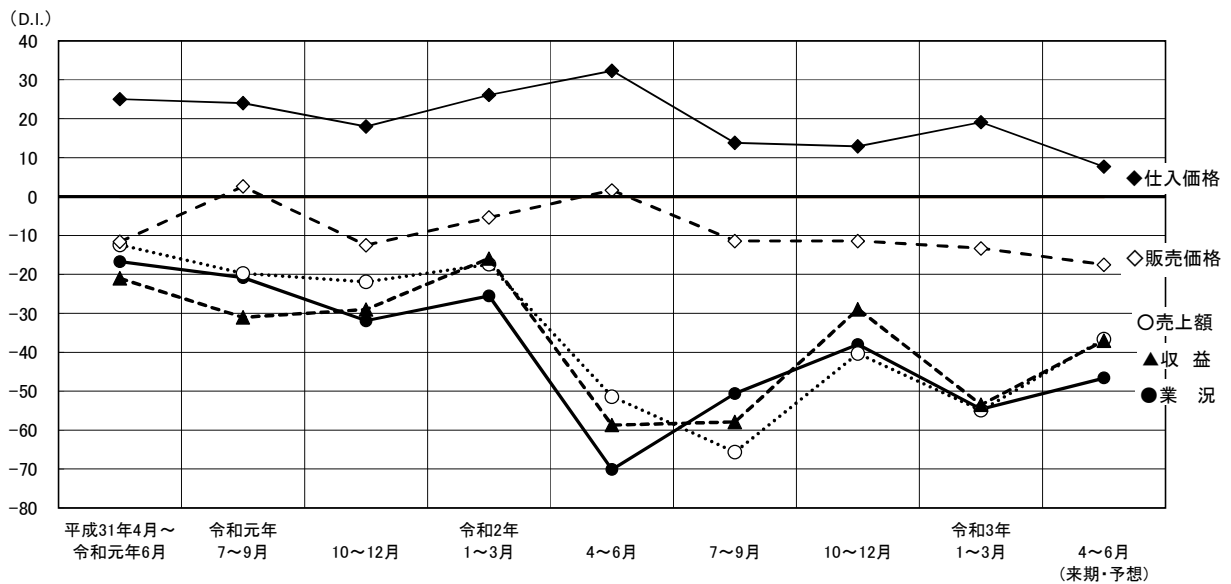
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 46.6$  予想) は厳しい状況は続くものかなり持ち直すと思込まれている。売上額 ( $\Delta 36.6$  予想) と収益 ( $\Delta 37.0$  予想) はともに減少・減益幅が大幅に改善されると予想されている。

価格面では、販売価格 ( $\Delta 17.5$  予想) は下降傾向が幾分強まり、仕入価格 (7.7 予想) は上昇が大きく弱まると見込まれている。

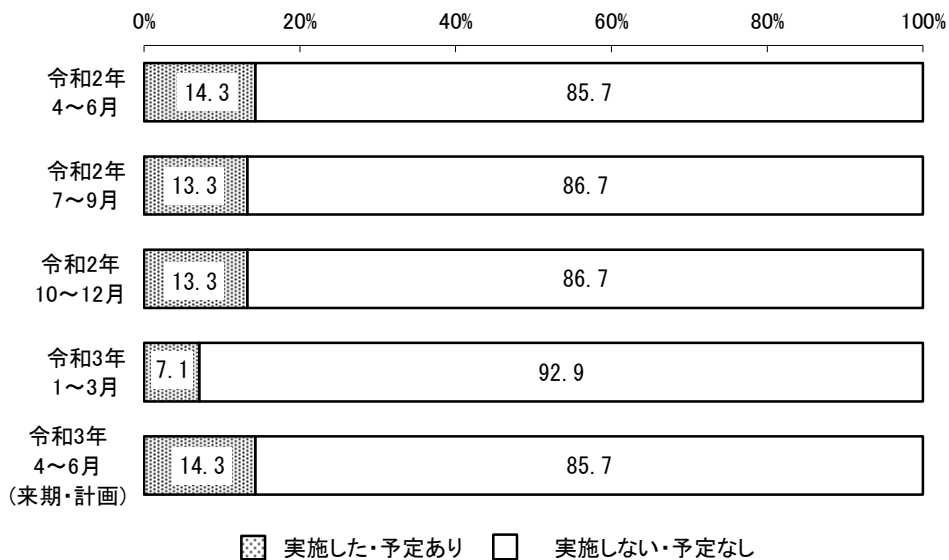
## 【卸売業】 杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



## 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予想

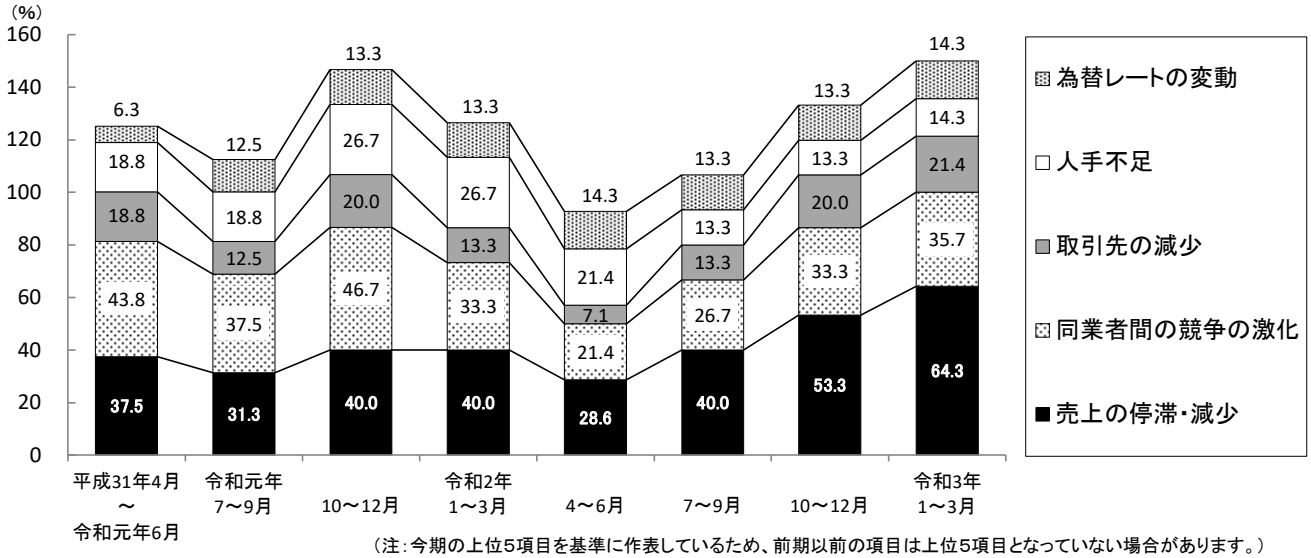


## 設備投資動向



## 経営上の問題点

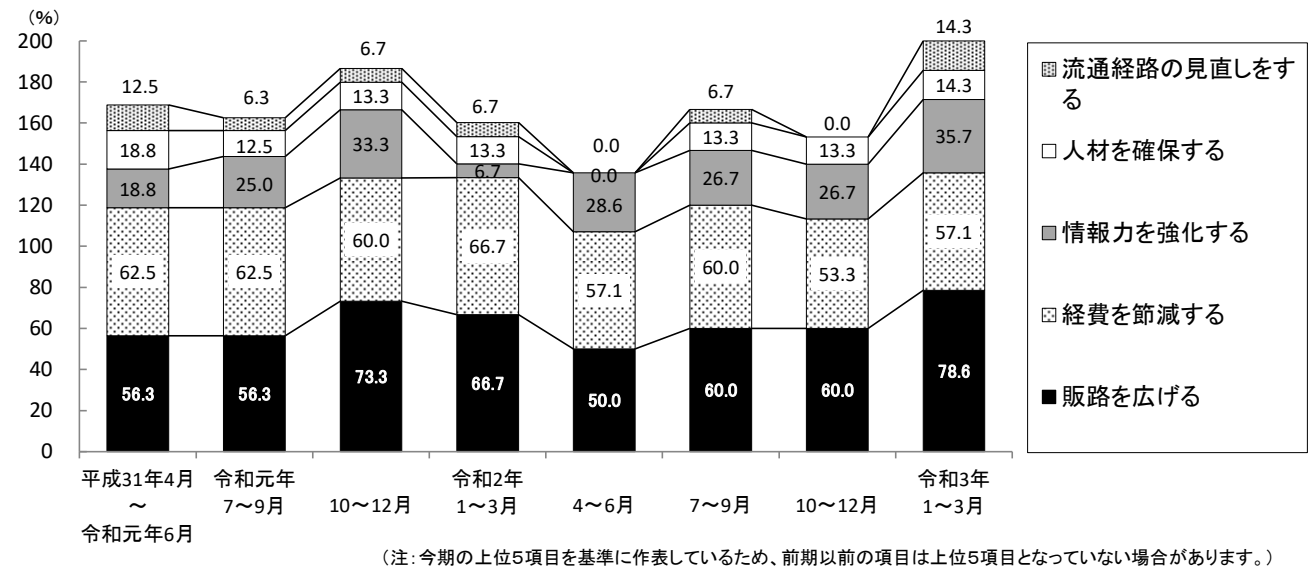
(複数回答)



令和2年4~6月期		令和2年7~9月期		令和2年10~12月期		令和3年1~3月期	
売上の停滞・減少	28.6%	売上の停滞・減少	40.0%	売上の停滞・減少	53.3%	売上の停滞・減少	64.3%
同業者間の競争の激化 人手不足 利幅の縮小	21.4%	同業者間の競争の激化 利幅の縮小	26.7%	同業者間の競争の激化 利幅の縮小	33.3%	同業者間の競争の激化 利幅の縮小	35.7%
為替レートの変動 大手企業・工場の縮小・撤退	14.3%	為替レートの変動 大手企業・工場の縮小・撤退 取引先の減少 仕入先からの値上げ要請	13.3%	為替レートの変動 大手企業・工場の縮小・撤退 取引先の減少	13.3%	為替レートの変動 仕入先からの値上げ要請	14.3%

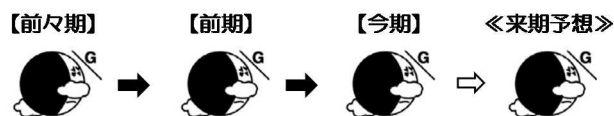
## 重点経営施策

(複数回答)



令和2年4~6月期		令和2年7~9月期		令和2年10~12月期		令和3年1~3月期	
経費を節減する	57.1%	経費を節減する 販路を広げる	60.0%	販路を広げる	60.0%	販路を広げる	78.6%
販路を広げる	50.0%	情報力を強化する	26.7%	情報力を強化する	26.7%	情報力を強化する	35.7%
教育訓練を強化する	14.3%	人材を確保する 品揃えを充実する	13.3%	人材を確保する 教育訓練を強化する	13.3%	人材を確保する 流通経路の見直しをする 機械化を推進する	14.3%

# 小 売 業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業 況

業況 ( $\Delta 58.8 \rightarrow \Delta 55.7 \rightarrow \Delta 44.4$ ) は厳しさがかなり和らいだ。

業種別で見ると、「飲食料品」( $\Delta 46.3 \rightarrow \Delta 36.9 \rightarrow \Delta 2.7$ ) は水面下ながら極端に持ち直し、「飲食店」( $\Delta 81.8 \rightarrow \Delta 89.5 \rightarrow \Delta 82.0$ ) も低調感が多少弱まったが、「衣服、呉服、身の回り品」( $\Delta 34.8 \rightarrow \Delta 28.8 \rightarrow \Delta 32.7$ ) は厳しさが再び強まった。

## 売上額 ・ 収益

売上額 ( $\Delta 62.2 \rightarrow \Delta 56.6 \rightarrow \Delta 43.1$ ) と収益 ( $\Delta 65.8 \rightarrow \Delta 53.0 \rightarrow \Delta 44.1$ ) はともに減少・減益幅が大幅に縮小した。

## 価格 ・ 在庫動向

販売価格 ( $\Delta 19.6 \rightarrow \Delta 8.2 \rightarrow \Delta 3.3$ ) は下降傾向が多少弱まり、仕入価格 ( $\Delta 0.4 \rightarrow \Delta 11.2 \rightarrow 3.1$ ) は上昇に転じて厳しい状況となった。

在庫 ( $3.5 \rightarrow 11.5 \rightarrow 12.1$ ) は前期並の過剰感で推移した。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 38.7 \rightarrow \Delta 43.3 \rightarrow \Delta 46.2$ ) は窮屈感がわずかに増し、借入難易度 ( $7.4 \rightarrow 7.4 \rightarrow \Delta 8.0$ ) は容易な状況から厳しい状況となった。

設備投資を「実施した」企業 ( $5.9\% \rightarrow 2.9\% \rightarrow 6.3\%$ ) は前期から3.4ポイント増加した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(69.7%) が今期も最多となり、以下、「大型店との競争の激化」(33.3%)、「同業者間の競争の激化」(24.2%)、「商店街の集客力の低下」(18.2%)、「利幅の縮小」(15.2%) の順であった。

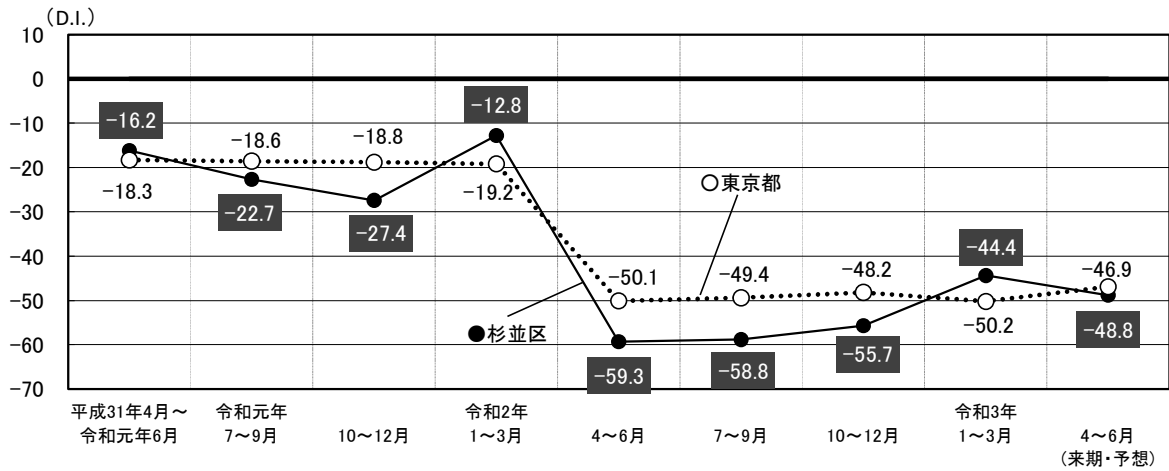
重点経営施策では、「経費を節減する」と「宣伝・広告を強化する」(各39.4%) がともに最多となった。以下、「品揃えを改善する」(33.3%)、「売れ筋商品を取り扱う」(21.2%)、「人材を確保する」(15.2%) の順であった。

## 来 期 の 見 通 し

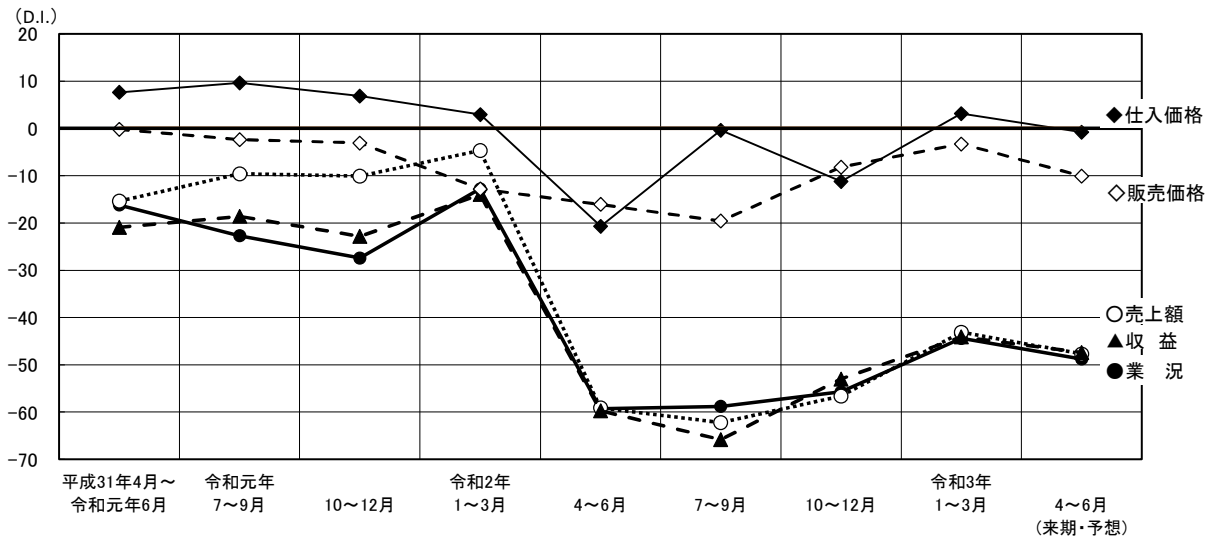
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 48.8$  予想) は再び厳しさが強まると見込まれており、売上額 ( $\Delta 47.7$  予想) と収益 ( $\Delta 47.4$  予想) も減少・減益幅がやや拡大すると予想されている。

価格面では、販売価格 ( $\Delta 10.1$  予想) は下降傾向をかなり強め、仕入価格 ( $\Delta 0.8$  予想) は上昇からわずかに下降に転じると見込まれている。

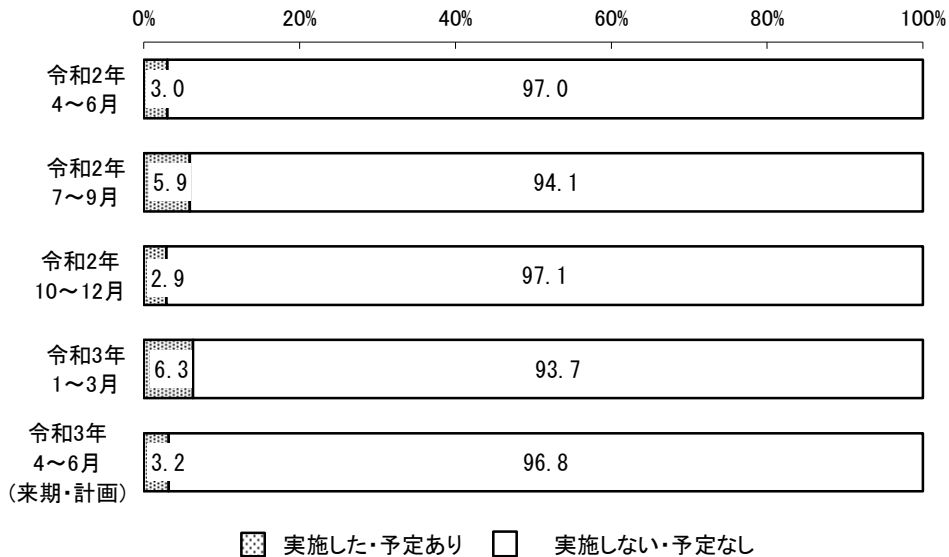
## 【小売業】 杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



## 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予想



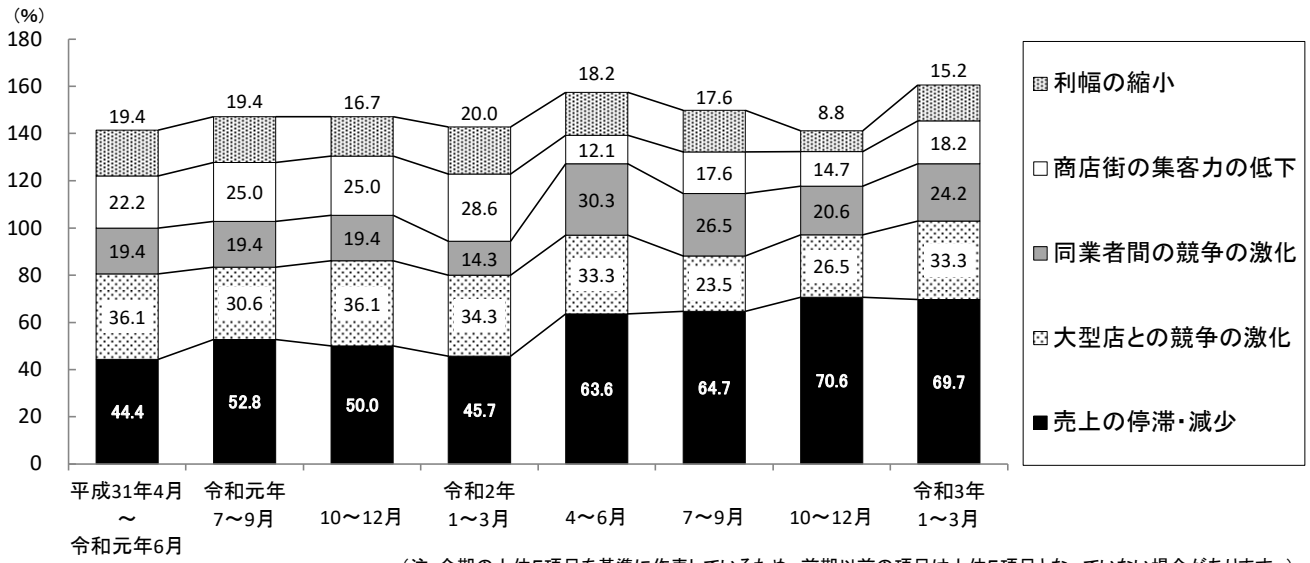
## 設備投資動向





## 経営上の問題点

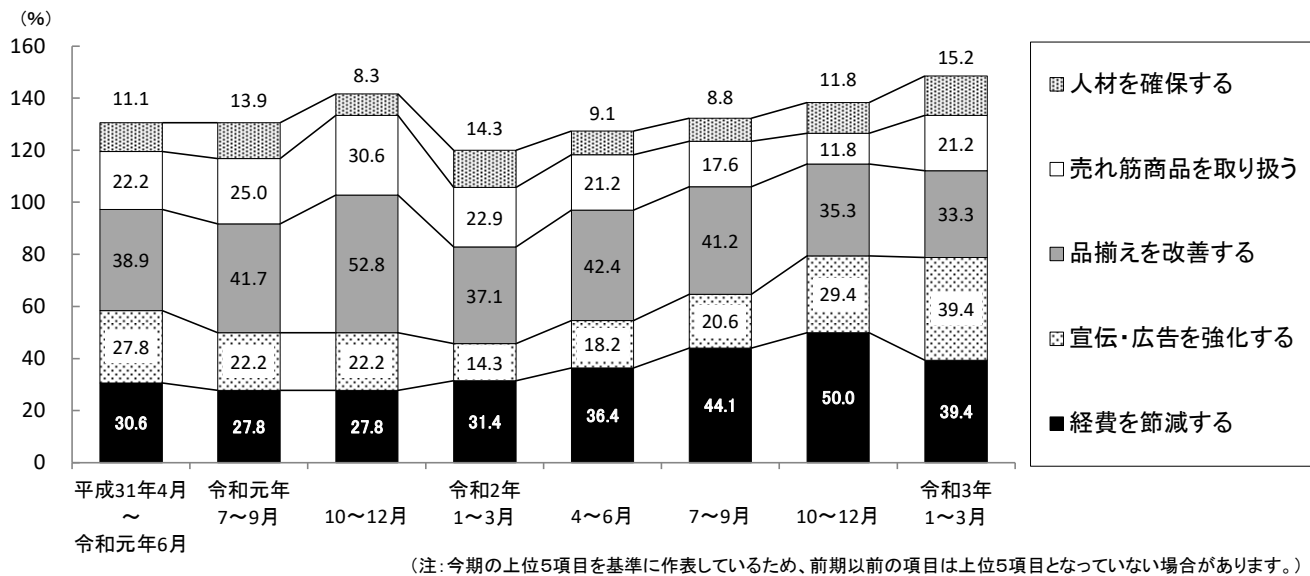
(複数回答)



令和2年4～6月期		令和2年7～9月期		令和2年10～12月期		令和3年1～3月期	
売上の停滞・減少	63.6%	売上の停滞・減少	64.7%	売上の停滞・減少	70.6%	売上の停滞・減少	69.7%
大型店との競争の激化	33.3%	同業者間の競争の激化	26.5%	大型店との競争の激化	26.5%	大型店との競争の激化	33.3%
同業者間の競争の激化	30.3%	大型店との競争の激化	23.5%	同業者間の競争の激化	20.6%	同業者間の競争の激化	24.2%
利幅の縮小	18.2%	利幅の縮小 商店街の集客力の低下	17.6%	商店街の集客力の低下	14.7%	商店街の集客力の低下	18.2%
商店街の集客力の低下	12.1%			人手不足	11.8%	利幅の縮小	15.2%

## 重点経営施策

(複数回答)



令和2年4～6月期		令和2年7～9月期		令和2年10～12月期		令和3年1～3月期	
品揃えを改善する	42.4%	経費を節減する	44.1%	経費を節減する	50.0%	経費を節減する 宣伝・広告を強化する	39.4%
経費を節減する	36.4%	品揃えを改善する	41.2%	品揃えを改善する	35.3%	品揃えを改善する	33.3%
売れ筋商品を取り扱う	21.2%	宣伝・広告を強化する	20.6%	宣伝・広告を強化する	29.4%	品揃えを改善する	33.3%
商店街事業を活性化させる 宣伝・広告を強化する	18.2%	売れ筋商品を取り扱う	17.6%	商店街事業を活性化させる	14.7%	売れ筋商品を取り扱う	21.2%
		商店街事業を活性化させる	14.7%	売れ筋商品を取り扱う 人材を確保する	11.8%	人材を確保する	15.2%



## 中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

### ●衣服、呉服、身の回り品●

業況（△34.8→△28.8→△32.7）は厳しさが再び強まった。売上額（△30.6→△21.0→△23.8）は減少傾向が幾分強まったが、収益（△34.9→△21.0→△22.5）は前期並の減少幅で推移した。販売価格（△15.9→△18.3→△19.1）は前期並の下降が続き、仕入価格（3.0→△20.9→△17.4）は下降傾向が多少弱まった。

来期の見通しについて、業況（△43.4予想）は厳しさが更に増すと予想されており、売上額（△37.3予想）と収益（△37.8予想）も再び減少が大きく強まると予想されている。販売価格（△16.5予想）はわずかに下降が弱まり、仕入価格（△16.8予想）は今期並の下降傾向が続くと見込まれている。

### ●飲食料品●

業況（△46.3→△36.9→△2.7）は水面下ながら極端に持ち直し、売上額（△59.1→△40.7→△0.7）と収益（△59.6→△26.9→△3.5）も減少・減益傾向は続くものの極端に改善した。価格面では、販売価格（△19.8→△4.0→12.5）は下降から上昇に大きく転じたが、仕入価格（△15.2→△18.2→9.1）は上昇から下降に大きく転じて厳しい状況となった。

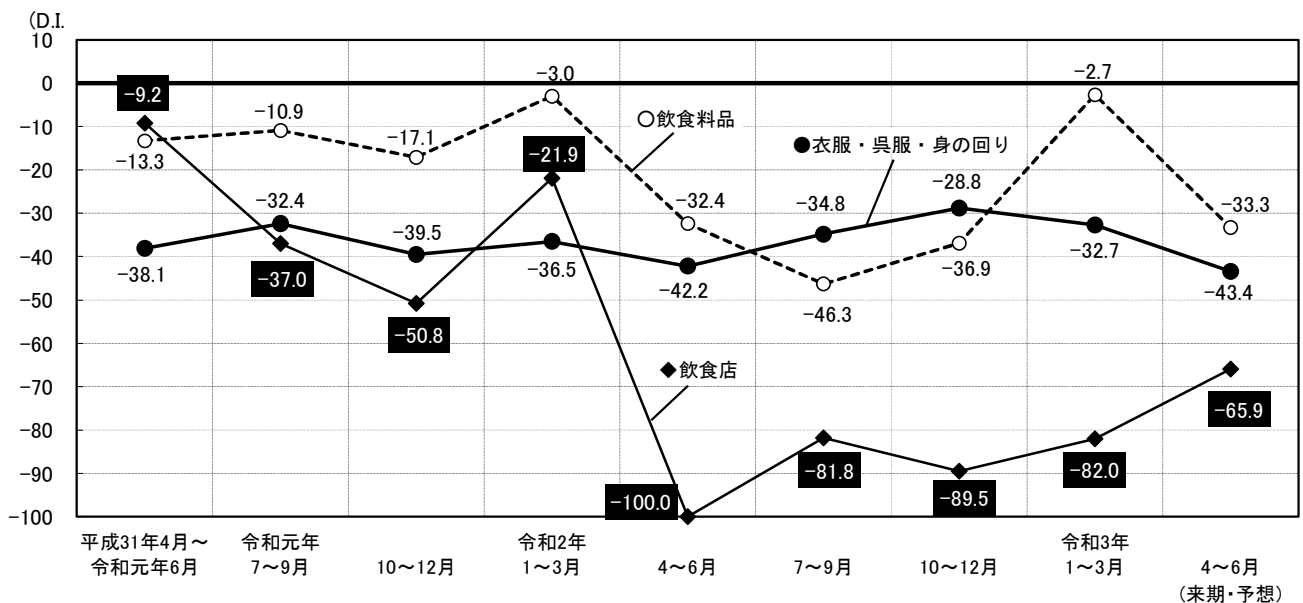
来期の見通しについて、業況（△33.3予想）は再び厳しさが大きく強まると見込まれており、売上額（△48.7予想）と収益（△47.5予想）も減少・減益傾向を非常に大きく強めると予想されている。販売価格（△3.5予想）は再び下降に転じて厳しい状況となるが、仕入価格（△5.5予想）は下降に転じて良好感が出てくると見込まれている。

### ●飲食店●

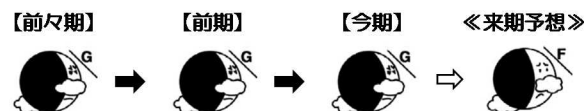
業況（△81.8→△89.5→△82.0）は低調感が多少弱まったが、売上額（△81.0→△91.0→△89.9）と収益（△80.8→△89.5→△91.1）は前期並の減少・減益幅で推移した。販売価格（△9.8→△2.5→1.1）はわずかに上昇に転じたが、仕入価格（11.4→△2.8→12.6）は再び上昇に転じて厳しい状況となった。

来期の見通しについて、業況（△65.9予想）は厳しい状況は続くものの非常に大きく和らぐと見込まれており、売上額（△65.6予想）と収益（△67.4予想）も減少・減益傾向が極端に改善されると予想されている。販売価格（△9.3予想）は大きく下降に転じて厳しさを強め、仕入価格（12.8予想）は今期並の上昇水準で推移すると見込まれている。

【小売業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予想



# サービス業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業況

業況 ( $\Delta 51.8 \rightarrow \Delta 49.4 \rightarrow \Delta 36.3$ ) は厳しさが大幅に和らいだ。

業種別で見ると、「自動車整備業、駐車場業」( $\Delta 81.6 \rightarrow \Delta 83.1 \rightarrow \Delta 52.6$ ) は低調感が弱まったが、「洗濯、理容、美容業」( $\Delta 40.2 \rightarrow \Delta 38.2 \rightarrow \Delta 40.2$ ) は厳しさがわずかに増した。

## 売上額・収益

売上額 ( $\Delta 55.0 \rightarrow \Delta 51.6 \rightarrow \Delta 39.1$ ) と収益 ( $\Delta 53.1 \rightarrow \Delta 52.1 \rightarrow \Delta 39.4$ ) はともに減少・減益幅が大幅に改善された。

## 料金・材料価格動向

料金価格 ( $\Delta 4.0 \rightarrow \Delta 9.9 \rightarrow \Delta 8.9$ ) と材料価格 ( $13.2 \rightarrow 6.3 \rightarrow 4.8$ ) はともに前期同様の水準で推移した。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 29.4 \rightarrow \Delta 23.9 \rightarrow \Delta 18.1$ ) は窮屈感が多少和らぎ、借入難易度 ( $40.0 \rightarrow 32.0 \rightarrow 23.1$ ) も容易さがかなり後退した。

設備投資を「実施した」企業 ( $3.1\% \rightarrow 0.0\% \rightarrow 3.1\%$ ) は前期から3.1ポイント増加した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(56.3%) が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」(46.9%)、「利幅の縮小」(15.6%)、「人手不足」(12.5%)、「大企業との競争の激化」(9.4%) の順であった。

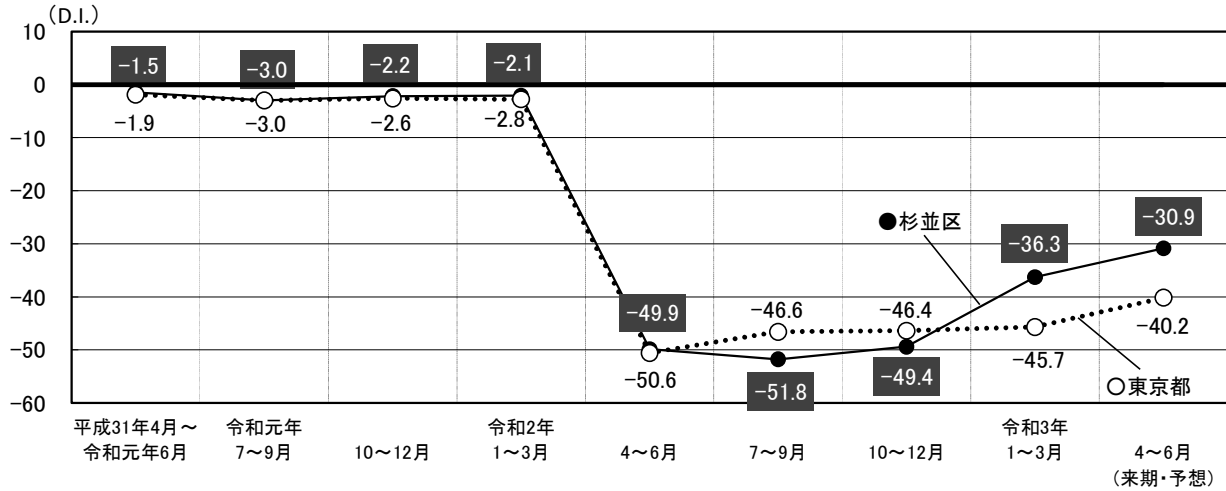
重点経営施策では、「経費を節減する」(53.1%) が今期は最多となった。以下、「販路を広げる」(46.9%)、「宣伝・広告を強化する」(25.0%)、「人材を確保する」(18.8%)、「技術力を強化する」、「新しい事業を始める」、「教育訓練を強化する」、「提携先を見つける」(各6.3%) の順であった。

## 来期の見通し

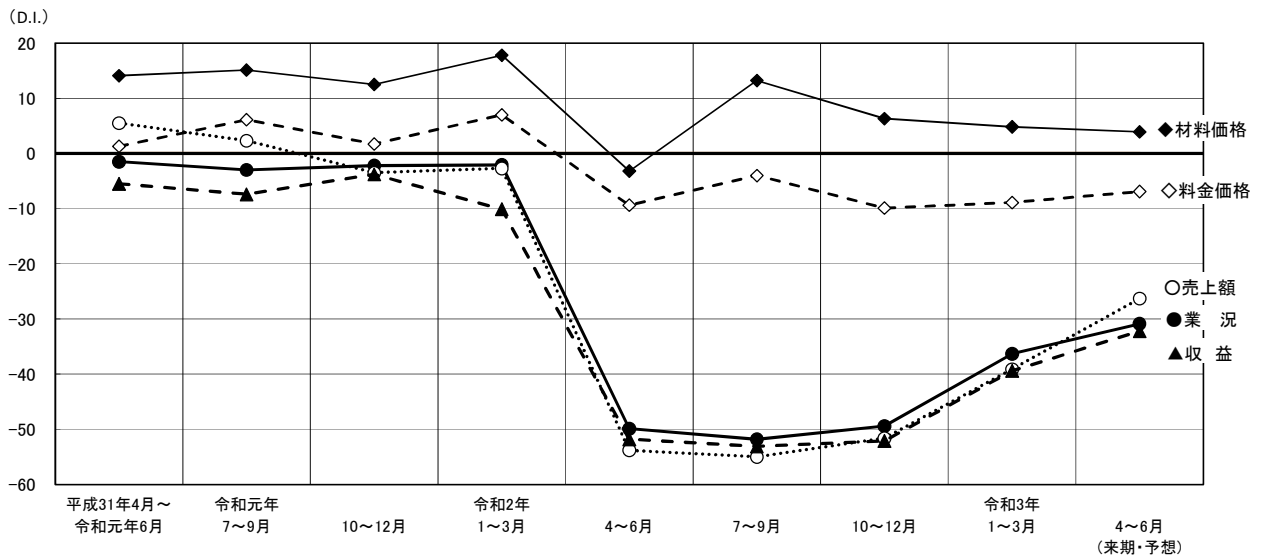
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 30.9$  予想) は厳しさが多少和らぐと見込まれており、売上額 ( $\Delta 26.3$  予想) と収益 ( $\Delta 32.2$  予想) はともに大きく改善すると予想されている。

価格面は、料金価格 ( $\Delta 6.9$  予想) は下降がやや弱まり、材料価格 (3.9 予想) は今期同様の水準で推移すると見込まれている。

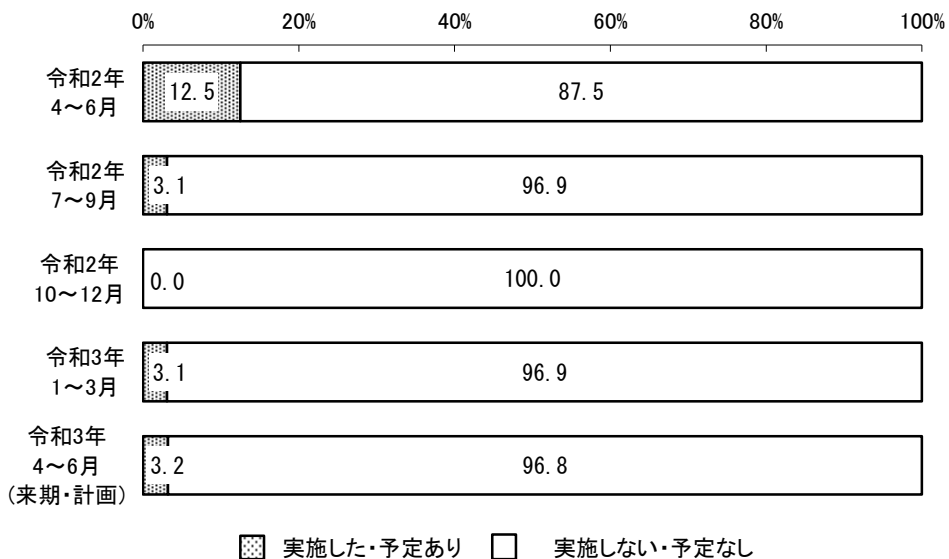
## 【サービス業】杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



## 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予想

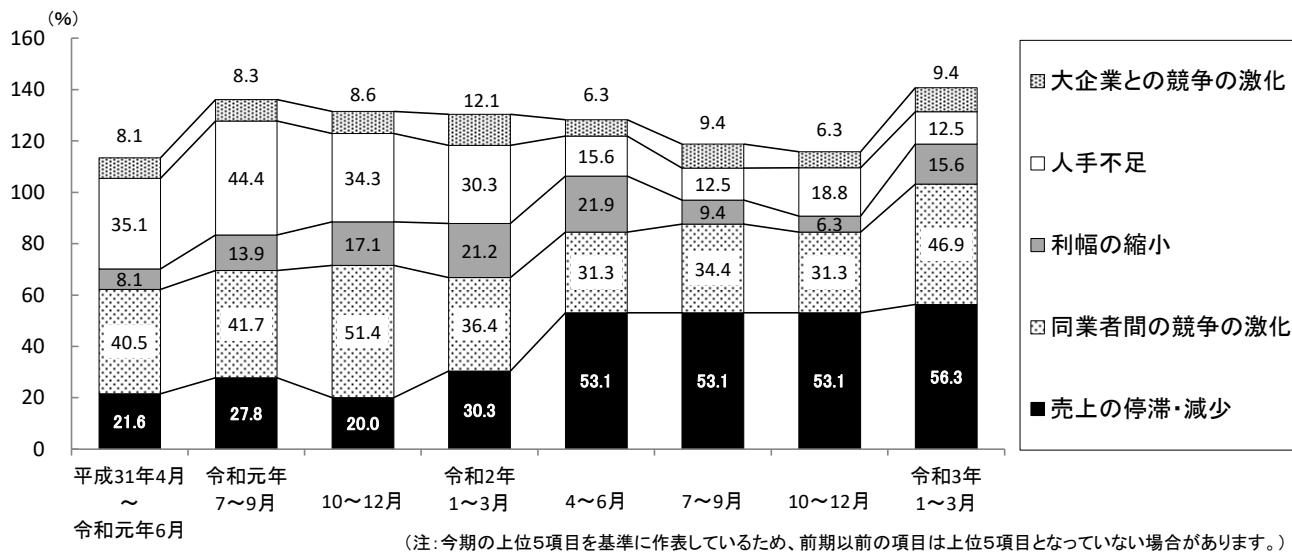


## 設備投資動向



## 経営上の問題点

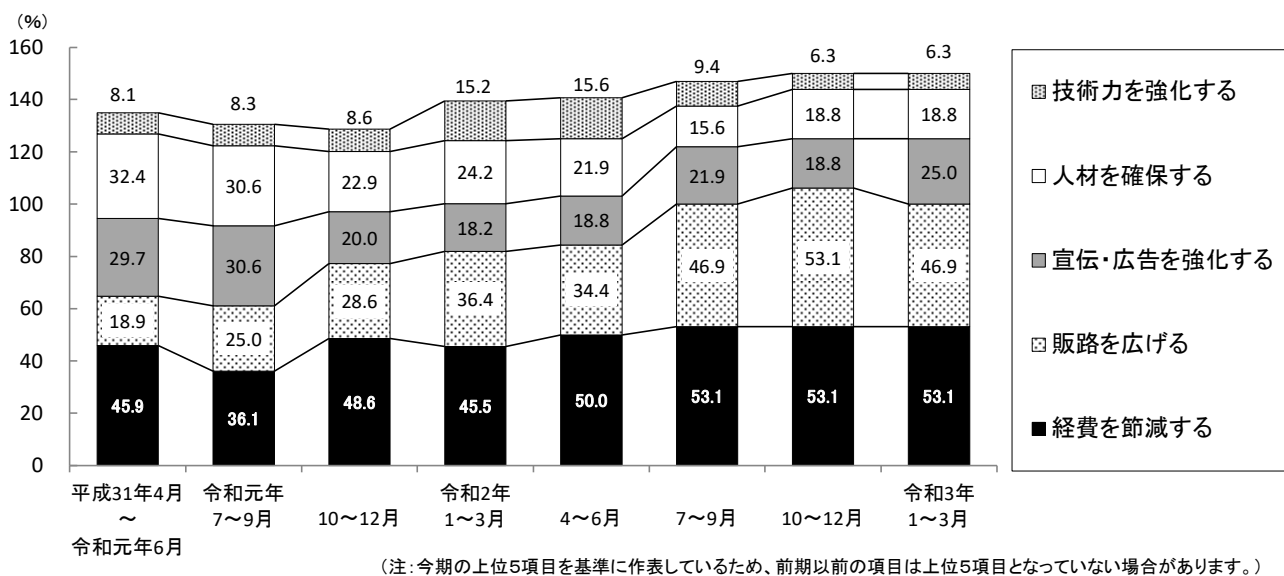
(複数回答)



令和2年4～6月期		令和2年7～9月期		令和2年10～12月期		令和3年1～3月期	
売上の停滞・減少	53.1%	売上の停滞・減少	53.1%	売上の停滞・減少	53.1%	売上の停滞・減少	56.3%
同業者間の競争の激化	31.3%	同業者間の競争の激化	34.4%	同業者間の競争の激化	31.3%	同業者間の競争の激化	46.9%
利幅の縮小	21.9%	人手不足 人件費の増加	12.5%	人手不足	18.8%	利幅の縮小	15.6%
人手不足	15.6%			人件費の増加	9.4%	人手不足	12.5%
人件費の増加	9.4%	利幅の縮小 大企業との競争の激化	9.4%	利幅の縮小 大企業との競争の激化 材料価格の上昇	6.3%	大企業との競争の激化	9.4%

## 重点経営施策

(複数回答)



令和2年4～6月期		令和2年7～9月期		令和2年10～12月期		令和3年1～3月期	
経費を節減する	50.0%	経費を節減する	53.1%	経費を節減する 販路を広げる	53.1%	経費を節減する	53.1%
販路を広げる	34.4%	販路を広げる	46.9%	宣伝・広告を強化する 人材を確保する	18.8%	販路を広げる	46.9%
人材を確保する	21.9%	宣伝・広告を強化する	21.9%			宣伝・広告を強化する	25.0%
宣伝・広告を強化する	18.8%	人材を確保する	15.6%	技術力を強化する 新しい事業を始める 教育訓練を強化する 提携先を見つける	6.3%	人材を確保する	18.8%
技術力を強化する	15.6%	技術力を強化する	9.4%			技術力を強化する	6.3%

## 中分類種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

### ●洗濯、理容、美容業●

業況（ $\Delta 40.2 \rightarrow \Delta 38.2 \rightarrow \Delta 40.2$ ）は厳しさがわずかに増したが、売上額（ $\Delta 55.4 \rightarrow \Delta 41.2 \rightarrow \Delta 38.2$ ）と収益（ $\Delta 60.6 \rightarrow \Delta 44.2 \rightarrow \Delta 39.1$ ）は減少幅が幾分縮小した。料金価格（ $6.1 \rightarrow \Delta 2.0 \rightarrow \Delta 7.0$ ）は厳しさが若干強まったが、材料価格（ $5.3 \rightarrow \Delta 2.0 \rightarrow \Delta 5.8$ ）はさらに下降し好感がわずかに強まった。

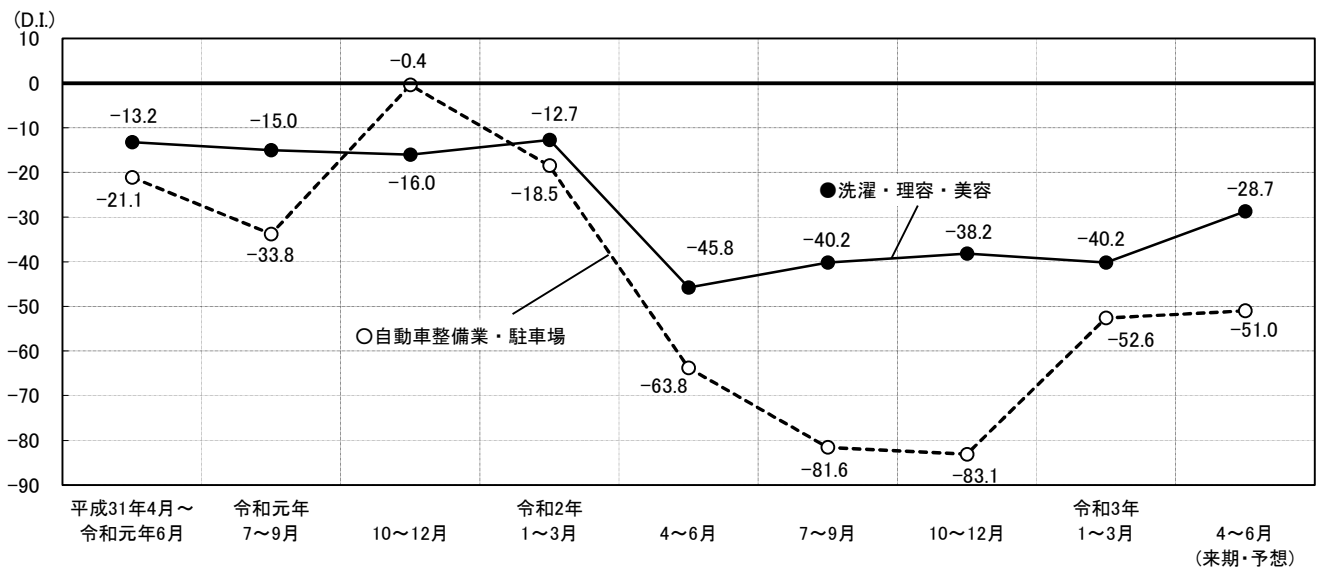
来期の見通しについて、業況（ $\Delta 28.7$ 予想）は厳しさがかなり和らぎ、売上額（ $\Delta 22.4$ 予想）と収益（ $\Delta 29.7$ 予想）も減少・減益傾向が大きく改善されると予想されている。料金価格（ $\Delta 6.0$ 予想）は今期並の下降水準が続き、材料価格（ $\Delta 7.9$ 予想）は好感が幾分強まると見込まれている。

### ●自動車整備業、駐車場業●

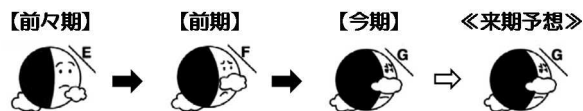
業況（ $\Delta 81.6 \rightarrow \Delta 83.1 \rightarrow \Delta 52.6$ ）は低調感が極端に弱まった。売上額（ $\Delta 80.3 \rightarrow \Delta 69.9 \rightarrow \Delta 51.0$ ）と収益（ $\Delta 60.6 \rightarrow \Delta 68.4 \rightarrow \Delta 50.2$ ）も減少・減益幅が大きく改善された。料金価格（ $\Delta 16.7 \rightarrow \Delta 16.7 \rightarrow \Delta 17.4$ ）は前期並の下降幅で推移し、材料価格（ $10.7 \rightarrow 17.8 \rightarrow 17.6$ ）も前期同様の上昇幅で推移した。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 51.0$ 予想）は今期同様の厳しさが続くと予想されており、売上額（ $\Delta 52.7$ 予想）と収益（ $\Delta 50.1$ 予想）も今期並の減少・減益幅で推移すると予想されている。料金価格（ $\Delta 14.9$ 予想）はわずかに下降が弱まり、材料価格（ $17.8$ 予想）は今期並の水準で推移すると見込まれている。

【サービス業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予想



# 建設業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業況

業況 ( $\Delta 20.4 \rightarrow \Delta 30.4 \rightarrow \Delta 44.2$ ) は厳しさが更に大きく強まった。

## 売上額・受注残・施工高・収益

売上額 ( $\Delta 25.5 \rightarrow \Delta 18.3 \rightarrow \Delta 40.1$ )、受注残 ( $\Delta 25.7 \rightarrow \Delta 15.5 \rightarrow \Delta 35.1$ )、施工高 ( $\Delta 22.5 \rightarrow \Delta 9.7 \rightarrow \Delta 32.4$ ) はともに減少傾向が極端に強まり、収益 ( $\Delta 29.3 \rightarrow \Delta 17.7 \rightarrow \Delta 25.9$ ) も減少幅がかなり拡大した。

## 請負価格・材料価格・在庫

請負価格 ( $\Delta 19.2 \rightarrow \Delta 5.4 \rightarrow \Delta 11.5$ ) は再び厳しさを増したが、材料価格 ( $12.6 \rightarrow 22.6 \rightarrow 3.5$ ) は上昇が大幅に弱まり落ち着きを見せた。

在庫 ( $\Delta 9.7 \rightarrow \Delta 4.1 \rightarrow \Delta 2.4$ ) は不足感が改善傾向にある。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 7.7 \rightarrow \Delta 10.0 \rightarrow \Delta 5.0$ ) は窮屈感が多少緩和されたが、借入難易度 ( $11.5 \rightarrow 19.2 \rightarrow 7.7$ ) は容易さがかなり後退した。

設備投資を「実施した」企業 ( $22.2\% \rightarrow 18.5\% \rightarrow 18.5\%$ ) は前期から増減なく推移した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」と「同業者間の競争の激化」(各44.4%) がともに最多となった。以下、「人手不足」(29.6%)、「人件費の増加」(22.2%)、「材料価格の上昇」(18.5%) の順であった。

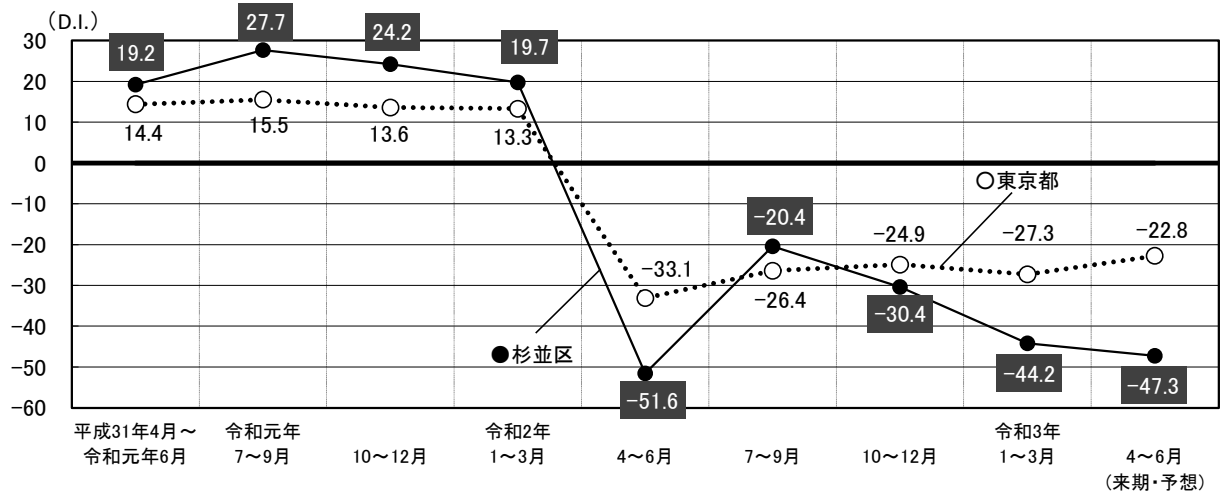
重点経営施策では、「経費を節減する」(51.9%) が今期も最多となった。以下、「人材を確保する」と「販路を広げる」(各37.0%)、「技術力を高める」(25.9%)、「新しい工法を導入する」(22.2%) の順であった。

## 来期の見通し

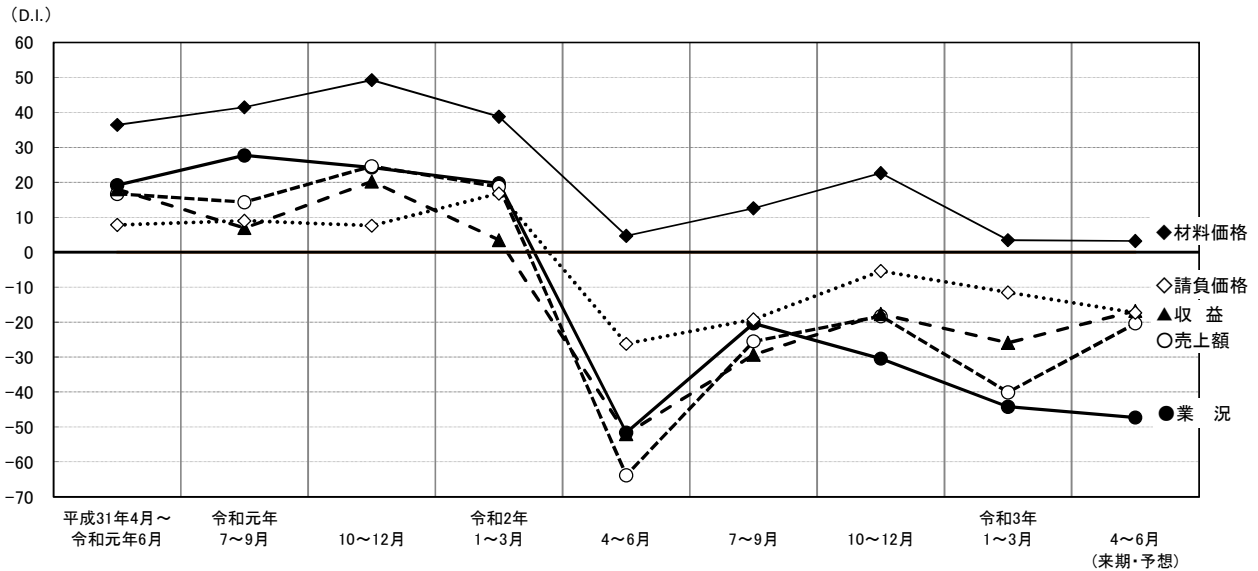
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 47.3$  予想) は厳しさが幾分増すと予想されているが、売上額 ( $\Delta 20.4$  予想)、受注残 ( $\Delta 15.8$  予想)、施工高 ( $\Delta 13.4$  予想) はともに減少幅が極端に縮小し、収益 ( $\Delta 16.8$  予想) もかなり改善すると見込まれている。

価格面では、請負価格 ( $\Delta 17.3$  予想) は更に下降を強め、材料価格 (3.2 予想) は横這いで推移すると予想されている。

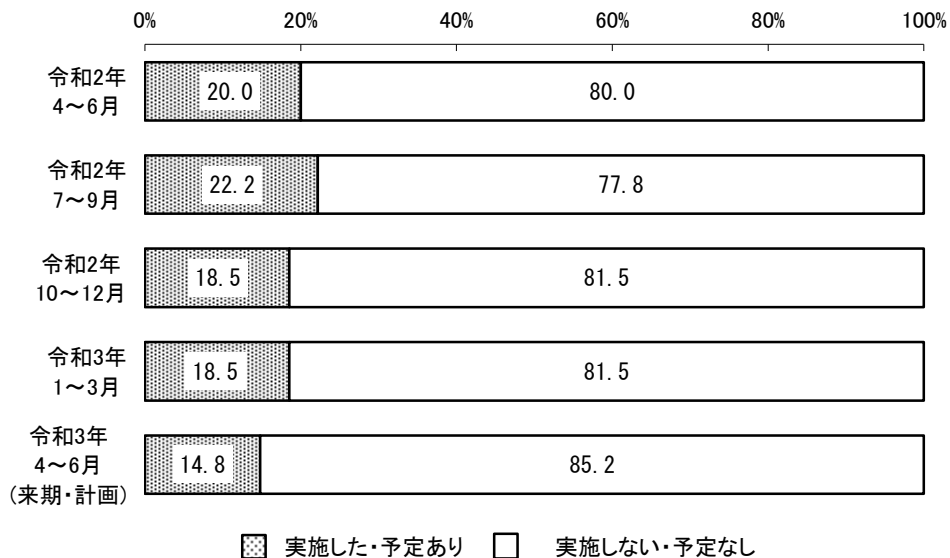
## 【建設業】 杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想



## 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予想



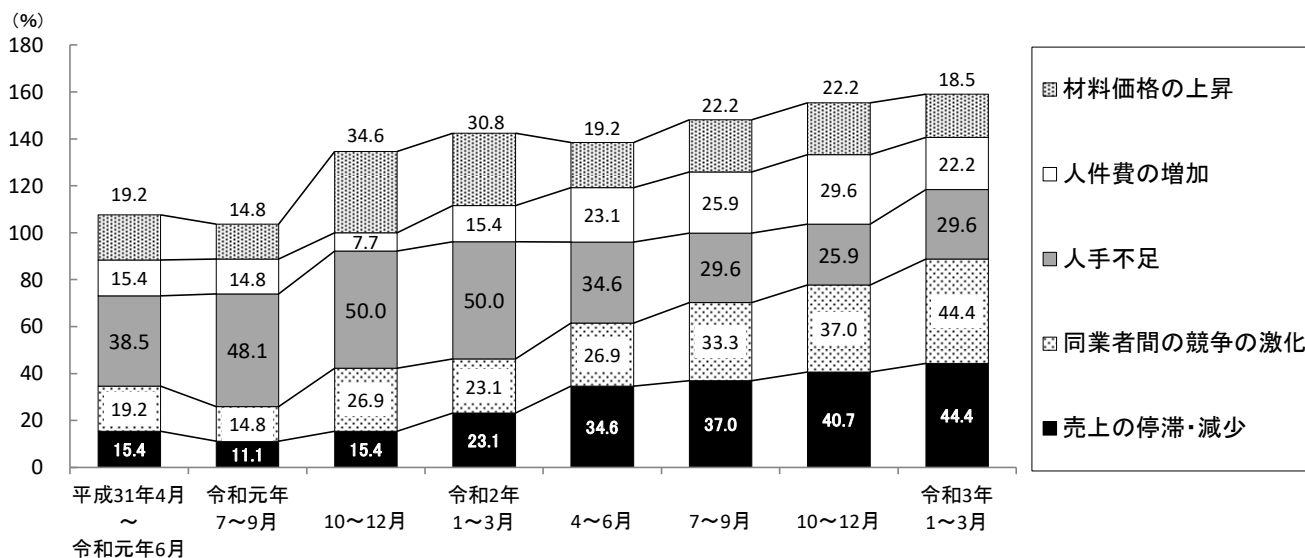
## 設備投資動向





## 経営上の問題点

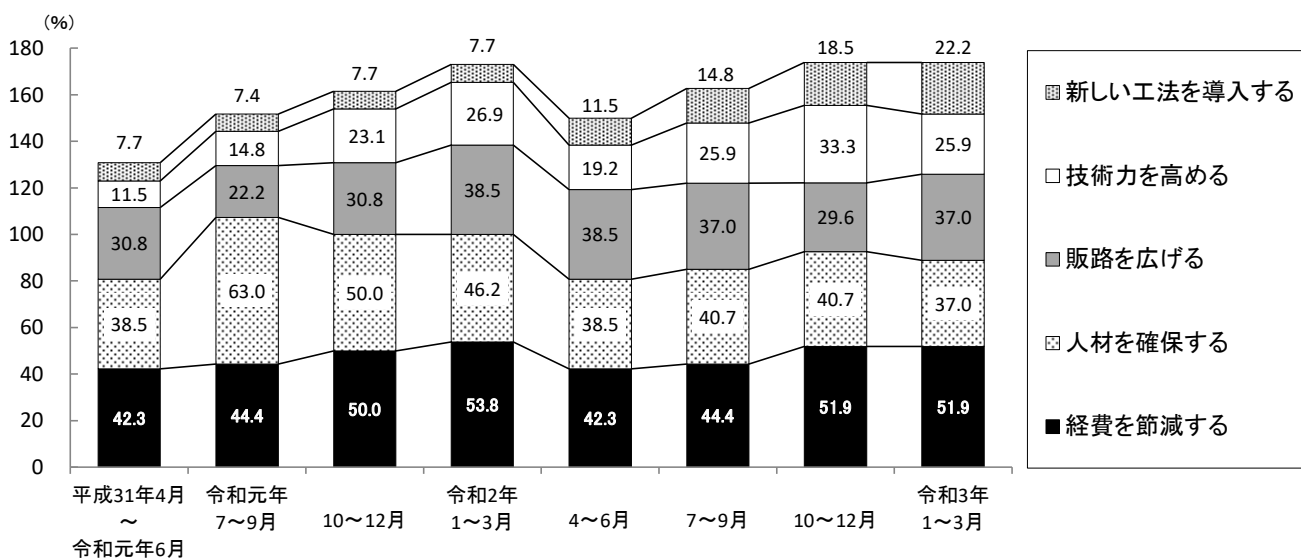
(複数回答)



令和2年4～6月期		令和2年7～9月期		令和2年10～12月期		令和3年1～3月期	
人手不足	34.6%	売上の停滞・減少	37.0%	売上の停滞・減少	40.7%	売上の停滞・減少	44.4%
売上の停滞・減少		同業者間の競争の激化	33.3%	同業者間の競争の激化	37.0%	同業者間の競争の激化	
同業者間の競争の激化	26.9%	人手不足	29.6%	人件費の増加	29.6%	人手不足	29.6%
人件費の増加	23.1%	人件費の増加	25.9%	人手不足	25.9%	人件費の増加	22.2%
材料価格の上昇 下請の確保難	19.2%	材料価格の上昇	22.2%	材料価格の上昇	22.2%	材料価格の上昇	18.5%

## 重点経営施策

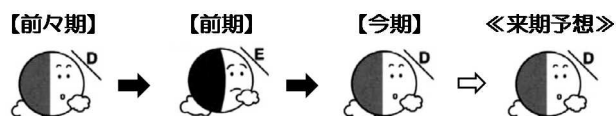
(複数回答)



令和2年4～6月期		令和2年7～9月期		令和2年10～12月期		令和3年1～3月期	
経費を節減する	42.3%	経費を節減する	44.4%	経費を節減する	51.9%	経費を節減する	51.9%
人材を確保する 販路を広げる	38.5%	人材を確保する	40.7%	人材を確保する	40.7%	人材を確保する 販路を広げる	37.0%
		販路を広げる	37.0%	技術力を高める	33.3%		
技術力を高める	19.2%	技術力を高める	25.9%	販路を広げる	29.6%	技術力を高める	25.9%
教育訓練を強化する	15.4%	新しい工法を導入する 情報力を強化する	14.8%	新しい工法を導入する	18.5%	新しい工法を導入する	22.2%



# 不動産業



注：コメント中の ( ) 内の D. I. 値は (前々期→前期→今期) となっている。

## 業況

業況 ( $\Delta 15.8 \rightarrow \Delta 21.2 \rightarrow \Delta 14.0$ ) は厳しさが大きく和らいだ。

## 売上額 ・ 収益

売上額 ( $\Delta 16.1 \rightarrow \Delta 28.7 \rightarrow \Delta 21.9$ ) は減少幅がかなり縮小したが、収益 ( $\Delta 15.0 \rightarrow \Delta 27.0 \rightarrow \Delta 30.6$ ) は減少傾向が若干強まった。

## 価格 ・ 在庫動向

販売価格 ( $\Delta 17.7 \rightarrow \Delta 9.0 \rightarrow \Delta 12.8$ ) は下降傾向が幾分強まり、仕入価格 ( $\Delta 9.0 \rightarrow 1.4 \rightarrow \Delta 1.0$ ) はわずかに下降に転じ好感が現れた。

在庫 ( $\Delta 26.5 \rightarrow \Delta 17.3 \rightarrow \Delta 10.8$ ) は不足感がかなり改善された。

## 資金繰り ・ 借入難易度

資金繰り ( $\Delta 0.8 \rightarrow \Delta 3.4 \rightarrow 8.0$ ) は窮屈感を脱した。借入難易度 ( $21.4 \rightarrow 12.5 \rightarrow 18.8$ ) は容易さが更に増した。

## 経営上の問題点 ・ 重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者間の競争の激化」(50.0%) が今期も引き続き最多となった。以下、「売上の停滞・減少」(33.3%)、「商品物件の不足」と「大手企業との競争の激化」(各16.7%)、「利幅の縮小」、「人件費の増加」、「商品物件の高騰」(各11.1%)の順であった。

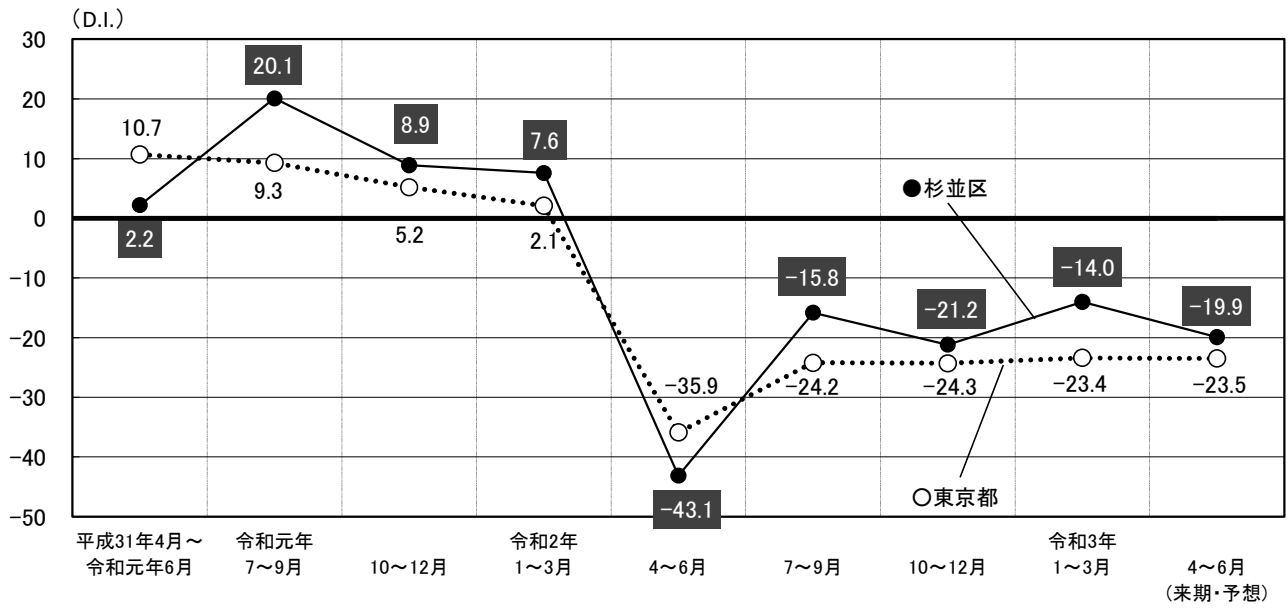
重点経営施策では、「宣伝・広告を強化する」(44.4%) が今期は最多となった。以下「経費を節減する」(38.9%)、「販路を広げる」(33.3%)、「情報力を強化する」と「不動産の有効活用を図る」(各27.8%)の順であった。

## 来期の見通し

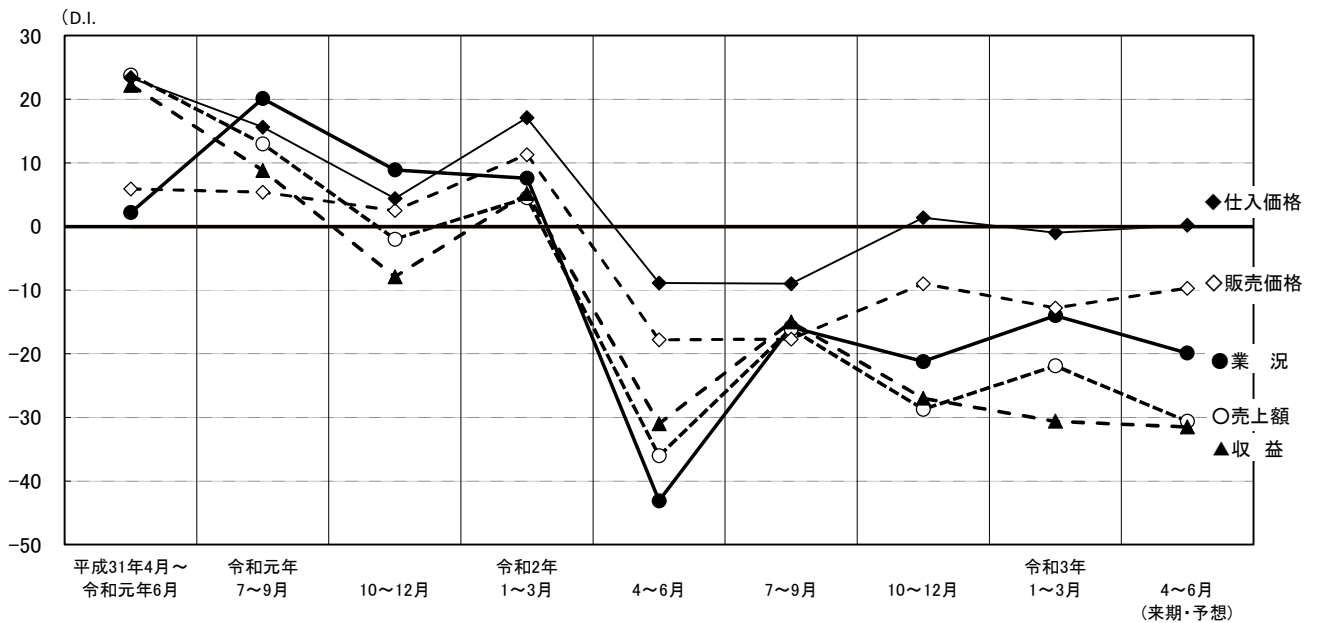
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 19.9$  予想) は再び厳しさが増すと予想されている。売上額 ( $\Delta 30.6$  予想) は減少がかなり強まり、収益 ( $\Delta 31.5$  予想) は今期並の減少幅で推移すると見込まれている。

価格面では、販売価格 ( $\Delta 9.7$  予想) は下降傾向がやや改善され、仕入価格 ( $0.2$  予想) はほぼ変動なく推移すると予想されている。

【不動産業】 杉並区と東京都全体の業況の動き（実績）と来期の予想

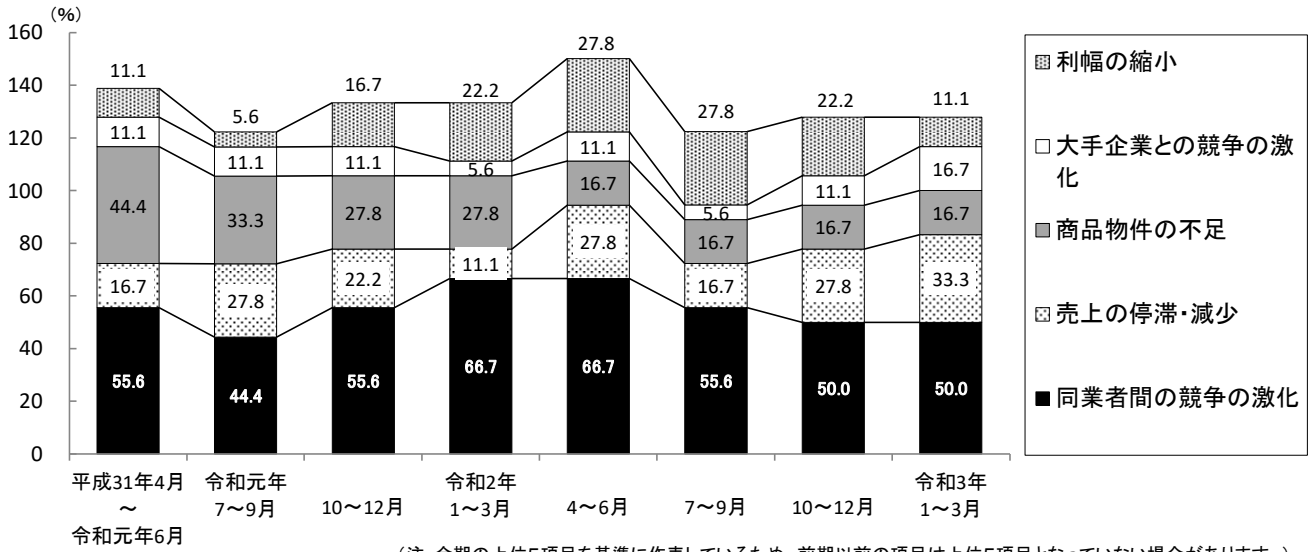


業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予想



## 経営上の問題点

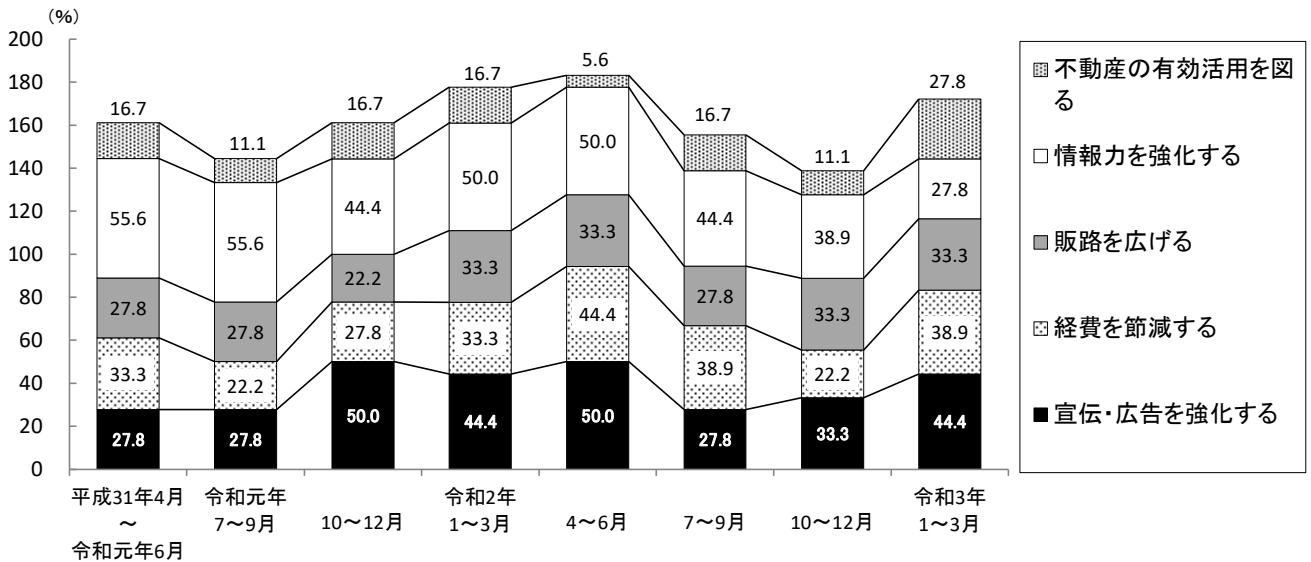
(複数回答)



令和2年4～6月期		令和2年7～9月期		令和2年10～12月期		令和3年1～3月期	
同業者間の競争の激化	66.7%	同業者間の競争の激化	55.6%	同業者間の競争の激化	50.0%	同業者間の競争の激化	50.0%
利幅の縮小 売上の停滞・減少	27.8%	利幅の縮小	27.8%	売上の停滞・減少	27.8%	売上の停滞・減少	33.3%
商品物件の不足	16.7%	売上の停滞・減少 商品物件の不足	16.7%	利幅の縮小 商品物件の不足	16.7%	商品物件の不足 大手企業との競争の激化	16.7%
人手不足 大手企業との競争の激化 代金回収の悪化	11.1%	人手不足	11.1%	人手不足 大手企業との競争の激化 人件費の増加	11.1%	利幅の縮小 人件費の増加 商品物件の高騰	11.1%

## 重点経営施策

(複数回答)



令和2年4～6月期		令和2年7～9月期		令和2年10～12月期		令和3年1～3月期	
情報力を強化する 宣伝・広告を強化する	50.0%	情報力を強化する	44.4%	情報力を強化する	38.9%	宣伝・広告を強化する	44.4%
経費を節減する	44.4%	経費を節減する	38.9%	宣伝・広告を強化する 販路を広げる	33.3%	経費を節減する	38.9%
販路を広げる	33.3%	宣伝・広告を強化する 販路を広げる	27.8%	経費を節減する	22.2%	販路を広げる	33.3%
人材を確保する	22.2%	人材を確保する 不動産の有効活用を図る	16.7%	人材を確保する	16.7%	情報力を強化する 不動産の有効活用を図る	27.8%

## 卸売業

- ・イタリアから、バッグや財布などの革製品や、アクセサリーなどの銀製品を輸入し、冠婚葬祭のカタログギフト会社に卸しているが、コロナの影響で冠婚葬祭が少なくなった結果、当社の卸売上も減少した。また、年に2回2会場で即売催事を行っていたが、コロナの影響で開催できず、催事売り上げはゼロの状況である。加えて、イタリアに仕入れにも行けず、新商品開拓もできない。  
(服飾・小物輸入 卸・販売)

- ・平成19年に会社設立、半導体製造用露光装置に使うレンズを取り扱う卸売業を営む。海外を含む製造メーカーから消耗品であるレンズの交換品を仕入れ、半導体製造装置会社に納入している。新型コロナウイルス感染症の影響で営業することができず、売上が落ちている。

(レンズ卸売)

## 小売業

- ・小さなイタリアンレストランを営んでいる。日本政策金融公庫のコロナ対策特別資金で300万円借りて、いままでその資金に手を付けずにやってきたが、売上が低迷する中、手元資金が減り続けている。最後に残っているこの資金に手を付けて、早期の売上回復を目指したい。キッチンカーを購入してピザなどイタリアンの移動販売を検討している。

(イタリア料理店)

- ・ネット通販事業を営む。主に海外の子供用おもちゃの販売を行っている。新型コロナウイルス感染症の影響で、メインの取引先であったアメリカのおもちゃ会社が倒産し、売上が減少している。

(ネット通販)

- ・ドレスの販売を行っている。主な顧客は演奏家であるが、新型コロナウイルスの影響で、コンサートなどの中止や自粛により、商品需要が減少し売上が減少している。

(衣料品販売)

- ・中華料理店を営んでいる法人である。感染拡大防止のため時短営業を強いられている状況で、売上が減少している。それでも営業を続けなければならないため、原材料の仕入れや店舗運営費用等は必要であり苦しい状況である。

(中華料理店)

## サービス業

- ・美容室を営んでいる。新型コロナウイルス感染症の影響で、感染拡大防止対策のため予約人数・席数を大幅に制限している上に、遠方からの常連客の激減により、売上が大幅に減少している。  
(美容室)

- ・屋外広告制作業を営んでいる。新型コロナウイルスの影響で広告媒体の需要が減少しており売上が低下している。

(広告制作)

## 建設業

- ・学校、幼稚園、飲食店やマンションなど様々な施設に対し、消防設備の設計・施工を行っている。消防設備は建物が完成した後に設置となるため、新型コロナウイルスの影響で、工事が中止、延期となってしまうと、売上が大きく減少してしまう。消防設備のため、全くなくなってしまうことはないが、従来の売上には程遠い状況である。

(設備の設計・施工)

- ・公民館や小学校の改修、クリニック、マンション、民家などの改装を主として請け負っている。主なクライアントは、中堅建設業者であり、下請けとして安定した業績を維持してきた。新型コロナウイルスの影響で営業ができず、元請けが獲得する案件が減少し、当社への発注が減少した。しかし、最近は案件も動き出し、小学校の建て替え工事の案件も入ってきている。

(改修・改装)

## 不動産業

- ・不動産賃貸業を行っている。ワンルーム8部屋のアパート1棟を所有しているが、現在3部屋が空き室となっている。管理会社からはリノベーションを勧められているが、投資をして本当に部屋が埋まるのかわからないため、踏み切れない状況である。

(不動産賃貸)

- ・不動産仲介業を営んでおり、仲介不動産会社への入居顧客のための支払い費用が高騰しており、そのために資金が必要になっている。また退去に伴い修繕費が必要であり、資金繰りに苦慮している。

(不動産仲介)

# 日 銀 短 観

## [調査対象企業数]

(令和3年3月調査) (参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

	製造業	非製造業	合計	回答率	2020年度		2021年度					
					上期	下期	上期	下期				
全国企業	3,917社	5,561社	9,478社	99.0%	円/ドル	2020年12月調査	106.79	107.03	106.55	—	—	—
うち大企業	988社	895社	1,883社	98.6%		2021年3月調査	106.66	107.00	106.32	106.07	106.04	106.10
中堅企業	1,021社	1,642社	2,663社	99.1%	円/ユーロ	2020年12月調査	121.04	120.99	121.10	—	—	—
中小企業	1,908社	3,024社	4,932社	99.1%		2021年3月調査	121.76	121.06	122.47	123.10	123.09	123.11

## [業況判断]

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	2020年12月調査		2021年3月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業						
製造業	-10	-8	5	15	4	-1
非製造業	-5	-6	-1	4	-1	0
全産業	-8	-7	2	10	2	0
中堅企業						
製造業	-17	-17	-2	15	-6	-4
非製造業	-14	-17	-11	3	-12	-1
全産業	-15	-18	-8	7	-9	-1
中小企業						
製造業	-27	-26	-13	14	-12	1
非製造業	-12	-20	-11	1	-16	-5
全産業	-18	-23	-12	6	-15	-3
全規模合計						
製造業	-20	-19	-6	14	-7	-1
非製造業	-11	-16	-9	2	-12	-3
全産業	-15	-18	-8	7	-10	-2

## [売上・収益計画]

(前年度比・%)

		2020年度		2021年度	
		(計画)	修正率	(計画)	修正率
大企業	製造業	-8.3	0.9	2.6	—
	国内	-7.6	0.7	2.2	—
	輸出	-9.8	1.2	3.3	—
	非製造業	-8.7	-0.2	1.7	—
	全産業	-8.5	0.2	2.1	—
中堅企業	製造業	-6.9	0.6	4.2	—
	非製造業	-7.8	0.3	2.9	—
	全産業	-7.6	0.4	3.2	—
中小企業	製造業	-8.7	0.8	3.3	—
	非製造業	-7.9	0.6	2.0	—
	全産業	-8.1	0.7	2.3	—
全規模合計	製造業	-8.1	0.8	3.0	—
	非製造業	-8.2	0.2	2.1	—
	全産業	-8.2	0.4	2.4	—

(注) 修正率は、前回調査との対比。

## [需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

中小企業	2020年12月調査		2021年3月調査				
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅	
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-35	-34	-26	9	-27	-1
	うち素材業種	-38	-37	-28	10	-29	-1
	加工業種	-32	-31	-24	8	-25	-1
	非製造業	-25	-27	-25	0	-26	-1
海外での製商品需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-31	-28	-18	13	-18	0
	うち素材業種	-36	-33	-22	14	-24	-2
	加工業種	-27	-25	-17	10	-14	3
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	20		13	-7		
	うち素材業種	22		13	-9		
	加工業種	18		13	-5		
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	24		16	-8		
	うち素材業種	28		18	-10		
	加工業種	21		14	-7		
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	-5	-5	0	5	2	2
	うち素材業種	-1	1	6	7	10	4
	加工業種	-8	-10	-5	3	-4	1
	非製造業	-6	-6	-5	1	-4	1
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	16	22	29	13	36	7
	うち素材業種	18	23	35	17	39	4
	加工業種	14	20	24	10	33	9
	非製造業	11	15	18	7	21	3

# 杉並区と東京都全体の企業倒産、休廃業・解散動向

出典：(株) 東京商工リサーチ調べ

## 1. 企業倒産動向

[倒産概況]

(負債総額単位：百万円) (対比率は伸び率)

		令和2年	令和2年	令和3年	前期比	前年同期比
		1~3月	10~12月	1~3月		
杉並区	件数	4	11	4	-63.6%	0.0%
	負債総額	321	1,000	229	-77.1%	-28.7%
東京都全体	件数	390	351	300	-14.5%	-23.1%
	負債総額	62,468	43,488	100,757	131.7%	61.3%

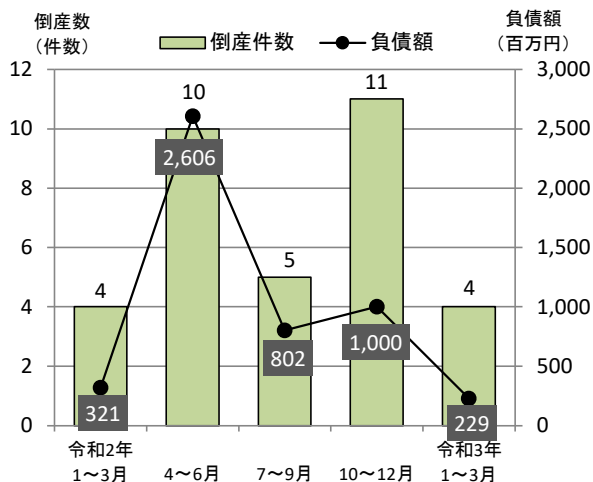
[業種別倒産概況]

(単位：件) (対比率は伸び率)

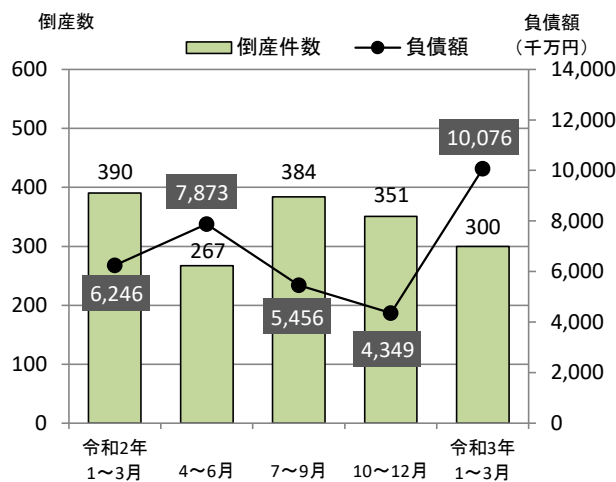
		令和2年	令和2年	令和3年	前期比	前年同期比
		1~3月	10~12月	1~3月		
杉並区	製造業	0	0	0	-	-
	卸売業	0	0	2	-	-
	小売業	0	1	0	-100.0%	-
	サービス業	1	2	2	0.0%	100.0%
	建設業	0	1	0	-100.0%	-
	不動産業	0	0	0	-	-
	情報通信業・運輸業	2	2	0	-100.0%	-100.0%
	宿泊業、飲食サービス業	1	2	0	-100.0%	-100.0%
	その他	0	3	0	-100.0%	-
	合計	4	11	4	-63.6%	0.0%
東京都全体	製造業	24	18	19	5.6%	-20.8%
	卸売業	78	53	53	0.0%	-32.1%
	小売業	45	37	35	-5.4%	-22.2%
	サービス業	86	92	68	-26.1%	-20.9%
	建設業	39	38	32	-15.8%	-17.9%
	不動産業	15	18	19	5.6%	26.7%
	情報通信業・運輸業	46	33	36	9.1%	-21.7%
	宿泊業、飲食サービス業	39	40	22	-45.0%	-43.6%
	その他	18	22	16	-27.3%	-11.1%
	合計	390	351	300	-14.5%	-23.1%

[倒産件数と負債額の推移]

《杉並区》



《東京都全体》



## 2. 休廃業・解散動向

### [休廃業概況]

		(単位：件) (単位：%)	
		令和3年 1～3月	
杉	並 区	62	1.9
東	京 都 全 体	3,301	100.0

### [業種別休廃業概況]

		(単位：件) (単位：%)	
		令和3年 1～3月	
杉 並 区	製 造 業	4	6.5
	卸 売 業	4	6.5
	小 売 業	7	11.3
	サ ー ビ ス 業	23	37.1
	建 設 業	8	12.9
	不 動 産 業	4	6.5
	情 報 通 信 ・ 運 輸 ・ 郵 便 業	6	9.7
	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	4	6.5
	そ の 他	2	3.2
	合 計	62	100.0
東 京 都 全 体	製 造 業	348	10.5
	卸 売 業	309	9.4
	小 売 業	277	8.4
	サ ー ビ ス 業	951	28.8
	建 設 業	277	8.4
	不 動 産 業	281	8.5
	情 報 通 信 ・ 運 輸 ・ 郵 便 業	394	11.9
	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	168	5.1
	そ の 他	296	9.0
	合 計	3,301	100.0

東京都の企業倒産企業数は、コロナ禍以前の平成30年から令和元年にかけて増加が続いたが、コロナ禍の令和2年には景況の落ち込みに反して減少した。この傾向は杉並区でも同様であった。

一方、休廃業・解散数については、東京商工リサーチ：2020年「休廃業・解散企業」動向調査によると、令和2年の全国件数は約5万件で、前年比約15%の増加となっている。

この状況から、コロナ禍においては、政府や自治体、金融機関による資金繰り支援策が奏功し、結果として倒産には至らず、休廃業にとどまっていると見られる。もとより休廃業・解散については、経営者の高齢化、後継者不足等による事業承継の難航が大きい要因でもあるが、コロナ禍が休廃業の契機となって増加していると考えられる。休廃業・解散数は倒産数に比べ件数も圧倒的に多いことから、雇用情勢にも大きく影響しているため、今回から倒産数と同様に四半期ごとに状況を把握していく。

令和3年1月～3月期の倒産件数は、前ページのとおり東京都全体で300件、杉並区が4件であった。対して休廃業・解散数は東京都全体で3,301件、杉並区が62件であった。

東京都の休廃業・解散数を業種別に見ると、“サービス業”が951件（28.8%）で最も多く全体の3割近くを占めている。次いで“情報通信・運輸・郵便業”（394件・11.9%）、“製造業”（348件・10.5%）であった。杉並区においても、同様に“サービス業”が23件（37.1%）で最も多く全体の4割近くを占めた。次いで“建設業”（8件・12.9%）、“小売業”（7件・11.3%）であった。

特別調査「新型コロナウイルス感染拡大長期化の影響と新常態への対応について」（令和3年3月上旬調査）

注1. 本調査は、杉並区の状況について記載しており、問1. 2. 5のグラフは本区と東京都全体との比較をしています。  
 注2. 単数回答の質問の場合、小数点2位で四捨五入しているため、値の合計が100%にならないことがあります。

① 新型コロナ影響前(例年1~3月)の売上との比較	『減少した(10%以上)』71.1%、『増加した(10%以上)』5.9%、 「ほぼ変化なし(±10%未満)」23.0%
② 新常態移行に伴う事業継続上の不安、懸念事項	「先行き不透明による計画策定困難化」40.0%、 「感染拡大防止対策の負荷増大」31.9%
③ 新常態に向けたIT人材の状況及びIT活用の効果	IT人材の状況:『足りていない』32.8%、「足りている」12.0% IT活用の効果:「効率化による経費節減」22.4%
④ 新常態に向けた設備投資の意向及びコロナ禍におけるスケジュールへの影響	設備投資の意向:「老朽化設備等の更新」12.6%、「合理化・省力化・IT化」11.1% スケジュールへの影響:「計画を後ろ倒しして実施」11.9% 「当初予定通り実施」6.7%
⑤ 今後の事業展開の実施・検討	「本業の国内取引先深耕(生産・販売・調達等)」46.7% 「本業での新商品・サービスの展開」21.5%

問1. 新型コロナ影響前(例年1~3月)の売上との比較について

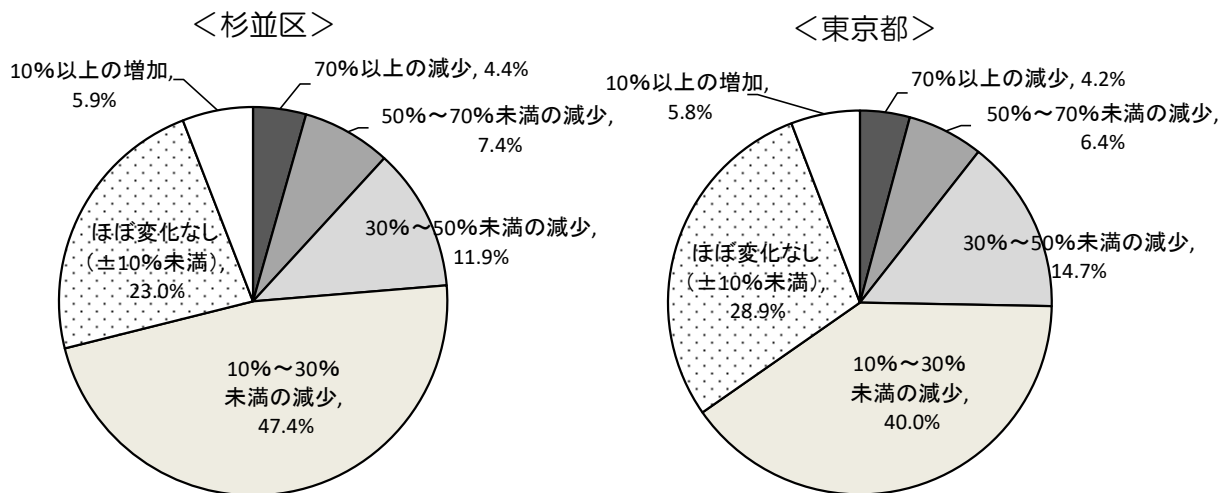
杉並区の中小企業を対象に今期(1~3月)の売上について、新型コロナウイルスの影響がなかった例年の1~3月と比較して、どの程度変化したのか伺ったところ、『減少した(10%以上)』との回答が71.1%で全体の4分の3弱を占めた。その内訳は「10%~30%未満の減少」が47.4%で最も高く、以下、「30%~50%未満の減少」(11.9%)、「50%~70%未満の減少」(7.4%)、「70%以上の減少」(4.4%)であった。

逆に、『増加した(10%以上)』が5.9%あった。また、「ほぼ変化なし(±10%未満)」は23.0%であった。

業種別に見ると、『減少した(10%以上)』は、「製造業」が90.9%で最も高く、次いで、「卸売業」(85.6%)、「小売業」(75.9%)であった。一方、『増加した』は、「建設業」が11.1%で最も高く、「不動産業」では『増加した』とする回答企業はなかった。

なお、東京都全体と比較すると、『減少した(10%以上)』との回答は、杉並区(71.1%)の方が東京都全体(65.3%)より5.8ポイント高くなった。

図表1 今期(1~3月)の売上変化幅(例年比)



※回答により100%にならないこともあります。



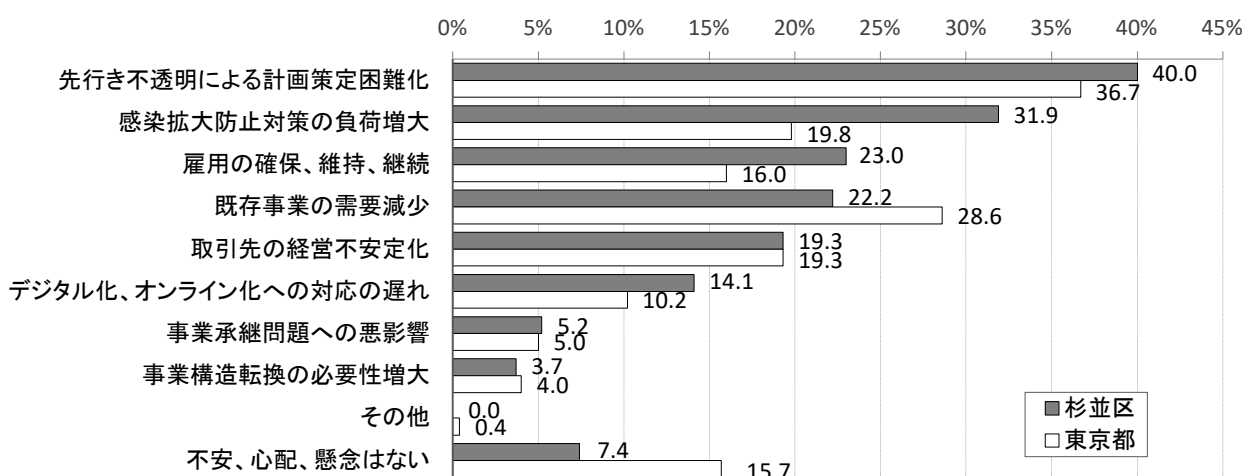
### 問2. 新常態(ニューノーマル)移行にともなう事業継続上の不安、懸念事項について

新常態(ニューノーマル)へ移行していくなかで、事業継続上の不安、心配、懸念事項について、最大3項目でうかがったところ、「先行き不透明による計画策定困難化」が40.0%で最も高く、次いで、「感染拡大防止対策の負荷増大」(31.9%)、「雇用の確保、維持、継続」(23.0%)、「既存事業の需要減少」(22.2%)などであった。一方、「不安、心配、懸念はない」との回答は7.4%であった。

業種別に見ると、「先行き不透明による計画策定困難化」は、「建設業」が51.9%で最も高く、「感染拡大防止対策の負荷増大」は「小売業」(51.5%)、「雇用の確保、維持、継続」は「卸売業」(35.7%)がそれぞれ最も高い割合であった。一方、「不安、心配、懸念はない」は、「サービス業」が15.6%で最も高い割合であった。

なお、東京都全体と比較すると、「感染拡大防止対策の負荷増大」で杉並区(31.9%)の方が東京都全体(19.8%)より12.1ポイント高いのをはじめ、ほとんどの不安、心配、懸念事項で杉並区の方が東京都全体より高くなったが、「既存事業の需要減少」は、杉並区(22.2%)の方が、東京都全体(28.6%)より6.4ポイント低くなった。

図表2 新常態に伴う事業継続上の不安、心配、懸念

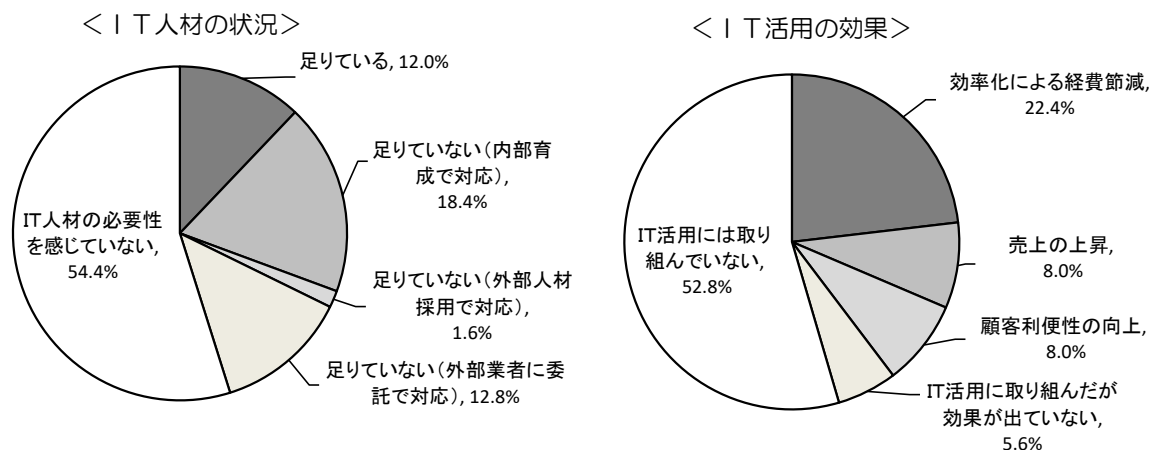


### 問3. 新常態(ニューノーマル)に向けたIT人材の状況及びIT活用の効果について

新常態(ニューノーマル)に向けてIT人材の重要性が高まる状況下において、IT人材の充足状況及びIT活用がどのような効果をあげているかについてうかがったところ、IT人材の充足状況では、「足りている」と回答した企業は12.0%にとどまり、『足りていない(内部育成で対応・外部人材採用で対応・外部業者に委託で対応)』が32.8%、「IT人材の必要性を感じていない」が54.4%であった。IT活用の効果では、『効果があった』が38.4%で、「IT活用に取り組んだが効果が出ていない」が5.6%、「IT活用には取り組んでいない」が52.8%であった。

業種別に見ると、IT人材が『足りていない』は、「不動産業」が81.3%で最も高く、次いで「卸売業」(69.3%)であった。また、IT活用の『効果があった』は、「卸売業」が77.0%で最も高く、次いで「建設業」(52.1%)であった。

図表3 新常態に向けたIT人材の状況及び活用効果



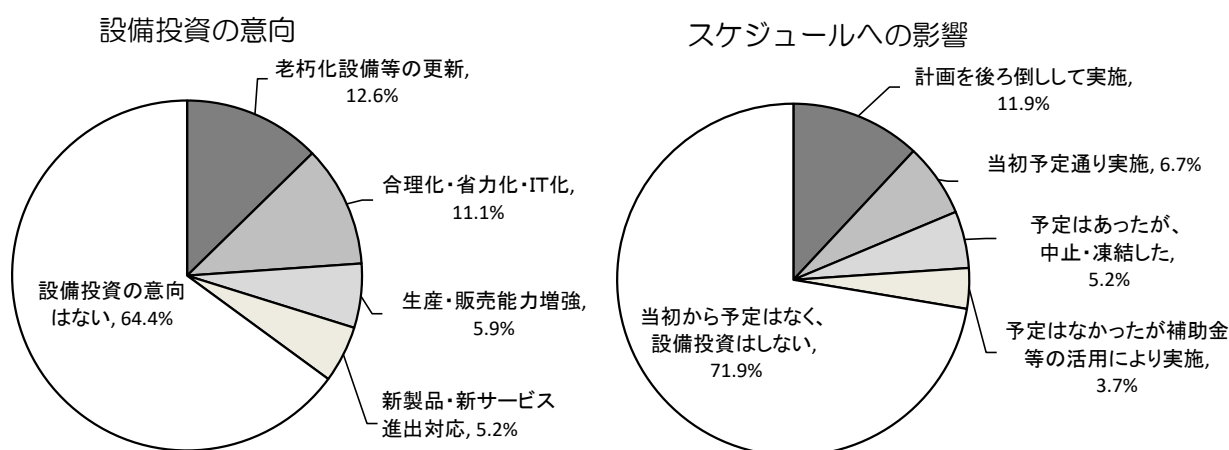
※回答により100%にならないこともあります。

問4. 新常態（ニューノーマル）に向けた設備投資の意向及びコロナ禍におけるスケジュールへの影響について

新常態（ニューノーマル）に向けて、どのような設備投資の意向があるのか、及び、コロナ禍が設備投資のスケジュールに与えた影響についてうかがったところ、設備投資の意向については、「設備投資の意向はない」が64.4%で、『設備投資の意向あり』（34.8%）より高くなった。具体的な設備投資の内容としては、「老朽化設備等の更新」が12.6%で最も高く、次いで「合理化・省力化・IT化」（11.1%）であった。また、コロナ禍が設備投資のスケジュールへ与えた影響では、「当初から予定はなく、設備投資はしない」が71.9%で最も高く、次いで、「計画を後ろ倒して実施」（11.9%）であった。

業種別に見ると、『設備投資の意向あり』は、“不動産業”が66.7%で最も高く、次いで“卸売業”（49.9%）であった。また、コロナ禍が設備投資のスケジュールへ与えた影響では、「計画を後ろ倒して実施」は、“卸売業”が28.6%で最も高く、次いで“不動産業”（27.8%）であった。

図表4 設備投資の意向及びスケジュールへの影響



※回答により 100%にならないこともあります。

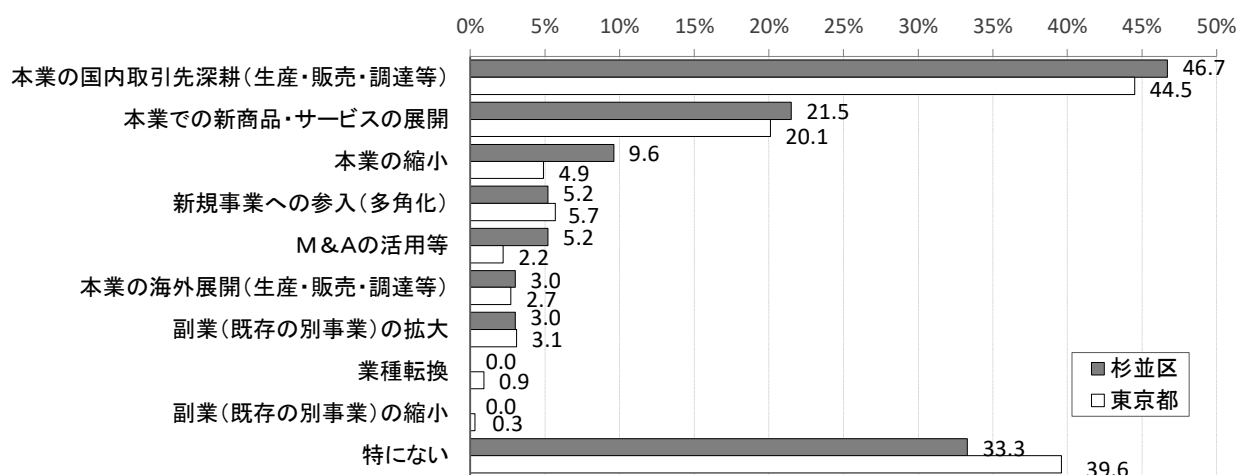
問5. 今後の事業展開の実施・検討について

コロナ禍で業況が厳しい企業が多い中で、今後どのような事業展開を実施・検討しているかについて最大3項目でうかがったところ、「本業の国内取引先深耕（生産・販売・調達等）」が46.7%で最も高く、次いで、「本業での新商品・サービスの展開」（21.5%）、「本業の縮小」（9.6%）であった。一方、「特にない」は33.3%であった。

業種別に見ると、「本業の国内取引先深耕（生産・販売・調達等）」は、“卸売業”が64.3%で最も高く、次いで、“サービス業”（56.3%），“不動産業”（55.6%）であった。また、「特にない」は“建設業”が51.9%で最も高くなった。

なお、東京都全体と比較すると、「特にない」は杉並区（33.3%）の方が東京都全体（39.6%）より6.3ポイント低くなった。具体的な事業展開としては、「本業の縮小」で杉並区（9.6%）の方が東京都全体（4.9%）より4.7ポイント高くなったが、他の事業展開では、東京都全体と同様の割合であった。

図表5 今後の事業展開の実施・検討について



# 中小企業景況調査 比較表

(令和3年1月～3月期)

## 製造業

### [今期の景況]

		全 体	
		杉並区	全都
業況		-57	-50
売上額		-56	-52
受注残		-65	-46
収益		-58	-48
販売価格		-8	-11
原材料価格		-2	3
原材料在庫		8	-3
資金繰り		-9	-24
雇用	残業時間	-27	-23
	人手	0	-3
同期比	売上額	-45	-55
	収益	-45	-53
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	64	57
	② 利幅の縮小	36	14
	③ 大手企業との競争の激化	27	7
	④ 同業者間の競争の激化	18	23
	⑤ 工場・機械の狭小・老朽化	9	9
重点経営施策	① 販路を広げる	91	61
	② 経費を節減する	64	46
	③ 提携先を見つける	27	6
	④ 工場・機械を増設・移転する	9	4
	⑤ 人材を確保する	9	10
借入の難易度		20	2

### [来期の景況見通し]

業況		-40	-43
売上額		-29	-41
受注残		-38	-36
収益		-33	-38
販売価格		-11	-10
原材料価格		-4	2
原材料在庫		7	-3
資金繰り		-10	-23
雇用	残業時間	-27	-20
	人手	0	-4

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り  
 \* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度  
 \* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## 卸売業

### [今期の景況]

		全 体	
		杉並区	全都
業況		-55	-47
売上額		-55	-48
収益		-54	-45
販売価格		-13	-8
仕入価格		19	4
在庫		-3	6
資金繰り		-19	-19
雇用	残業時間	-21	-21
	人手	8	-3
同期比	売上額	-57	-52
	収益	-57	-48
経営上の問題点	販売価格	-7	-8
	① 売上の停滞・減少	64	57
	② 同業者間の競争の激化	36	30
	③ 取引先の減少	21	9
	④ 為替レートの変動	14	3
重点経営施策	⑤ 仕入先からの値上げ要請	14	5
	① 販路を広げる	79	63
	② 経費を節減する	57	49
	③ 情報力を強化する	36	18
	④ 流通経路の見直しをする	14	5
借入の難易度	⑤ 人材を確保する	14	9
		-23	4

### [来期の景況見通し]

業況		-47	-43
売上額		-37	-37
収益		-37	-36
販売価格		-18	-8
仕入価格		8	3
在庫		4	4
資金繰り		-4	-18
雇用	残業時間	-7	-16
	人手	8	-4

# 小売業

## [今期の景況]

		全体		家具・建具 ・じゅう器		飲食店		飲食料品		衣服、呉服 身の回り品	
		杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都
業況		-44	-50	-	-54	-82	-78	-3	-43	-33	-59
売上額		-43	-50	-	-49	-90	-81	-1	-42	-24	-62
収益		-44	-49	-	-50	-91	-79	-4	-42	-23	-61
販売価格		-3	-8	-	-5	1	-7	13	-6	-19	-18
仕入価格		3	0	-	-3	13	0	9	2	-17	-6
在庫		12	1	-	-7	20	-1	18	-1	-14	8
資金繰り		-46	-28	-	-37	-91	-51	-19	-26	-23	-39
雇用	残業時間	-24	-16	-	-22	-64	-37	10	-12	-50	-12
	人手	-6	-4	-	-13	9	5	-20	-7	-17	-3
同期比	売上額	-67	-53	-	-44	-100	-89	-20	-44	-83	-67
	収益	-67	-53	-	-47	-100	-87	-20	-45	-83	-67
	販売価格	-9	-8	-	-3	0	-9	-10	-5	-33	-17
経営上の 問題点	① 売上の停滞・減少	70	54	-	56	82	81	60	51	83	61
	② 大型店との競争の激化	33	22	-	25	9	7	70	26	17	22
	③ 同業者間の競争の激化	24	23	-	31	27	20	20	21	33	21
	④ 商店街の集客力の低下	18	16	-	9	9	15	20	17	33	21
	⑤ 利幅の縮小	15	10	-	6	18	11	20	9	-	10
重点経営 施策	① 宣伝・広告を強化する	39	23	-	13	36	25	20	21	50	28
	② 経費を節減する	39	43	-	31	46	53	40	43	17	31
	③ 品揃えを改善する	33	29	-	31	18	17	50	32	50	37
	④ 売れ筋商品を取り扱う	21	16	-	22	-	5	40	17	33	21
	⑤ 人材を確保する	15	6	-	3	9	5	40	8	-	1
借入の難易度		-8	-4	-	0	-11	-12	14	-5	0	-8

## [来期の景況見通し]

業況		-49	-47	-	-53	-66	-73	-33	-42	-43	-55
売上額		-48	-42	-	-48	-66	-65	-49	-38	-37	-48
収益		-47	-41	-	-51	-67	-63	-48	-37	-38	-49
販売価格		-10	-7	-	-8	-9	-7	-4	-6	-17	-14
仕入価格		-1	-1	-	1	13	0	-6	1	-17	-7
在庫		10	0	-	-7	18	-1	11	-2	-13	2
資金繰り		-51	-26	-	-36	-90	-48	-28	-23	-20	-38
雇用	残業時間	-18	-13	-	-19	-55	-30	10	-10	-17	-9
	人手	-6	-5	-	-13	9	2	-30	-7	0	-2

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## サービス業

### [今期の景況]

		全体		洗濯、理容 美容業		自動車整備業 駐車場業	
		杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都
業況		-36	-46	-40	-66	-53	-37
売上額		-39	-47	-38	-64	-51	-38
収益		-39	-45	-39	-61	-50	-36
料金価格		-9	-5	-7	-6	-17	-9
材料価格		5	1	-6	-1	18	1
資金繰り		-18	-20	-18	-34	-30	-18
雇用	残業時間	-19	-22	-8	-21	-33	-12
	人手	6	-10	-8	-4	0	-14
同期比	売上額	-53	-51	-77	-70	-67	-45
	収益	-53	-49	-77	-67	-67	-43
経営上の 問題点	① 売上の停滞・減少	56	54	69	62	50	39
	② 同業者間の競争の激化	47	30	69	36	67	35
	③ 利幅の縮小	16	9	8	6	17	10
	④ 人手不足	13	17	8	6	17	18
	⑤ 大企業との競争の激化	9	5	15	7	17	10
重点経営 施策	① 経費を節減する	53	44	46	45	83	44
	② 販路を広げる	47	41	54	29	33	44
	③ 宣伝・広告を強化する	25	18	39	28	17	15
	④ 人材を確保する	19	17	15	5	17	15
	⑤ 教育訓練を強化する	6	7	8	3	17	6
借入の難易度		23	2	-11	-7	20	-2

### [来期の景況見通し]

業況		-31	-40	-29	-56	-51	-36
売上額		-26	-34	-22	-46	-53	-30
収益		-32	-34	-30	-46	-50	-32
料金価格		-7	-5	-6	-4	-15	-9
材料価格		4	2	-8	1	18	1
資金繰り		-19	-18	-20	-29	-32	-16
雇用	残業時間	-16	-17	-8	-16	-17	-7
	人手	6	-11	-8	-6	0	-13

\* 季節変動調整D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## 建設業

### [今期の景況]

		全体	
		杉並区	全都
業況		-44	-27
売上額		-40	-30
受注残		-35	-27
施工高		-32	-24
収益		-26	-30
請負価格		-12	-9
材料価格		4	10
在庫		-2	-3
資金繰り		-5	-10
雇用	残業時間	0	-14
	人手	-11	-21
同期比	売上額	-33	-36
	収益	-22	-34
経営上の問題点	① 同業者間の競争の激化	44	31
	② 売上の停滞・減少	44	42
	③ 人手不足	30	29
	④ 人件費の増加	22	8
	⑤ 材料価格の上昇	19	11
重点経営施策	① 経費を節減する	52	42
	② 人材を確保する	37	32
	③ 販路を広げる	37	47
	④ 技術力を高める	26	22
	⑤ 新しい工法を導入する	22	4
借入の難易度		8	9

### [来期の景況見通し]

業況		-47	-23
売上額		-20	-20
受注残		-16	-19
施工高		-13	-16
収益		-17	-22
請負価格		-17	-8
材料価格		3	9
在庫		-4	-3
資金繰り		-7	-8
雇用	残業時間	0	-12
	人手	-15	-21

- \* 季節変動調整D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り
- \* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度
- \* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## 不動産業

### [今期の景況]

		全体	
		杉並区	全都
業況		-14	-23
売上額		-22	-28
収益		-31	-28
販売価格		-13	-7
仕入価格		-1	3
在庫		-11	-16
資金繰り		8	-6
雇用	残業時間	-17	-14
	人手	-22	-6
同期比	売上額	-44	-30
	収益	-44	-29
経営上の問題点	① 同業者間の競争の激化	50	34
	② 売上の停滞・減少	33	30
	③ 商品物件の不足	17	29
	④ 大手企業との競争の激化	17	16
	⑤ 人件費の増加	11	2
重点経営施策	① 宣伝・広告を強化する	44	29
	② 経費を節減する	39	30
	③ 販路を広げる	33	33
	④ 不動産の有効活用を図る	28	10
	⑤ 情報力を強化する	28	43
借入の難易度		19	8

### [来期の景況見通し]

業況		-20	-24
売上額		-31	-23
収益		-32	-23
販売価格		-10	-6
仕入価格		0	3
在庫		-14	-17
資金繰り		6	-6
雇用	残業時間	-11	-13
	人手	-17	-6

# 中小企業景況調査 転記表

(令和3年1月～3月期)

製造業  
地域名: 杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年1月～3月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		平成31年4月～ 令和元年6月期		令和元年 7月～9月期		令和元年 10月～12月期		令和2年 1月～3月期		令和2年 4月～6月期		令和2年 7月～9月期		令和2年 10月～12月期		令和3年 1月～3月期		対 前期比	令和3年 4月～7月期
	業 況	売 上 額	受 注 残	収 益	仕 入 金	資 金 繰 り	前 年 同 期 比	雇 用	借 入 金	有 効 回 答 事 業 所 数										
業況	良い	25.0	10.0	9.1	25.0	27.3	9.1	9.1	20.0	-	9.1	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-
	普通	66.7	80.0	72.7	66.7	36.3	72.7	54.5	60.0	9.1	81.8	36.4	18.2	54.5	40.0	45.5	72.7	-	63.6	
	悪い	8.3	10.0	18.2	8.3	36.4	18.2	36.4	20.0	90.9	9.1	63.6	72.7	45.5	60.0	54.5	27.3	-	36.4	
	D・I	16.7	0.0	-9.1	16.7	-9.1	-9.1	-27.3	0.0	-90.9	0.0	-63.6	-63.6	-45.5	-60.0	-54.5	-27.3	-	-36.4	
	修正値	<b>6.3</b>	<b>2.8</b>	<b>-7.6</b>	<b>7.5</b>	<b>-1.9</b>	<b>-12.0</b>	<b>-31.3</b>	<b>3.6</b>	<b>-90.6</b>	<b>-2.8</b>	<b>-63.7</b>	<b>-62.5</b>	<b>-43.6</b>	<b>-59.6</b>	<b>-56.9</b>	<b>-28.1</b>	<b>-13.3</b>	<b>-39.7</b>	
	傾向値	-11.0		-4.7		-1.7		-3.8		-20.7		-40.9		-52.3		-60.2				
売上額	増加	25.0	9.1	25.0	16.7	27.3	9.1	18.2	30.0	-	18.2	9.1	9.1	-	-	-	-	-	-	
	変らず	66.7	72.7	58.3	75.0	54.5	72.7	63.6	70.0	18.2	72.7	27.3	27.3	45.5	45.5	45.5	72.7	-	72.7	
	減少	8.3	18.2	16.7	8.3	18.2	18.2	18.2	-	81.8	9.1	63.6	63.6	54.5	54.5	54.5	27.3	-	27.3	
	D・I	16.7	-9.1	8.3	8.4	9.1	-9.1	0.0	30.0	-81.8	9.1	-54.5	-54.5	-54.5	-54.5	-54.5	-27.3	-	-27.3	
	修正値	<b>12.0</b>	<b>-3.9</b>	<b>6.6</b>	<b>2.8</b>	<b>9.1</b>	<b>-11.2</b>	<b>-3.5</b>	<b>26.1</b>	<b>-80.2</b>	<b>10.9</b>	<b>-54.0</b>	<b>-53.3</b>	<b>-53.7</b>	<b>-52.1</b>	<b>-55.5</b>	<b>-31.0</b>	<b>-1.8</b>	<b>-29.1</b>	
	傾向値	-2.7		4.1		8.8		9.7		-3.8		-24.0		-39.8		-54.5				
受注残	増加	25.0	18.2	16.7	16.7	18.2	9.1	18.2	20.0	-	18.2	10.0	9.1	-	-	-	-	-	-	
	変らず	66.7	63.6	66.6	75.0	63.6	72.7	72.7	80.0	18.2	72.7	30.0	27.3	36.4	50.0	36.4	54.5	-	63.6	
	減少	8.3	18.2	16.7	8.3	18.2	18.2	9.1	-	81.8	9.1	60.0	63.6	63.6	50.0	63.6	45.5	-	36.4	
	D・I	16.7	0.0	0.0	8.4	0.0	-9.1	9.1	20.0	-81.8	9.1	-50.0	-54.5	-63.6	-50.0	-63.6	-45.5	-	-36.4	
	修正値	<b>12.4</b>	<b>8.6</b>	<b>-1.8</b>	<b>0.1</b>	<b>1.1</b>	<b>-7.4</b>	<b>3.6</b>	<b>16.2</b>	<b>-80.4</b>	<b>9.8</b>	<b>-48.6</b>	<b>-54.9</b>	<b>-60.8</b>	<b>-45.6</b>	<b>-65.1</b>	<b>-45.7</b>	<b>-4.3</b>	<b>-38.3</b>	
	傾向値	-5.7		-0.9		2.5		5.3		-5.9		-24.4		-38.6		-55.7				
収益	増加	25.0	18.2	25.0	16.7	18.2	9.1	9.1	20.0	-	18.2	-	9.1	-	-	-	-	-	-	
	変らず	66.7	72.7	58.3	75.0	54.5	72.7	72.7	60.0	27.3	63.6	36.4	36.4	45.5	45.5	45.5	63.6	-	72.7	
	減少	8.3	9.1	16.7	8.3	27.3	18.2	18.2	20.0	72.7	18.2	63.6	54.5	54.5	54.5	54.5	36.4	-	27.3	
	D・I	16.7	9.1	8.3	8.4	-9.1	-9.1	-9.1	0.0	-72.7	0.0	-63.6	-45.4	-54.5	-54.5	-54.5	-36.4	-	-27.3	
	修正値	<b>11.5</b>	<b>9.9</b>	<b>9.5</b>	<b>2.4</b>	<b>-5.9</b>	<b>-7.5</b>	<b>-15.9</b>	<b>1.9</b>	<b>-71.2</b>	<b>-4.6</b>	<b>-61.4</b>	<b>-46.9</b>	<b>-52.1</b>	<b>-49.8</b>	<b>-57.5</b>	<b>-34.5</b>	<b>-5.4</b>	<b>-32.9</b>	
	傾向値	-6.6		0.1		3.5		2.8		-9.5		-29.6		-44.3		-55.7				
仕入金	販売価格	25.0	9.1	8.3	16.7	9.1	9.1	0.0	0.0	-18.2	9.1	-9.1	-9.1	-9.1	-9.1	-9.1	-18.2	-	-9.1	
	修正値	<b>19.6</b>	<b>11.7</b>	<b>4.4</b>	<b>16.0</b>	<b>12.4</b>	<b>8.6</b>	<b>0.6</b>	<b>0.0</b>	<b>-19.1</b>	<b>6.9</b>	<b>-9.5</b>	<b>-9.7</b>	<b>-7.8</b>	<b>-8.5</b>	<b>-7.9</b>	<b>-16.8</b>	<b>-0.1</b>	<b>-11.0</b>	
	傾向値	-0.4		6.4		9.5		10.6		5.2		-2.4		-6.8		-10.2				
	原材料価格	25.0	27.3	33.3	16.7	18.2	18.2	18.2	10.0	-9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-9.1	-	0.0	
	修正値	<b>23.6</b>	<b>25.5</b>	<b>38.9</b>	<b>19.7</b>	<b>21.5</b>	<b>22.2</b>	<b>18.1</b>	<b>13.4</b>	<b>-6.9</b>	<b>17.1</b>	<b>3.4</b>	<b>2.7</b>	<b>1.1</b>	<b>1.7</b>	<b>-1.8</b>	<b>-5.9</b>	<b>-2.9</b>	<b>-3.5</b>	
	傾向値	11.7		17.2		23.7		24.8		19.4		11.0		4.6		0.0				
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-9.1	0.0	9.1	-9.1	-9.1	9.1	9.1	-9.1	-	9.1	
	修正値	<b>-0.5</b>	<b>0.4</b>	<b>1.7</b>	<b>1.9</b>	<b>1.3</b>	<b>0.0</b>	<b>-0.3</b>	<b>-1.2</b>	<b>-9.3</b>	<b>0.8</b>	<b>6.0</b>	<b>-7.6</b>	<b>-9.0</b>	<b>5.1</b>	<b>7.6</b>	<b>-10.2</b>	<b>16.6</b>	<b>6.9</b>	
	資金繰り	-8.4	-9.1	-8.4	-8.4	-18.2	-9.1	-18.2	-20.0	-63.6	-9.1	-45.5	-54.5	-9.1	-45.5	0.0	-9.1	-	0.0	
	修正値	<b>-4.0</b>	<b>-10.5</b>	<b>-6.6</b>	<b>-6.1</b>	<b>-17.1</b>	<b>-7.6</b>	<b>-22.1</b>	<b>-18.9</b>	<b>-59.7</b>	<b>-13.7</b>	<b>-44.2</b>	<b>-51.3</b>	<b>-13.7</b>	<b>-43.6</b>	<b>-8.8</b>	<b>-11.1</b>	<b>4.9</b>	<b>-10.4</b>	
前年同期比	売上額	16.7		8.3		9.1		0.0		-90.9		-63.6		-72.7		-45.4				
	収益	8.4		8.3		0.0		-9.1		-81.8		-54.5		-72.7		-45.4				
雇用	残業時間	0.0	0.0	25.0	0.0	-9.1	27.3	-9.1	10.0	-36.4	-9.1	-18.2	-18.2	-9.1	0.0	-27.3	-9.1	-	-27.3	
	人手	-16.7	0.0	-58.3	0.0	-18.2	-45.5	-27.3	-20.0	-27.3	-27.3	-18.2	-27.3	-9.1	-18.2	0.0	-9.1	-	0.0	
借入金	借入をした/借入の予定あり(%)	33.3	36.4	41.7	33.3	27.3	33.3	36.4	30.0	27.3	27.3	27.3	63.6	36.4	36.4	27.3	18.2	-	27.3	
	借入しない/借入の予定なし(%)	66.7	63.6	58.3	66.7	72.7	66.7	63.6	70.0	72.7	72.7	72.7	36.4	63.6	63.6	72.7	81.8	-	72.7	
	借入難易度	<b>-9.1</b>		<b>0.0</b>		<b>-20.0</b>		<b>0.0</b>		<b>11.1</b>		<b>20.0</b>		<b>11.1</b>		<b>20.0</b>				
有効回答事業所数		12		12		11		11		11		11		11		11				

製造業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年1月～3月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		平成31年4月～ 令和元年6月期		令和元年 7月～9月期		令和元年 10月～12月期		令和2年 1月～3月期		令和2年 4月～6月期		令和2年 7月～9月期		令和2年 10月～12月期		令和3年 1月～3月期		対 前期比	令和3年 4月～7月期
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	9.1	-8.3	0.0	0.0	-9.1	0.0	-10.0	-9.1	0.0	-18.2	-9.1	-18.2	-18.2	0.0	-18.2		0.0	
	実施した・予定あり	16.7	10.0	8.3	16.7	18.2	9.1	18.2	12.5	18.2	20.0	27.3	18.2	18.2	27.3	9.1	10.0		0.0	
	事業用土地・建物	50.0	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	33.3	50.0	50.0	33.3	-	100.0		-	
	機械・設備の新・増設	-	-	100.0	-	-	100.0	50.0	-	50.0	50.0	33.3	50.0	-	33.3	-	-		-	
	機械・設備の更改	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-		-	
	事務機器	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	33.3	-	50.0	33.3	100.0	-	-	
	車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	実施しない・予定なし	83.3	90.0	91.7	83.3	81.8	90.9	81.8	87.5	81.8	80.0	72.7	81.8	81.8	72.7	90.9	90.0		100.0	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	41.7		58.3		63.6		45.5		63.6		63.6		63.6		63.6			
人手不足		-		33.3		27.3		27.3		-		9.1		18.2		-				
大手企業との競争の激化		-		-		9.1		18.2		18.2		18.2		18.2		27.3				
同業者間の競争の激化		33.3		8.3		9.1		27.3		18.2		27.3		27.3		18.2				
親企業による選別の強化		-		-		-		-		-		-		-		-				
輸入製品との競争の激化		-		-		-		-		-		-		-		-				
合理化の不足		8.3		16.7		-		-		-		-		-		-				
利幅の縮小		41.7		33.3		45.5		27.3		27.3		27.3		27.3		36.4		36.4		
原材料高		16.7		16.7		27.3		27.3		27.3		18.2		9.1		9.1		9.1		
販売納入先からの値下げ要請		8.3		8.3		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		
仕入先からの値上げ要請		8.3		8.3		-		-		-		-		-		-		-		
人件費の増加		-		8.3		9.1		-		-		-		-		-		-		
人件費以外の経費増加		-		-		-		-		-		-		-		-		-		
工場・機械の狭小・老朽化		16.7		16.7		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		
生産能力の不足		-		-		-		-		-		-		-		-		-		
下請の確保難		-		-		-		-		-		-		-		-		-		
代金回収の悪化		-		-		9.1		-		-		-		-		-		-		
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		-		-		-		
天候の不順		8.3		-		-		-		-		-		-		-		-		
地場産業の衰退		-		-		-		-		-		-		-		-		-		
大手企業・工場の縮小・撤退		-		-		-		-		-		-		-		-		-		
為替レートの変動		-		-		-		9.1		-		-		9.1		-		-		
その他	-		-		-		9.1		18.2		-		-		-		-			
問題なし	-		-		-		-		-		-		-		9.1		-			
重点経営施策(%)	販路を広げる	58.3		50.0		90.9		90.9		90.9		90.9		90.9		90.9		90.9		
	経費を節減する	25.0		33.3		36.4		36.4		36.4		45.5		54.5		63.6				
	情報力を強化する	-		-		9.1		9.1		-		9.1		-		9.1				
	新製品・技術を開発する	41.7		16.7		18.2		9.1		9.1		18.2		-		9.1				
	不採算部門を整理・縮小する	8.3		-		-		-		-		-		-		-				
	提携先を見つける	25.0		25.0		18.2		18.2		18.2		18.2		18.2		18.2		27.3		
	機械化を推進する	8.3		8.3		-		-		-		-		9.1		-				
	人材を確保する	-		41.7		27.3		36.4		18.2		9.1		27.3		9.1				
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-				
	教育訓練を強化する	-		-		9.1		-		-		-		-		-				
	労働条件を改善する	-		-		-		-		-		-		-		-				
	工場・機械を増設・移転する	16.7		8.3		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		9.1		
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		-		-		-		
	その他	-		-		-		9.1		9.1		-		-		-		-		
特になし	-		-		-		-		-		-		-		-		-			
有効回答事業所数	12		12		11		11		11		11		11		11		11			



卸売業  
地域名:杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		平成31年4月～ 令和元年6月期		令和元年 7月～9月期		令和元年 10月～12月期		令和2年 1月～3月期		令和2年 4月～6月期		令和2年 7月～9月期		令和2年 10月～12月期		令和3年 1月～3月期		対 前期比	令和3年 4月～7月期	
業 況	良 い	6.3	-	6.3	-	6.7	6.7	6.7	-	-	-	-	-	6.7	-	7.1	-			7.1	
	普 通	68.7	68.7	62.4	68.7	53.3	60.0	60.0	53.3	28.6	46.7	46.7	28.6	46.6	46.7	28.6	50.0			35.7	
	悪 い	25.0	31.3	31.3	31.3	40.0	33.3	33.3	46.7	71.4	53.3	53.3	71.4	46.7	53.3	64.3	50.0			57.2	
	D・I	-18.7	-31.3	-25.0	-31.3	-33.3	-26.6	-26.6	-46.7	-71.4	-53.3	-53.3	-71.4	-40.0	-53.3	-57.2	-50.0			-50.1	
	修 正 値	<b>-16.7</b>	<b>-32.4</b>	<b>-20.8</b>	<b>-29.5</b>	<b>-31.9</b>	<b>-27.8</b>	<b>-25.5</b>	<b>-42.5</b>	<b>-70.1</b>	<b>-51.4</b>	<b>-50.6</b>	<b>-70.0</b>	<b>-38.0</b>	<b>-55.1</b>	<b>-54.6</b>	<b>-46.2</b>	<b>-16.6</b>			<b>-46.6</b>
	傾 向 値	-26.6		-25.0		-26.0		-26.5		-32.5		-42.6		-47.0		-51.7					
売 上 額	増 加	12.5	6.3	6.3	-	13.3	12.5	13.3	13.3	14.3	6.7	6.7	7.1	6.7	-	7.1	-			14.3	
	変 ら ず	62.5	81.2	68.7	75.0	46.7	62.5	53.4	53.4	21.4	53.3	20.0	21.4	40.0	40.0	28.6	40.0			35.7	
	減 少	25.0	12.5	25.0	25.0	40.0	25.0	33.3	33.3	64.3	40.0	73.3	71.5	53.3	60.0	64.3	60.0			50.0	
	D・I	-12.5	-6.2	-18.7	-25.0	-26.7	-12.5	-20.0	-20.0	-50.0	-33.3	-66.6	-64.4	-46.6	-60.0	-57.2	-60.0			-35.7	
	修 正 値	<b>-12.4</b>	<b>-2.4</b>	<b>-19.7</b>	<b>-23.5</b>	<b>-21.9</b>	<b>-14.4</b>	<b>-17.4</b>	<b>-18.5</b>	<b>-51.4</b>	<b>-32.8</b>	<b>-65.6</b>	<b>-60.1</b>	<b>-40.3</b>	<b>-60.3</b>	<b>-54.9</b>	<b>-57.2</b>	<b>-14.6</b>			<b>-36.6</b>
	傾 向 値	-14.8		-16.4		-18.9		-19.3		-24.2		-34.8		-43.3		-50.5					
収 益	増 加	-	6.3	-	-	6.7	-	13.3	6.7	7.1	6.7	6.7	7.1	6.7	-	7.1	-			14.3	
	変 ら ず	81.2	81.2	68.7	75.0	53.3	75.0	53.4	60.0	28.6	53.3	26.7	21.4	53.3	33.3	28.6	53.3			35.7	
	減 少	18.8	12.5	31.3	25.0	40.0	25.0	33.3	33.3	64.3	40.0	66.6	71.5	40.0	66.7	64.3	46.7			50.0	
	D・I	-18.8	-6.2	-31.3	-25.0	-33.3	-25.0	-20.0	-26.6	-57.2	-33.3	-59.9	-64.4	-33.3	-66.7	-57.2	-46.7			-35.7	
	修 正 値	<b>-21.0</b>	<b>-6.9</b>	<b>-31.0</b>	<b>-25.6</b>	<b>-29.0</b>	<b>-25.4</b>	<b>-15.9</b>	<b>-22.2</b>	<b>-58.7</b>	<b>-34.2</b>	<b>-57.9</b>	<b>-61.6</b>	<b>-28.9</b>	<b>-65.8</b>	<b>-53.5</b>	<b>-42.9</b>	<b>-24.6</b>			<b>-37.0</b>
	傾 向 値	-20.3		-22.7		-26.1		-26.5		-30.7		-39.0		-42.6		-47.3					
価 格 動 向	販 売 価 格	-12.5	-6.3	0.0	-12.5	-13.3	0.0	-6.6	-13.3	0.0	-6.6	-13.3	-7.2	-13.3	-13.3	-14.3	-13.3			-21.5	
	〃 修 正 値	<b>-11.6</b>	<b>-3.1</b>	<b>2.6</b>	<b>-11.1</b>	<b>-12.5</b>	<b>0.7</b>	<b>-5.4</b>	<b>-12.4</b>	<b>1.6</b>	<b>-2.6</b>	<b>-11.4</b>	<b>-5.4</b>	<b>-11.4</b>	<b>-13.0</b>	<b>-13.3</b>	<b>-12.6</b>	<b>-1.9</b>			<b>-17.5</b>
	〃 傾 向 値	-4.7		-5.5		-5.6		-7.3		-6.5		-6.6		-8.3		-9.3					
	仕 入 価 格	25.0	18.8	18.8	37.5	13.3	18.8	26.7	6.6	35.7	33.3	6.6	28.6	6.6	20.0	21.4	0.0			7.1	
	〃 修 正 値	<b>25.0</b>	<b>20.1</b>	<b>24.0</b>	<b>36.7</b>	<b>18.0</b>	<b>23.2</b>	<b>26.1</b>	<b>8.8</b>	<b>32.3</b>	<b>34.9</b>	<b>13.8</b>	<b>25.2</b>	<b>12.9</b>	<b>24.9</b>	<b>19.1</b>	<b>4.2</b>	<b>6.2</b>			<b>7.7</b>
	〃 傾 向 値	18.0		20.3		21.2		20.7		22.3		22.1		19.7		18.2					
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	18.8	0.0	12.5	20.0	-6.7	6.3	13.3	-6.7	7.1	6.6	-13.3	0.0	-13.3	-13.3	0.0	-20.0			7.1	
	〃 修 正 値	<b>17.4</b>	<b>5.0</b>	<b>10.9</b>	<b>16.1</b>	<b>-3.1</b>	<b>5.6</b>	<b>12.3</b>	<b>-3.9</b>	<b>6.7</b>	<b>7.8</b>	<b>-12.2</b>	<b>-2.2</b>	<b>-7.4</b>	<b>-11.4</b>	<b>-2.9</b>	<b>-15.8</b>	<b>4.5</b>		<b>4.3</b>	
	資 金 繰 り	-26.6	-25.0	-18.7	-20.0	-20.0	-12.5	-13.4	-20.0	-50.1	-33.3	-40.0	-57.2	-26.6	-40.0	-21.4	-40.0			-7.2	
	〃 修 正 値	<b>-29.8</b>	<b>-17.1</b>	<b>-23.5</b>	<b>-27.3</b>	<b>-22.2</b>	<b>-17.6</b>	<b>-6.6</b>	<b>-20.6</b>	<b>-48.6</b>	<b>-24.7</b>	<b>-40.7</b>	<b>-56.1</b>	<b>-28.2</b>	<b>-41.9</b>	<b>-19.1</b>	<b>-41.5</b>	<b>9.1</b>		<b>-4.1</b>	
前 年 同 期 比	売 上 額	-37.5		-25.0		-13.4		-13.3		-64.3		-59.9		-40.1		-57.2					
	収 益	-25.0		-31.3		-20.0		-26.6		-64.4		-59.9		-40.1		-57.2					
	販 売 価 格	-6.6		0.0		0.0		-6.6		-21.5		-13.3		-26.7		-7.1					
雇 用	残 業 時 間	6.2	6.2	0.0	6.2	-6.6	6.2	13.3	0.0	-28.6	-6.7	-20.0	-21.4	-20.0	-20.0	-21.4	-6.6			-7.2	
	人 手	-18.8	-25.0	-25.0	-18.8	-20.0	-25.0	-20.0	-20.0	7.1	-20.0	-14.3	0.0	-14.3	-15.4	7.7	-14.3			7.7	
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	18.8	25.0	18.8	18.8	26.7	25.0	13.3	0.0	28.6	6.7	33.3	28.6	26.7	13.3	28.6	6.7			7.1	
	借入しない/借入の予定なし(%)	81.2	75.0	81.2	81.2	73.3	75.0	86.7	100.0	71.4	93.3	66.7	71.4	73.3	86.7	71.4	93.3			92.9	
	借 入 難 易 度	<b>-33.3</b>		<b>-33.3</b>		<b>-30.8</b>		<b>-33.3</b>		<b>-33.3</b>		<b>-21.5</b>		<b>-21.5</b>		<b>-23.1</b>					
有効回答事業所数	16		16		15		15		14		15		15		14						

卸売業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年1月～3月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和元年		令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		対前期比	令和3年 4月～7月期
	平成31年4月～ 令和元年6月期	令和元年 7月～9月期	令和元年 10月～12月期	令和元年 1月～3月期	令和2年 4月～6月期	令和2年 7月～9月期	令和2年 10月～12月期	令和2年 1月～3月期	令和2年 4月～6月期	令和2年 7月～9月期	令和2年 10月～12月期	令和2年 1月～3月期	令和3年 1月～3月期	令和3年 4月～7月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	-6.3	-12.5	-12.5	-6.6	-6.3	-7.2	-6.6	-7.1	-7.2	-20.0	-14.3	-13.3	-20.0	-21.4	-13.3	-14.3
	実施した・予定あり	18.8	12.5	18.8	18.8	20.0	13.3	13.3	6.7	14.3	20.0	13.3	7.1	13.3	13.3	7.1	13.3	14.3
	事業用土地・建物	33.3	50.0	33.3	33.3	33.3	50.0	50.0	100.0	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-
	機械・設備の新・増設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0
	機械・設備の更改	33.3	-	66.7	33.3	33.3	50.0	50.0	100.0	50.0	66.7	50.0	100.0	50.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	事務機器	33.3	50.0	66.7	33.3	33.3	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	-
	車両	33.3	-	66.7	66.7	66.7	-	-	-	50.0	33.3	50.0	100.0	50.0	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実施しない・予定なし	81.2	87.5	81.2	81.2	80.0	86.7	86.7	93.3	85.7	80.0	86.7	92.9	86.7	86.7	92.9	86.7	85.7
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	37.5	-	31.3	-	40.0	-	40.0	-	28.6	-	40.0	-	53.3	-	64.3	-
人手不足		18.8	-	18.8	-	26.7	-	26.7	-	21.4	-	13.3	-	13.3	-	14.3	-	-
同業者間の競争の激化		43.8	-	37.5	-	46.7	-	33.3	-	21.4	-	26.7	-	33.3	-	35.7	-	-
輸入品との競争の激化		6.3	-	18.8	-	6.7	-	6.7	-	7.1	-	6.7	-	6.7	-	7.1	-	-
流通経路の変化による競争の激化		-	-	6.3	-	-	-	6.7	-	-	-	6.7	-	-	-	7.1	-	-
合理化の不足		-	-	-	-	13.3	-	13.3	-	-	-	6.7	-	-	-	-	-	-
小口注文・多頻度配送の増加		6.3	-	12.5	-	6.7	-	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
利幅の縮小		12.5	-	18.8	-	13.3	-	6.7	-	21.4	-	20.0	-	13.3	-	7.1	-	-
取扱商品の陳腐化		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
販売商品の不足		6.3	-	-	-	-	-	6.7	-	-	-	6.7	-	13.3	-	7.1	-	-
販売納入先からの値下げ要請		12.5	-	-	-	-	-	-	-	7.1	-	-	-	-	-	7.1	-	-
仕入先からの値上げ要請		12.5	-	6.3	-	6.7	-	6.7	-	7.1	-	13.3	-	-	-	14.3	-	-
人件費の増加		6.3	-	12.5	-	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
人件費以外の経費の増加		12.5	-	12.5	-	-	-	6.7	-	7.1	-	6.7	-	6.7	-	7.1	-	-
取引先の減少		18.8	-	12.5	-	20.0	-	13.3	-	7.1	-	13.3	-	20.0	-	21.4	-	-
店舗の狭小・老朽化		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.7	-	-	-	-	-	-
代金回収の悪化		-	-	-	-	-	-	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地価の高騰		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐車場の確保難		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
天候の不順		-	-	-	-	6.7	-	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地場産業の衰退		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
為替レートの変動		6.3	-	12.5	-	13.3	-	13.3	-	14.3	-	13.3	-	13.3	-	14.3	-	-
大手企業・工場の縮小・撤退		6.3	-	12.5	-	13.3	-	6.7	-	14.3	-	13.3	-	13.3	-	7.1	-	-
その他		6.3	-	6.3	-	6.7	-	13.3	-	35.7	-	13.3	-	13.3	-	21.4	-	-
問題なし		12.5	-	12.5	-	6.7	-	6.7	-	7.1	-	6.7	-	-	-	-	-	-
重点経営施策(%)	販路を広げる	56.3	-	56.3	-	73.3	-	66.7	-	50.0	-	60.0	-	60.0	-	78.6	-	-
	経費を節減する	62.5	-	62.5	-	60.0	-	66.7	-	57.1	-	60.0	-	53.3	-	57.1	-	-
	品揃えを充実する	12.5	-	6.3	-	13.3	-	6.7	-	-	-	13.3	-	6.7	-	7.1	-	-
	情報力を強化する	18.8	-	25.0	-	33.3	-	6.7	-	28.6	-	26.7	-	26.7	-	35.7	-	-
	新しい事業を始める	6.3	-	12.5	-	6.7	-	13.3	-	7.1	-	6.7	-	-	-	-	-	-
	提携先を見つける	-	-	-	-	6.7	-	13.3	-	-	-	-	-	6.7	-	-	-	-
	機械化を推進する	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-	-
	人材を確保する	18.8	-	12.5	-	13.3	-	13.3	-	-	-	13.3	-	13.3	-	14.3	-	-
	パート化を図る	6.3	-	-	-	-	-	6.7	-	-	-	6.7	-	6.7	-	-	-	-
	教育訓練を強化する	6.3	-	-	-	6.7	-	-	-	14.3	-	6.7	-	13.3	-	-	-	-
	流通経路の見直しをする	12.5	-	6.3	-	6.7	-	6.7	-	-	-	6.7	-	-	-	14.3	-	-
	取引先を支援する	6.3	-	6.3	-	6.7	-	6.7	-	7.1	-	-	-	6.7	-	-	-	-
	輸入品の取扱いを増やす	-	-	6.3	-	-	-	-	-	7.1	-	6.7	-	6.7	-	-	-	-
	労働条件を改善する	6.3	-	6.3	-	-	-	13.3	-	-	-	6.7	-	6.7	-	7.1	-	-
	不動産の有効活用を図る	-	-	-	-	-	-	6.7	-	-	-	6.7	-	6.7	-	7.1	-	-
その他	-	-	6.3	-	-	-	-	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	
特になし	18.8	-	12.5	-	13.3	-	13.3	-	14.3	-	13.3	-	13.3	-	7.1	-	-	
有効回答事業所数	16		16		15		15		14		15		15		14			

小売業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年1月～3月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	平成31年4月～ 令和元年6月期		令和元年 7月～9月期		令和元年 10月～12月期		令和2年 1月～3月期		令和2年 4月～6月期		令和2年 7月～9月期		令和2年 10月～12月期		令和3年 1月～3月期		対 前期比	令和3年 4月～7月期		
業 況	良	い	5.7	7.9	5.6	5.7	2.8	2.9	8.6	5.6	3.0	3.0	5.9	3.1	8.8	2.9	12.1	5.9		12.1	
	普	通	74.3	71.0	66.6	71.4	66.6	73.6	71.4	69.4	30.3	81.8	26.5	37.5	26.5	41.2	36.4	38.2		30.3	
	悪	い	20.0	21.1	27.8	22.9	30.6	23.5	20.0	25.0	66.7	15.2	67.6	59.4	64.7	55.9	51.5	55.9		57.6	
	D・I		-14.3	-13.2	-22.2	-17.2	-27.8	-20.6	-11.4	-19.4	-63.7	-12.2	-61.7	-56.3	-55.9	-53.0	-39.4	-50.0		-45.5	
	修	正 値	-16.2	-17.4	-22.7	-17.4	-27.4	-24.3	-12.8	-17.4	-59.3	-14.8	-58.8	-51.4	-55.7	-51.7	-44.4	-48.2	11.3	-48.8	
	傾	向 値	-18.7		-17.5		-19.8		-20.5		-25.1		-36.2		-44.7		-51.7				
売 上 額	増	加	5.7	5.3	8.3	-	8.3	5.6	8.6	8.3	6.1	14.3	2.9	-	8.8	8.8	12.1	5.9		6.1	
	変	ら ず	77.2	73.6	75.0	80.0	75.0	77.7	74.3	77.8	24.2	71.4	29.4	33.3	26.5	35.3	33.3	41.2		42.4	
	減	少	17.1	21.1	16.7	20.0	16.7	16.7	17.1	13.9	69.7	14.3	67.7	66.7	64.7	55.9	54.6	52.9		51.5	
	D・I		-11.4	-15.8	-8.4	-20.0	-8.4	-11.1	-8.5	-5.6	-63.6	0.0	-64.8	-66.7	-55.9	-47.1	-42.5	-47.0		-45.4	
	修	正 値	-15.4	-18.1	-9.6	-19.3	-10.1	-15.3	-4.7	-5.1	-59.1	-1.1	-62.2	-61.0	-56.6	-46.6	-43.1	-46.5	13.5	-47.7	
	傾	向 値	-14.7		-13.4		-12.9		-11.4		-15.7		-29.3		-42.3		-52.5				
収 益	増	加	2.9	5.3	5.6	-	2.8	2.8	2.9	5.6	6.1	8.6	-	-	8.8	8.8	12.1	5.9		6.1	
	変	ら ず	77.1	78.9	72.2	77.1	72.2	75.0	77.1	75.0	24.2	74.3	32.4	39.4	29.4	38.2	33.3	44.1		42.4	
	減	少	20.0	15.8	22.2	22.9	25.0	22.2	20.0	19.4	69.7	17.1	67.6	60.6	61.8	53.0	54.6	50.0		51.5	
	D・I		-17.1	-10.5	-16.6	-22.9	-22.2	-19.4	-17.1	-13.8	-63.6	-8.5	-67.6	-60.6	-53.0	-44.2	-42.5	-44.1		-45.4	
	修	正 値	-20.9	-12.3	-18.6	-22.2	-22.8	-23.9	-14.0	-12.8	-59.7	-9.5	-65.8	-55.0	-53.0	-44.4	-44.1	-42.7	8.9	-47.4	
	傾	向 値	-13.5		-14.5		-17.1		-18.7		-24.1		-36.3		-46.5		-53.5				
価 格 動 向	販	売 価 格	0.0	-2.6	-5.5	2.8	-2.8	-2.7	-14.3	-11.1	-18.2	-8.5	-23.5	-15.2	-5.9	-8.8	-3.1	-5.9		-12.1	
	"	修 正 値	-0.2	-1.7	-2.4	3.9	-3.1	-1.2	-12.8	-12.0	-16.1	-7.0	-19.6	-12.8	-8.2	-8.4	-3.3	-6.3	4.9	-10.1	
	"	傾 向 値	-4.3		-4.3		-4.0		-4.9		-7.9		-12.5		-15.1		-14.1				
	仕	入 価 格	8.6	-2.6	8.3	8.6	5.6	11.1	0.0	5.6	-24.3	0.0	0.0	-15.2	-11.8	5.9	3.0	-5.9		-3.0	
	"	修 正 値	7.6	0.5	9.6	8.5	6.8	11.9	2.9	5.0	-20.7	4.0	-0.4	-11.7	-11.2	4.1	3.1	-6.1	14.3	-0.8	
	"	傾 向 値	6.5		5.1		4.9		5.6		1.5		-3.6		-6.9		-8.7				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在	庫 数 量	5.7	0.0	-2.8	5.7	0.0	-5.6	2.9	-8.3	-9.1	-2.8	3.0	-3.0	11.8	0.0	15.2	8.8		12.2	
	"	修 正 値	3.7	-0.3	-2.3	4.1	1.0	-4.9	2.9	-7.5	-8.5	-2.7	3.5	-3.5	11.5	0.8	12.1	8.8	0.6	9.9	
	資	金 繰 り	-11.4	-13.2	-22.2	-20.0	-22.2	-16.6	-17.1	-22.2	-48.4	-20.0	-41.2	-42.5	-44.2	-38.3	-45.5	-41.2		-51.6	
	"	修 正 値	-13.5	-13.7	-19.0	-21.8	-21.5	-15.9	-17.3	-21.9	-46.7	-19.7	-38.7	-40.1	-43.3	-36.8	-46.2	-40.5	-2.9	-51.0	
前 年 同 期 比	売	上 額	-11.4		-11.1		-16.7		-11.4		-63.6		-55.8		-61.7		-66.6				
	収	益	-11.4		-25.0		-33.3		-20.0		-60.5		-61.8		-58.8		-66.6				
	販	売 価 格	2.8		-5.5		-5.6		-8.6		-27.3		-20.6		-2.9		-9.1				
雇 用	残	業 時 間	0.0	-2.6	0.0	-5.7	-5.6	0.0	0.0	-5.6	-12.2	2.9	-8.9	-15.2	-14.7	-8.9	-24.2	-20.6		-18.1	
	人	手	-11.4	-10.8	-5.5	-11.4	-13.8	-17.1	-11.7	-13.9	-9.4	-20.6	-9.1	-3.1	-14.7	-12.2	-6.1	-20.6		-6.0	
借 入 金	借	入 を し た / 借 入 の 予 定 あり (%)	5.7	2.6	8.3	2.9	5.6	0.0	11.4	8.3	18.2	2.9	20.6	18.2	17.6	8.8	12.1	5.9		9.1	
	借	入 し な い / 借 入 の 予 定 な し (%)	94.3	97.4	91.7	97.1	94.4	100.0	88.6	91.7	81.8	97.1	79.4	81.8	82.4	91.2	87.9	94.1		90.9	
	借	入 難 易 度	-4.2		13.0		-4.5		0.0		10.3		7.4		7.4		-8.0				
有効回答事業所数			36		36		36		35		33		34		34		33				

小売業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年1月～3月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	平成31年4月～ 令和元年6月期		令和元年 7月～9月期		令和元年 10月～12月期		令和2年 1月～3月期		令和2年 4月～6月期		令和2年 7月～9月期		令和2年 10月～12月期		令和3年 1月～3月期		対 前期比	令和3年 4月～7月期
設備投資動向(%)	現在の設備	-5.7	-5.3	-5.6	-5.9	-5.6	-5.6	-2.9	-5.6	-15.2	-5.9	-12.5	-2.9	-5.9	-9.1	-2.9			-6.1
	実施した・予定あり	0.0	5.6	8.8	0.0	5.9	5.9	9.1	2.9	3.0	12.1	5.9	3.0	2.9	5.9	6.3	5.9		3.2
	事業用土地・建物	-	50.0	-	-	-	-	33.3	-	-	25.0	50.0	-	-	100.0	-	50.0		-
	事務機器	-	50.0	33.3	-	50.0	50.0	33.3	100.0	100.0	50.0	-	-	100.0	-	100.0	50.0		100.0
	車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	その他	-	-	66.7	-	50.0	50.0	33.3	-	-	25.0	50.0	100.0	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	100.0	94.4	91.2	100.0	94.1	94.1	90.9	97.1	97.0	87.9	94.1	97.0	97.1	94.1	93.7	94.1		96.8
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	44.4		52.8		50.0		45.7		63.6		64.7		70.6		69.7			
	人手不足	22.2		11.1		11.1		20.0		9.1		14.7		11.8		9.1			
	同業者間の競争の激化	19.4		19.4		19.4		14.3		30.3		26.5		20.6		24.2			
	大型店との競争の激化	36.1		30.6		36.1		34.3		33.3		23.5		26.5		33.3			
	輸入製品との競争の激化	2.8		2.8		2.8		2.9		3.0		2.9		2.9		3.0			
	利幅の縮小	19.4		19.4		16.7		20.0		18.2		17.6		8.8		15.2			
	取扱商品の陳腐化	2.8		2.8		8.3		-		-		-		5.9		3.0			
	販売商品の不足	-		2.8		-		-		-		2.9		-		-			
	販売納入先からの値下げ要請	-		-		-		-		-		-		-		-			
	仕入先からの値上げ要請	11.1		8.3		16.7		14.3		9.1		8.8		5.9		6.1			
	人件費の増加	2.8		-		2.8		5.7		3.0		2.9		5.9		6.1			
	人件費以外の経費の増加	-		-		-		-		-		-		-		-			
	取引先の減少	2.8		-		2.8		5.7		3.0		-		8.8		9.1			
	商圏人口の減少	-		-		-		-		3.0		-		2.9		6.1			
	商店街の集客力の低下	22.2		25.0		25.0		28.6		12.1		17.6		14.7		18.2			
	店舗の狭小・老朽化	5.6		11.1		11.1		11.4		6.1		5.9		5.9		-			
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-			
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		5.9		-			
	駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-			
	天候の不順	13.9		13.9		8.3		2.9		3.0		8.8		2.9		9.1			
	地場産業の衰退	2.8		-		-		-		-		-		-		-			
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-				
その他	-		-		-		-		12.1		8.8		2.9		9.1				
問題なし	8.3		8.3		5.6		2.9		6.1		-		-		-				
重点経営施策(%)	品揃えを改善する	38.9		41.7		52.8		37.1		42.4		41.2		35.3		33.3			
	経費を節減する	30.6		27.8		27.8		31.4		36.4		44.1		50.0		39.4			
	宣伝・広報を強化する	27.8		22.2		22.2		14.3		18.2		20.6		29.4		39.4			
	新しい事業を始める	2.8		2.8		2.8		2.9		-		-		2.9		-			
	店舗・設備を改装する	8.3		8.3		8.3		8.6		12.1		11.8		8.8		9.1			
	仕入先を開拓・選別する	5.6		11.1		11.1		11.4		3.0		2.9		5.9		6.1			
	営業時間を延長する	2.8		-		-		2.9		-		-		-		3.0			
	売れ筋商品を取り扱う	22.2		25.0		30.6		22.9		21.2		17.6		11.8		21.2			
	商店街事業を活性化させる	25.0		22.2		25.0		22.9		18.2		14.7		14.7		9.1			
	機械化を推進する	-		-		-		-		-		-		-		-			
	人材を確保する	11.1		13.9		8.3		14.3		9.1		8.8		11.8		15.2			
	パート化を図る	-		2.8		-		8.6		3.0		5.9		-		-			
	教育訓練を強化する	2.8		-		2.8		-		-		2.9		8.8		3.0			
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		-		-		-			
	不動産の有効活用を図る	5.6		-		2.8		2.9		-		5.9		-		3.0			
その他	-		-		-		-		-		-		-		3.0				
特になし	5.6		8.3		8.3		5.7		12.1		2.9		2.9		3.0				
有効回答事業所数	36		36		36		35		33		34		34		33				

サービス業  
地域名:杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	平成31年4月～ 令和元年6月期		令和元年 7月～9月期		令和元年 10月～12月期		令和2年 1月～3月期		令和2年 4月～6月期		令和2年 7月～9月期		令和2年 10月～12月期		令和3年 1月～3月期		対 前期比	令和3年 4月～7月期
業 況	良 い	16.2	15.8	13.9	19.4	14.3	20.6	21.2	14.3	3.1	12.1	3.1	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1		6.3
	普 通	70.3	71.0	72.2	75.0	68.6	70.6	54.6	68.6	40.6	63.7	40.6	48.4	43.8	46.9	59.4	46.9		56.2
	悪 い	13.5	13.2	13.9	5.6	17.1	8.8	24.2	17.1	56.3	24.2	56.3	48.4	53.1	50.0	37.5	50.0		37.5
	D・I	2.7	2.6	0.0	13.8	-2.8	11.8	-3.0	-2.8	-53.2	-12.1	-53.2	-45.2	-50.0	-46.9	-34.4	-46.9		-31.2
	修 正 値	-1.5	1.3	-3.0	10.4	-2.2	4.5	-2.1	-0.2	-49.9	-10.2	-51.8	-42.4	-49.4	-46.7	-36.3	-45.2	13.1	-30.9
	傾 向 値	-6.5		-2.8		-0.6		-0.4		-7.8		-21.4		-34.0		-43.8			
売 上 額	増 加	24.3	18.4	19.4	21.6	17.1	19.4	18.2	17.1	3.1	12.1	6.3	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1		6.3
	変 ら ず	62.2	65.8	66.7	67.6	60.0	72.3	57.6	62.9	37.5	63.7	31.3	50.0	40.6	50.0	53.1	53.1		59.3
	減 少	13.5	15.8	13.9	10.8	22.9	8.3	24.2	20.0	59.4	24.2	62.4	46.9	56.3	46.9	43.8	43.8		34.4
	D・I	10.8	2.6	5.5	10.8	-5.8	11.1	-6.0	-2.9	-56.3	-12.1	-56.1	-43.8	-53.2	-43.8	-40.7	-40.7		-28.1
	修 正 値	5.5	2.0	2.3	6.5	-3.5	7.3	-2.7	0.2	-53.8	-9.7	-55.0	-42.4	-51.6	-42.4	-39.1	-38.5	12.5	-26.3
	傾 向 値	0.4		3.1		3.4		1.9		-7.3		-23.4		-37.0		-47.2			
収 益	増 加	13.5	10.5	11.1	10.8	14.3	11.1	12.1	11.4	3.1	3.0	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1		3.1
	変 ら ず	73.0	73.7	69.5	83.8	65.7	80.6	63.7	65.7	40.6	75.8	37.5	46.9	40.6	50.0	53.1	53.1		59.4
	減 少	13.5	15.8	19.4	5.4	20.0	8.3	24.2	22.9	56.3	21.2	59.4	50.0	56.3	46.9	43.8	43.8		37.5
	D・I	0.0	-5.3	-8.3	5.4	-5.7	2.8	-12.1	-11.5	-53.2	-18.2	-56.3	-46.9	-53.2	-43.8	-40.7	-40.7		-34.4
	修 正 値	-5.5	-6.1	-7.4	1.4	-3.8	0.0	-10.1	-8.8	-51.8	-16.0	-53.1	-45.9	-52.1	-41.6	-39.4	-38.5	12.7	-32.2
	傾 向 値	-7.8		-6.1		-5.0		-5.7		-13.2		-25.8		-37.8		-47.3			
価 格 動 向	料 金 価 格	2.7	-5.3	5.6	8.1	2.9	5.6	6.1	5.7	-9.3	3.0	-6.2	-6.2	-9.4	-6.2	-9.4	-3.2		-9.4
	” 修 正 値	1.3	-3.0	6.1	6.3	1.7	4.3	7.0	3.9	-9.4	5.9	-4.0	-6.9	-9.9	-5.4	-8.9	-5.1	1.0	-6.9
	” 傾 向 値	1.6		2.0		2.8		3.6		2.8		-0.2		-3.2		-6.6			
	材 料 価 格	18.9	18.4	16.7	16.2	11.4	19.4	12.1	11.4	-3.1	9.1	15.6	0.0	6.3	15.6	3.1	6.3		3.1
	” 修 正 値	14.1	21.6	15.1	13.9	12.5	19.5	17.8	12.3	-3.2	10.9	13.2	1.3	6.3	13.0	4.8	6.8	-1.5	3.9
	” 傾 向 値	11.2		13.1		14.2		14.6		12.0		9.1		8.4		6.6			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	資 金 繰 り	21.6	10.6	2.7	10.8	5.7	0.0	-6.1	-2.9	-43.8	-9.1	-31.3	-34.4	-21.8	-21.9	-18.8	-9.3		-21.9
	” 修 正 値	13.2	10.6	2.8	5.8	4.0	-1.1	-2.2	-3.6	-43.5	-6.3	-29.4	-34.1	-23.9	-20.8	-18.1	-12.2	5.8	-19.4
前 年 同 期 比	売 上 額	10.8		-2.8		0.0		-3.0		-59.4		-62.5		-56.3		-53.2			
	収 益	-2.7		-5.5		-8.6		-15.1		-59.4		-62.5		-56.3		-53.2			
雇 用	残 業 時 間	8.1	2.6	2.7	10.8	8.6	5.5	-3.2	0.0	-25.0	0.0	-15.7	-26.7	0.0	-12.5	-18.8	-3.1		-15.6
	人 手	-35.1	-31.6	-38.9	-35.1	-28.6	-36.1	-25.0	-26.5	-9.3	-24.2	-3.2	-10.0	-6.2	-3.2	6.2	-3.1		6.2
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	8.6	15.8	13.9	11.1	14.7	13.9	12.1	14.7	25.0	18.2	28.1	16.1	25.0	15.6	21.9	12.5		15.6
	借入しない/借入の予定なし(%)	91.4	84.2	86.1	88.9	85.3	86.1	87.9	85.3	75.0	81.8	71.9	83.9	75.0	84.4	78.1	87.5		84.4
	借入難易度	9.7		17.2		19.3		17.3		23.1		40.0		32.0		23.1			
有効回答事業所数	37		36		35		33		32		32		32		32				

サービス業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年1月～3月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		平成31年4月～ 令和元年6月期		令和元年 7月～9月期		令和元年 10月～12月期		令和2年 1月～3月期		令和2年 4月～6月期		令和2年 7月～9月期		令和2年 10月～12月期		令和3年 1月～3月期		対 前期比	令和3年 4月～7月期
設備投資動向(%)	現在の設備	-5.4	-2.7	-2.8	-2.7	2.9	2.8	0.0	2.9	0.0	0.0	6.3	0.0	3.1	6.3	6.5	3.1		6.5	
	実施した・予定あり	13.5	16.2	13.9	13.9	20.0	11.4	15.2	11.8	12.5	9.4	3.1	13.3	0.0	6.5	3.1	0.0		3.2	
	事業用土地・建物	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	機械・設備の新・増設	-	33.3	40.0	20.0	28.6	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	100.0
	機械・設備の更改	60.0	16.7	40.0	40.0	42.9	50.0	40.0	50.0	25.0	66.7	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-
	事務機器	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	車両	60.0	66.7	20.0	40.0	42.9	25.0	60.0	50.0	75.0	33.3	100.0	75.0	-	100.0	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実施しない・予定なし	86.5	83.8	86.1	86.1	80.0	88.6	84.8	88.2	87.5	90.6	96.9	86.7	100.0	93.5	96.9	100.0		96.8	
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	21.6		27.8		20.0		30.3		53.1		53.1		53.1		56.3				
	人手不足	35.1		44.4		34.3		30.3		15.6		12.5		18.8		12.5				
	同業者間の競争の激化	40.5		41.7		51.4		36.4		31.3		34.4		31.3		46.9				
	大企業との競争の激化	8.1		8.3		8.6		12.1		6.3		9.4		6.3		9.4				
	合理化の不足	2.7		2.8		2.9		-		-		3.1		3.1		-				
	利幅の縮小	8.1		13.9		17.1		21.2		21.9		9.4		6.3		15.6				
	取扱事務の陳腐化	-		-		-		3.0		-		-		-		-				
	材料価格の上昇	8.1		2.8		2.9		6.1		6.3		6.3		6.3		6.3				
	料金の値下げ要請	5.4		2.8		5.7		6.1		-		3.1		3.1		-				
	人件費の増加	5.4		16.7		11.4		12.1		9.4		12.5		9.4		6.3				
	人件費以外の経費の増加	-		2.8		-		-		-		-		-		3.1				
	技術力の不足	-		2.8		-		3.0		-		-		-		-				
	取引先の減少	2.7		-		2.9		-		-		-		3.1		3.1				
	商圏人口の減少	-		-		-		-		-		-		-		3.1				
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-				
	駐車場の確保難	5.4		-		-		-		-		-		-		3.1				
	店舗・設備の狭小・老朽化	8.1		5.6		8.6		6.1		-		-		-		-				
	代金回収の悪化	-		-		2.9		3.0		3.1		3.1		3.1		-				
	天候の不順	5.4		2.8		-		-		6.3		6.3		3.1		-				
	地場産業の衰退	-		-		2.9		3.0		-		-		-		-				
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-					
その他	-		-		-		-		12.5		3.1		15.6		9.4					
問題なし	13.5		11.1		11.4		9.1		9.4		9.4		9.4		9.4					
重点経営施策(%)	販路を広げる	18.9		25.0		28.6		36.4		34.4		46.9		53.1		46.9				
	経費を節減する	45.9		36.1		48.6		45.5		50.0		53.1		53.1		53.1				
	宣伝・広告を強化する	29.7		30.6		20.0		18.2		18.8		21.9		18.8		25.0				
	新しい事業を始める	-		-		2.9		3.0		3.1		3.1		6.3		6.3				
	店舗・設備を改装する	5.4		5.6		5.7		6.1		-		-		-		-				
	提携先を見つける	8.1		11.1		8.6		9.1		6.3		6.3		3.1		6.3				
	技術力を強化する	8.1		8.3		8.6		15.2		15.6		9.4		6.3		6.3				
	機械化を推進する	-		-		-		-		-		-		-		-				
	人材を確保する	32.4		30.6		22.9		24.2		21.9		15.6		18.8		18.8				
	パート化を図る	-		5.6		5.7		3.0		-		-		-		-				
	教育訓練を強化する	5.4		11.1		11.4		12.1		6.3		6.3		3.1		6.3				
	労働条件を改善する	2.7		5.6		2.9		3.0		3.1		3.1		-		-				
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		-		-				
	その他	-		-		-		-		3.1		-		-		-				
特になし	18.9		16.7		17.1		12.1		18.8		18.8		3.1		6.3					
有効回答事業所数	37		36		35		33		32		32		32		32					

建設業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年1月～3月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		平成31年4月～ 令和元年6月期		令和元年 7月～9月期		令和元年 10月～12月期		令和2年 1月～3月期		令和2年 4月～6月期		令和2年 7月～9月期		令和2年 10月～12月期		令和3年 1月～3月期		対 前期比	令和3年 4月～7月期
業 況	良	い	24.0	33.3	25.9	40.0	26.9	23.1	30.8	24.0	4.0	16.7	3.7	-	3.7	3.7	4.0	7.4		4.2
	普	通	72.0	66.7	70.4	56.0	73.1	69.2	61.5	64.0	36.0	75.0	66.7	50.0	63.0	63.0	48.0	48.2		45.8
	悪	い	4.0	-	3.7	4.0	-	7.7	7.7	12.0	60.0	8.3	29.6	50.0	33.3	33.3	48.0	44.4		50.0
	D・I		20.0	33.3	22.2	36.0	26.9	15.4	23.1	12.0	-56.0	8.4	-25.9	-50.0	-29.6	-29.6	-44.0	-37.0		-45.8
	修正値		19.2	25.6	27.7	39.5	24.2	19.1	19.7	13.4	-51.6	4.0	-20.4	-45.1	-30.4	-24.9	-44.2	-34.1	-13.8	-47.3
	傾向値		13.7		15.7		18.6		21.2		13.6		-2.0		-15.0		-30.5			
売 上 額	増	加	20.0	28.0	22.2	32.0	26.9	18.5	34.6	26.9	-	19.2	3.7	4.0	14.8	14.8	3.7	3.7		22.2
	変	らず	76.0	68.0	66.7	60.0	69.3	74.1	57.7	61.6	32.0	65.4	63.0	48.0	51.9	59.3	55.6	51.9		37.0
	減	少	4.0	4.0	11.1	8.0	3.8	7.4	7.7	11.5	68.0	15.4	33.3	48.0	33.3	25.9	40.7	44.4		40.8
	D・I		16.0	24.0	11.1	24.0	23.1	11.1	26.9	15.4	-68.0	3.8	-29.6	-44.0	-18.5	-11.1	-37.0	-40.7		-18.6
	修正値		16.7	20.6	14.3	31.4	24.6	12.0	18.7	12.3	-63.8	2.9	-25.5	-37.3	-18.3	-9.7	-40.1	-39.8	-21.8	-20.4
	傾向値		22.0		19.3		17.9		18.4		8.8		-6.8		-17.1		-30.3			
受 注 残	増	加	32.0	24.0	25.9	36.0	30.8	25.9	26.9	19.2	-	11.5	7.4	8.0	18.5	11.1	7.4	3.7		22.2
	変	らず	64.0	72.0	66.7	60.0	61.5	66.7	65.4	73.1	36.0	73.1	55.6	48.0	48.2	55.6	51.9	51.9		40.8
	減	少	4.0	4.0	7.4	4.0	7.7	7.4	7.7	7.7	64.0	15.4	37.0	44.0	33.3	33.3	40.7	44.4		37.0
	D・I		28.0	20.0	18.5	32.0	23.1	18.5	19.2	11.5	-64.0	-3.9	-29.6	-36.0	-14.8	-22.2	-33.3	-40.7		-14.8
	修正値		25.1	18.7	20.2	34.8	23.3	19.9	14.3	9.4	-60.3	-2.4	-25.7	-30.2	-15.5	-19.9	-35.1	-39.2	-19.6	-15.8
	傾向値		24.2		24.3		23.3		22.3		10.7		-6.8		-17.6		-28.9			
施 工 高	増	加	16.0	24.0	18.5	20.0	26.9	18.5	30.8	15.4	4.0	15.4	7.4	-	18.5	18.5	7.4	7.4		18.5
	変	らず	76.0	68.0	74.1	72.0	69.3	74.1	61.5	76.9	40.0	69.2	59.3	60.0	55.6	55.6	55.6	59.3		51.9
	減	少	8.0	8.0	7.4	8.0	3.8	7.4	7.7	7.7	56.0	15.4	33.3	40.0	25.9	25.9	37.0	33.3		29.6
	D・I		8.0	16.0	11.1	12.0	23.1	11.1	23.1	7.7	-52.0	0.0	-25.9	-40.0	-7.4	-7.4	-29.6	-25.9		-11.1
	修正値		10.7	15.5	12.7	17.5	22.9	13.4	16.2	4.1	-45.9	0.0	-22.5	-33.4	-9.7	-6.2	-32.4	-26.6	-22.7	-13.4
	傾向値		18.7		16.3		14.9		15.4		8.8		-3.3		-11.7		-22.1			
収 益	増	加	28.0	12.0	18.5	28.0	30.8	18.5	15.4	19.2	-	11.5	3.7	4.0	18.5	14.8	11.1	3.7		14.8
	変	らず	64.0	80.0	66.7	68.0	61.5	70.4	73.1	65.4	44.0	69.3	59.3	56.0	48.2	55.6	51.9	55.6		51.9
	減	少	8.0	8.0	14.8	4.0	7.7	11.1	11.5	15.4	56.0	19.2	37.0	40.0	33.3	29.6	37.0	40.7		33.3
	D・I		20.0	4.0	3.7	24.0	23.1	7.4	3.9	3.8	-56.0	-7.7	-33.3	-36.0	-14.8	-14.8	-25.9	-37.0		-18.5
	修正値		18.0	3.6	6.9	30.8	20.2	5.0	3.5	2.4	-52.0	-5.1	-29.3	-30.1	-17.7	-17.6	-25.9	-35.5	-8.2	-16.8
	傾向値		12.1		12.3		12.0		12.7		3.2		-11.0		-20.3		-28.8			
価 格 動 向	請	負 価 格	12.0	0.0	11.1	12.0	3.9	7.4	15.4	-3.9	-28.0	11.5	-18.5	-20.0	-7.4	-3.7	-11.1	-11.1		-18.5
	"	修正値	7.8	0.9	9.0	12.9	7.6	8.4	16.8	-2.8	-26.2	12.1	-19.2	-19.4	-5.4	-5.0	-11.5	-8.4	-6.1	-17.3
	"	傾向値	9.3		7.5		6.4		8.2		5.6		-3.1		-8.2		-12.9			
	材	料 価 格	36.0	44.0	37.0	40.0	46.2	29.6	42.3	42.3	0.0	27.0	7.4	0.0	22.2	7.4	7.4	14.8		7.4
	"	修正値	36.4	43.7	41.5	39.2	49.2	34.9	38.8	43.7	4.7	25.5	12.6	2.5	22.6	13.3	3.5	14.7	-19.1	3.2
	"	傾向値	35.2		34.0		37.3		40.1		35.9		27.7		21.0		13.6			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在	庫 数 量	0.0	0.0	-3.7	-8.3	-3.9	0.0	-7.7	-3.9	-20.0	-7.7	-11.1	-12.0	-3.7	-11.1	-3.7	3.7		-3.7
	"	修正値	-3.1	-1.6	-2.6	-7.2	-2.1	-2.0	-5.1	-3.5	-19.0	-8.1	-9.7	-9.0	-4.1	-11.6	-2.4	2.4	1.7	-3.8
	資	金 繰 り	0.0	-8.0	0.0	4.0	3.9	-3.7	3.9	-3.9	-28.0	-3.9	-11.1	-16.0	-7.4	-11.1	0.0	0.0		-3.7
	"	修正値	-4.9	-10.1	6.3	2.6	2.1	1.9	2.9	-7.1	-25.5	-4.7	-7.7	-15.2	-10.0	-7.8	-5.0	-4.9	5.0	-6.6
前 年 同 期 比	売	上 額	32.0		14.8		23.1		15.4		-64.0		-29.6		-25.9		-33.4			
	収	益	20.0		7.4		19.2		0.0		-56.0		-29.6		-14.8		-22.3			
雇 用	残	業 時 間	8.0	0.0	-22.2	0.0	3.8	-18.5	3.8	0.0	-36.0	4.2	-14.8	-20.8	3.7	-4.0	0.0	3.7		0.0
	人	手	-24.0	-28.0	-44.4	-16.0	-34.6	-40.7	-38.5	-28.0	-20.0	-47.8	-18.5	-25.0	-18.5	-28.0	-11.1	-18.5		-14.8
借 入 金	借	入をし/借入の予定あり(%)	24.0	20.0	14.8	24.0	30.8	33.3	38.5	30.8	32.0	24.0	48.1	45.8	46.2	26.9	25.9	23.1		7.4
	借	入しない/借入の予定なし(%)	76.0	80.0	85.2	76.0	69.2	66.7	61.5	69.2	68.0	76.0	51.9	54.2	53.8	73.1	74.1	76.9		92.6
	借	入 難 易 度	0.0		4.0		8.3		20.0		8.4		11.5		19.2		7.7			
有効回答事業所数			26		27		26		26		26		27		27		27			

建設業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和3年1月～3月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和元年		令和元年		令和2年		令和2年		令和2年		令和2年		令和3年		対 前期比	令和3年 4月～7月期
	平成31年4月～ 令和元年6月期	令和元年 7月～9月期	令和元年 10月～12月期	令和元年 1月～3月期	令和2年 4月～6月期	令和2年 7月～9月期	令和2年 10月～12月期	令和2年 1月～3月期	令和2年 4月～6月期	令和2年 7月～9月期	令和2年 10月～12月期	令和2年 1月～3月期	令和3年 4月～7月期	令和3年 1月～3月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	0.0	-7.7	0.0	-4.0	-3.8	-4.2	0.0	-8.0	-4.3	-7.4	-8.0	-3.8	-7.4	0.0	-3.8	0.0
	実施した・予定あり	30.4	17.4	20.0	22.7	24.0	15.4	21.7	20.8	20.0	30.4	22.2	16.0	18.5	18.5	18.5	18.5	14.8
	事業用土地・建物	14.3	25.0	-	20.0	16.7	-	40.0	20.0	-	28.6	16.7	-	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0
	機械・設備の新・増設	28.6	25.0	20.0	40.0	33.3	50.0	60.0	20.0	20.0	42.9	16.7	25.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0
	機械・設備の更改	28.6	50.0	40.0	20.0	33.3	50.0	20.0	40.0	40.0	14.3	50.0	50.0	60.0	40.0	20.0	40.0	25.0
	事務機器	42.9	25.0	40.0	40.0	16.7	-	20.0	40.0	60.0	42.9	16.7	25.0	20.0	40.0	-	40.0	25.0
	車両	42.9	25.0	20.0	-	50.0	50.0	20.0	40.0	20.0	42.9	50.0	50.0	40.0	40.0	60.0	20.0	50.0
	その他	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実施しない・予定なし	69.6	82.6	80.0	77.3	76.0	84.6	78.3	79.2	80.0	69.6	77.8	84.0	81.5	81.5	81.5	81.5	85.2
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	15.4		11.1		15.4		23.1		34.6		37.0		40.7		44.4	
人手不足		38.5		48.1		50.0		50.0		34.6		29.6		25.9		29.6		
大手企業との競争の激化		11.5		14.8		11.5		11.5		11.5		11.1		11.1		14.8		
同業者間の競争の激化		19.2		14.8		26.9		23.1		26.9		33.3		37.0		44.4		
親企業による選別の強化		-		-		-		-		-		-		-		-		
合理化の不足		3.8		-		-		-		7.7		3.7		3.7		3.7		
利幅の縮小		15.4		3.7		15.4		7.7		15.4		18.5		14.8		14.8		
材料価格の上昇		19.2		14.8		34.6		30.8		19.2		22.2		22.2		18.5		
下請の確保難		23.1		22.2		23.1		23.1		19.2		7.4		7.4		11.1		
駐車場・資材置場の確保難		3.8		-		-		3.8		-		-		-		-		
人件費の増加		15.4		14.8		7.7		15.4		23.1		25.9		29.6		22.2		
人件費以外の経費の増加		-		-		3.8		-		-		3.7		-		-		
技術力の不足		-		-		-		-		-		-		7.4		-		
代金回収の悪化		-		-		-		-		-		-		-		-		
天候の不順		3.8		18.5		7.7		7.7		3.8		3.7		-		3.7		
地場産業の衰退		-		-		-		3.8		-		-		7.4		-		
大手企業・工場の縮小・撤退		-		-		-		-		-		-		-		-		
その他	-		3.7		3.8		-		11.5		7.4		3.7		-			
問題なし	15.4		14.8		15.4		11.5		7.7		7.4		7.4		14.8			
重点経営施策(%)	販路を広げる	30.8		22.2		30.8		38.5		38.5		37.0		29.6		37.0		
	経費を節減する	42.3		44.4		50.0		53.8		42.3		44.4		51.9		51.9		
	情報力を強化する	26.9		11.1		15.4		11.5		7.7		14.8		14.8		18.5		
	新しい工法を導入する	7.7		7.4		7.7		7.7		11.5		14.8		18.5		22.2		
	新しい事業を始める	-		-		-		-		3.8		-		-		-		
	技術力を高める	11.5		14.8		23.1		26.9		19.2		25.9		33.3		25.9		
	人材を確保する	38.5		63.0		50.0		46.2		38.5		40.7		40.7		37.0		
	パート化を図る	3.8		-		-		-		-		-		3.7		-		
	教育訓練を強化する	3.8		-		11.5		3.8		15.4		11.1		14.8		14.8		
	労働条件を改善する	11.5		18.5		7.7		15.4		11.5		3.7		14.8		7.4		
	不動産の有効活用を図る	3.8		3.7		3.8		7.7		-		3.7		3.7		7.4		
その他	-		3.7		3.8		-		3.8		-		-		-			
特になし	11.5		11.1		11.5		7.7		7.7		7.4		3.7		7.4			
有効回答事業所数	26		27		26		26		26		27		27		27			



不動産業  
地域名：杉並区

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和3年1月～3月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		平成31年4月～ 令和元年6月期		令和元年 7月～9月期		令和元年 10月～12月期		令和2年 1月～3月期		令和2年 4月～6月期		令和2年 7月～9月期		令和2年 10月～12月期		令和3年 1月～3月期		対 前期比	令和3年 4月～7月期	
業 況	良	16.7	31.3	22.2	17.6	27.8	5.6	22.2	5.9	5.6	-	5.9	-	5.6	5.9	11.1	-			5.6	
	普 通	66.6	62.4	72.2	70.6	50.0	83.3	72.2	82.3	38.9	94.4	70.6	41.2	66.6	70.6	72.2	77.8			72.2	
	悪	16.7	6.3	5.6	11.8	22.2	11.1	5.6	11.8	55.5	5.6	23.5	58.8	27.8	23.5	16.7	22.2			22.2	
	D・I	0.0	25.0	16.6	5.8	5.6	-5.5	16.6	-5.9	-49.9	-5.6	-17.6	-58.8	-22.2	-17.6	-5.6	-22.2			-16.6	
	修正値	<b>2.2</b>	<b>20.1</b>	<b>20.1</b>	<b>8.0</b>	<b>8.9</b>	<b>-1.4</b>	<b>7.6</b>	<b>-7.1</b>	<b>-43.1</b>	<b>-7.4</b>	<b>-15.8</b>	<b>-54.8</b>	<b>-21.2</b>	<b>-14.6</b>	<b>-14.0</b>	<b>-23.4</b>	<b>7.2</b>			<b>-19.9</b>
	傾向値	21.2		17.8		13.7		10.8		3.5		-7.1		-14.8		-21.1					
売 上 額	増 加	22.2	12.5	22.2	17.6	22.2	5.6	22.2	16.7	16.7	5.6	11.8	11.1	5.9	-	11.1	11.1			5.6	
	変 ら ず	72.2	87.5	66.7	64.8	55.6	88.8	66.7	61.1	22.2	88.8	58.8	33.3	58.8	70.6	61.1	66.7			61.1	
	減 少	5.6	-	11.1	17.6	22.2	5.6	11.1	22.2	61.1	5.6	29.4	55.6	35.3	29.4	27.8	22.2			33.3	
	D・I	16.6	12.5	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	-5.5	-44.4	0.0	-17.6	-44.5	-29.4	-29.4	-16.7	-11.1			-27.7	
	修正値	<b>23.8</b>	<b>5.3</b>	<b>13.0</b>	<b>7.0</b>	<b>-2.0</b>	<b>2.2</b>	<b>4.5</b>	<b>-6.7</b>	<b>-36.0</b>	<b>-2.3</b>	<b>-16.1</b>	<b>-36.6</b>	<b>-28.7</b>	<b>-26.6</b>	<b>-21.9</b>	<b>-13.4</b>	<b>6.8</b>			<b>-30.6</b>
	傾向値	23.0		22.3		15.6		10.7		2.1		-9.1		-16.4		-23.6					
収 益	増 加	22.2	12.5	22.2	17.6	22.2	-	22.2	16.7	11.1	11.1	5.9	11.1	5.6	-	-	11.1			5.6	
	変 ら ず	72.2	87.5	61.1	64.8	50.0	94.4	66.7	61.1	38.9	83.3	70.6	50.0	61.1	70.6	72.2	66.7			61.1	
	減 少	5.6	-	16.7	17.6	27.8	5.6	11.1	22.2	50.0	5.6	23.5	38.9	33.3	29.4	27.8	22.2			33.3	
	D・I	16.6	12.5	5.5	0.0	-5.6	-5.6	11.1	-5.5	-38.9	5.5	-17.6	-27.8	-27.7	-29.4	-27.8	-11.1			-27.7	
	修正値	<b>22.2</b>	<b>6.4</b>	<b>8.8</b>	<b>7.3</b>	<b>-7.9</b>	<b>-5.1</b>	<b>5.2</b>	<b>-5.8</b>	<b>-31.0</b>	<b>1.5</b>	<b>-15.0</b>	<b>-19.7</b>	<b>-27.0</b>	<b>-26.6</b>	<b>-30.6</b>	<b>-12.1</b>	<b>-3.6</b>			<b>-31.5</b>
	傾向値	25.0		22.9		14.1		7.9		0.0		-9.9		-15.5		-23.1					
価 格 動 向	販売価格	5.5	6.3	5.5	-11.8	0.0	5.5	11.1	5.6	-22.2	0.0	-18.8	-11.1	-11.1	-18.8	-11.1	-11.1			-11.1	
	〃 修正値	<b>5.9</b>	<b>6.5</b>	<b>5.4</b>	<b>-9.6</b>	<b>2.5</b>	<b>7.2</b>	<b>11.3</b>	<b>5.0</b>	<b>-17.8</b>	<b>4.1</b>	<b>-17.7</b>	<b>-8.8</b>	<b>-9.0</b>	<b>-18.1</b>	<b>-12.8</b>	<b>-11.4</b>	<b>-3.8</b>			<b>-9.7</b>
	〃 傾向値	12.1		9.3		6.5		5.7		2.1		-4.4		-8.9		-13.0					
	仕入価格	22.2	18.8	11.1	-5.9	0.0	11.1	16.7	0.0	-11.1	11.1	-12.5	-11.1	0.0	-12.5	0.0	0.0			0.0	
	〃 修正値	<b>23.4</b>	<b>18.6</b>	<b>15.6</b>	<b>-3.2</b>	<b>4.4</b>	<b>13.3</b>	<b>17.1</b>	<b>2.6</b>	<b>-8.9</b>	<b>12.2</b>	<b>-9.0</b>	<b>-7.5</b>	<b>1.4</b>	<b>-11.7</b>	<b>-1.0</b>	<b>0.5</b>	<b>-2.4</b>			<b>0.2</b>
	〃 傾向値	22.6		21.2		17.2		13.5		8.3		1.2		-1.7		-3.8					
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在庫数量	-11.1	0.0	-5.6	-5.8	-22.2	-27.8	-22.2	-16.6	-16.7	-22.2	-29.4	-16.7	-17.6	-29.4	-11.1	-23.5			-11.1	
	〃 修正値	<b>-12.5</b>	<b>-3.4</b>	<b>-5.0</b>	<b>-9.2</b>	<b>-22.8</b>	<b>-23.0</b>	<b>-20.0</b>	<b>-15.8</b>	<b>-17.6</b>	<b>-23.9</b>	<b>-26.5</b>	<b>-18.9</b>	<b>-17.3</b>	<b>-23.3</b>	<b>-10.8</b>	<b>-22.1</b>	<b>6.5</b>			<b>-13.5</b>
	資金繰り	11.1	0.0	0.0	5.9	-5.6	-5.5	0.0	-5.6	0.0	0.0	-5.9	-5.6	-5.6	0.0	11.1	-5.6			11.1	
	〃 修正値	<b>10.8</b>	<b>-3.0</b>	<b>4.8</b>	<b>7.4</b>	<b>-3.9</b>	<b>-0.4</b>	<b>-2.4</b>	<b>-6.0</b>	<b>-2.4</b>	<b>-2.6</b>	<b>-0.8</b>	<b>-5.5</b>	<b>-3.4</b>	<b>4.3</b>	<b>8.0</b>	<b>-4.6</b>	<b>11.4</b>			<b>6.2</b>
前 年 同 期 比	売上額	0.0		-5.5		-16.6		5.5		-33.4		-29.4		-49.9		-44.4					
	収 益	11.1		-5.5		-16.6		-5.5		-27.8		-41.2		-44.4		-44.4					
雇 用	残業時間	5.5	0.0	0.0	0.0	-5.5	-5.5	5.6	0.0	-33.3	0.0	0.0	-16.6	-11.1	0.0	-16.7	-11.1			-11.1	
	人 手	-5.5	-6.3	-16.6	-11.8	-11.1	-22.2	-27.7	-16.6	-17.6	-27.7	-17.6	-17.6	-11.1	-17.6	-22.2	-16.6			-16.7	
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	27.8	50.0	33.3	35.3	33.3	38.9	38.9	33.3	27.8	27.8	47.1	33.3	38.9	17.6	22.2	16.7			22.2	
	借入しない/借入の予定なし(%)	72.2	50.0	66.7	64.7	66.7	61.1	61.1	66.7	72.2	72.2	52.9	66.7	61.1	82.4	77.8	83.3			77.8	
	借入難易度	<b>25.0</b>		<b>0.0</b>		<b>5.8</b>		<b>13.4</b>		<b>26.7</b>		<b>21.4</b>		<b>12.5</b>		<b>18.8</b>					
有効回答事業所数	18		18		18		18		18		18		18		18						



---

## 杉並区 中小企業の景況

令和2年度第4四半期（令和3年1月～3月）

令和3年5月 発行

登録印刷物番号
---------

03-0015（1）
------------

【発行】 杉並区 産業振興センター  
杉並区上荻 1-2-1 Daiwa 荻窪タワー2 階  
TEL：03（5347）9077

【調査機関】 一般社団法人 東京都信用金庫協会  
中央区京橋 3-8-1 信用金庫会館 京橋別館 12F  
TEL：03（6228）8556

【分析委託業者】 株式会社 サーベイリサーチセンター

---